The group of
RYUKOKU SOGO GAKUEN

龍谷総合学園

Data Book 2024

https://www.rsg1995.jp

龍谷総合学園とは

龍谷総合学園とは、浄土真宗本願寺派の宗門に関係する23法人、72校からなる
国内最大の学園グループです（2024年4月現在）。
その建学の精神は、仏教、特に大乗仏教の精神・親鸞聖人の浄土真宗の教えに基づく、
人を育成するという共通目的の基盤をもっています。

現在、日本のみならず世界の学校は大きく変わりつつあります。
科学技術の発展や産業・経済の進展とはうらはらに人間の欲望の増大、
自我中心の思想から生まれた諸問題をはじめ、
解決しなければならない大きな課題に直面しています。
特に日本においては、人口構成の変化に伴う児童生徒の激減、
高齢化社会の到来、ひいては教育環境の変化など、
直面する問題が山積しているのが現状です。

教育の目標は、教育基本法にも明記されているように人格の完成にありますが、
教育の基底に真実の宗教がなければ真の人間の確立はないと考えます。
その意味で、どのような人間教育をめざすのか、
どのような人を世に送るのかを明確にする必要があります。

そのために宗門に関係する学校が、総合的施策の研究、
教育に必要な情報収集・調査、国際化社会への対応、
財政基盤の確立をめざし、
各学園に共通する事業を協力的に推進するため、
1995(平成7)年に龍谷総合学園が創設されました。

龍谷総合学園のロゴマーク

Ryukoku Sogo Gakuen logo

The group of
RYUKOKU SOGO GAKUEN
龍谷総合学園

「RYUKOKU　SOGO　GAKUEN」の
頭文字「RSG」が一つに繋がることで、
大きな学校グループであることを表しています。
「R」と「S」は合掌する手の形をイメージしており、
多くの学生・生徒が未来へ飛躍していくよう願いを込めて、
「G」は上向きの矢印で表現しています。

龍谷総合学園における諸活動

Activities at Ryukoku Sogo Gakuen

龍谷総合学園では、大乗仏教の精神・浄土真宗のみ教えに基づく「人」を育成するという共通目的を基盤とした「建学の精神」の具現化に向け、加盟各学園の学生・生徒、および教職員のそれぞれの交流を通じて事業展開を図っています。

主な年次行事としては、教職員を対象にした宗教教育の実践に関する研究会や、生徒を対象にした宗教教育研修会の開催。各加盟学園の結束と連携を深め、時代に即応した新たな教育、経営の在り方の構築をめざした管理職協議会などが行われているほか、中学校・高等学校の宗教授業に使用する共通テキスト『みのり』『見真』の発刊や、各加盟校が主催する宗教教育研修会に対する助成制度などを設け、学園全体のサポートを行っています。

龍谷総合学園における教育連携プログラム

Educational collaboration program

PBA 国際理解教育 PBA留学プログラム

国際化・グローバル化に対応すべく、2018(平成30)年度から始まったこのプログラムは、平和教育に主眼を置いた宗教教育を行う龍谷総合学園加盟のPacific Buddhist Academy(ハワイ)への語学留学を通じ、社会や文化の違いを超えた相互理解を深めることにより、仏教的な価値観と視野に基づく国際的素養を備えた「まごころある国際人」の育成を目的としています(高校生を対象とする6週間の留学で、期間中はホストファミリー宅にホームステイ)。

SDGs 仏教×SDGs

2019(令和元)年度からスタートした「仏教×SDGs」は、参加高校生一人ひとりが、世界で発生している諸課題と自分たちの暮らしとのつながりを感じながら「誰一人取り残さない社会の実現のために自分たちは何ができるか」を考え、実践する教育プログラムです(高校生を対象とする2泊3日研修)。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

CAMP イングリッシュキャンプ

龍谷総合学園のグローバル化推進プロジェクトの一環として2022(令和4)年度よりスタートしたこの研修は、英会話スキルの向上はもとより、他校生徒との交流を通して、主体性・協調性・コミュニケーション能力等を備えたグローバル人材の育成を目的に開催しています(中学生・高校生を対象とする2泊3日研修)。

データでみる龍谷総合学園

The data of Ryukoku Sogo Gakuen

加盟法人数23学園、加盟教育機関数72校で構成する龍谷総合学園は、日本最大の学校グループであり、多くの夢や希望、そして無限の可能性があります。今後はこのスケールメリットを活用し、さらなる教育連携、教育資源の共有化、人事交流等を推進し、龍谷総合学園全体で「まごころある国際人」を育成することで、優しさ溢れる未来の創造に寄与したいと考えています。

学生・生徒 児童・園児 在籍者数

75,687名

※2023.5.1現在

学校種別

- 1,380名 — 大学院
- 47,329名 — 大　学
- 6名 — 専攻科
- 1,071名 — 短期大学部
- 18,725名 — 高等学校
- 3,735名 — 中学校
- 1,396名 — 小学校
- 2,045名 — 幼稚園・保育園・こども園

学園別

- 775名 — 旭川龍谷学園
- 896名 — 札幌龍谷学園
- 311名 — 北海道龍谷学園
- 16,247名 — 武蔵野大学
- 1,864名 — 平田学園
- 884名 — 藤園学園
- 603名 — 清光学園
- 619名 — 藤花学園
- 1,767名 — 北陸学園
- 4,768名 — 聖徳学園
- 22,892名 — 龍谷大学
- 8,052名 — 京都女子学園
- 1,492名 — 相愛学園
- 1,154名 — 成徳学園
- 3,298名 — 睦学園
- 638名 — 淳和学園
- 1,659名 — 崇徳学園
- 892名 — 鎮西敬愛学園
- 4,211名 — 筑紫女学園
- 881名 — 扇城学園
- 1,154名 — 佐賀龍谷学園
- 557名 — 伊万里学園
- 73名 — パシフィック・ブディスト・アカデミー高等学校

教職員数

9,073名

※2023.5.1現在（非常勤含む）

- 7,161名 — 教　員
- 1,912名 — 事務職員

日本最大の学校グループ

The largest educational group in Japan

加盟教育機関 **72**校

龍谷総合学園は、仏教、浄土真宗のみ教え、親鸞聖人の精神を「建学の精神」とする浄土真宗本願寺派(西本願寺)の関係学校法人によって組織されたグループです。
加盟法人数23学園、さらに教育機関数72校という構成は、国内最大の学校グループです(2024年4月現在)。

- 7 — 大　学
- 5 — 短期大学部
- 25 — 高等学校
- 16 — 中学校
- 4 — 小学校
- 15 — 幼稚園・保育園・こども園

近畿

龍谷大学
30 龍谷大学
31 龍谷大学短期大学部
32 龍谷大学付属平安高等学校
33 龍谷大学付属平安中学校

京都女子学園
34 京都女子大学
35 京都女子高等学校
36 京都女子中学校
37 京都女子大学附属小学校
38 京都幼稚園

相愛学園
39 相愛大学
40 相愛高等学校
41 相愛中学校

成徳学園
42 神戸龍谷高等学校
43 神戸龍谷中学校

睦学園
44 兵庫大学
45 兵庫大学短期大学部
46 兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
47 神戸国際高等学校
48 神戸国際中学校
49 兵庫大学附属須磨幼稚園
50 兵庫大学附属加古川幼稚園

九州

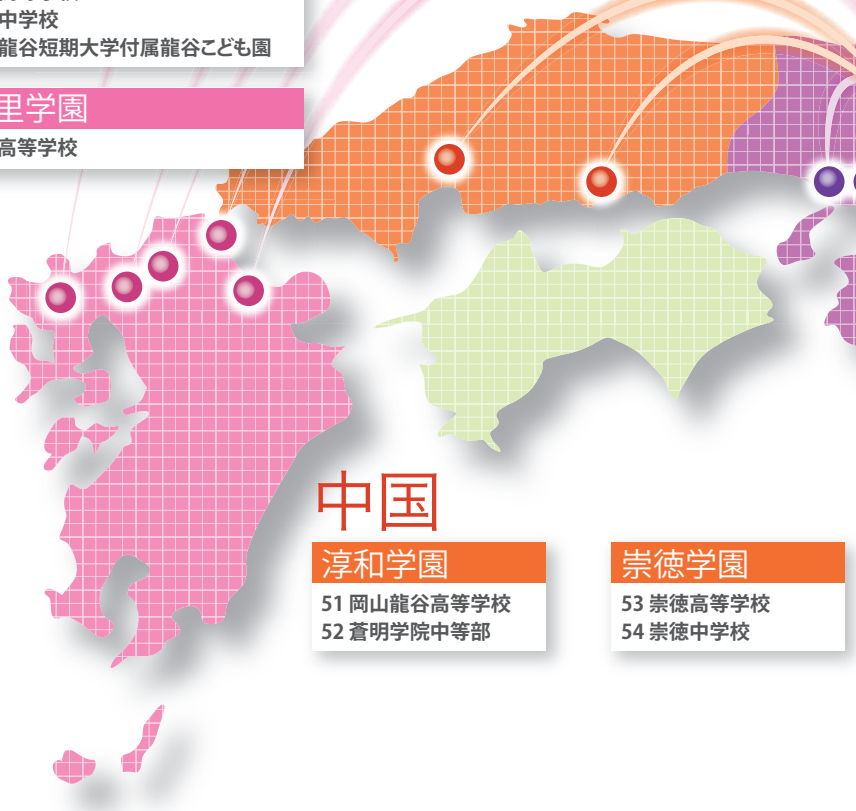
鎮西敬愛学園
55 敬愛高等学校
56 敬愛中学校
57 敬愛小学校
58 敬愛幼稚園

筑紫女学園
59 筑紫女学園大学
60 筑紫女学園高等学校
61 筑紫女学園中学校
62 筑紫女学園大学附属幼稚園

扇城学園
63 東九州短期大学
64 東九州龍谷高等学校
65 東九州短期大学附属幼稚園
66 新吉富保育所

佐賀龍谷学園
67 九州龍谷短期大学
68 龍谷高等学校
69 龍谷中学校
70 九州龍谷短期大学付属龍谷こども園

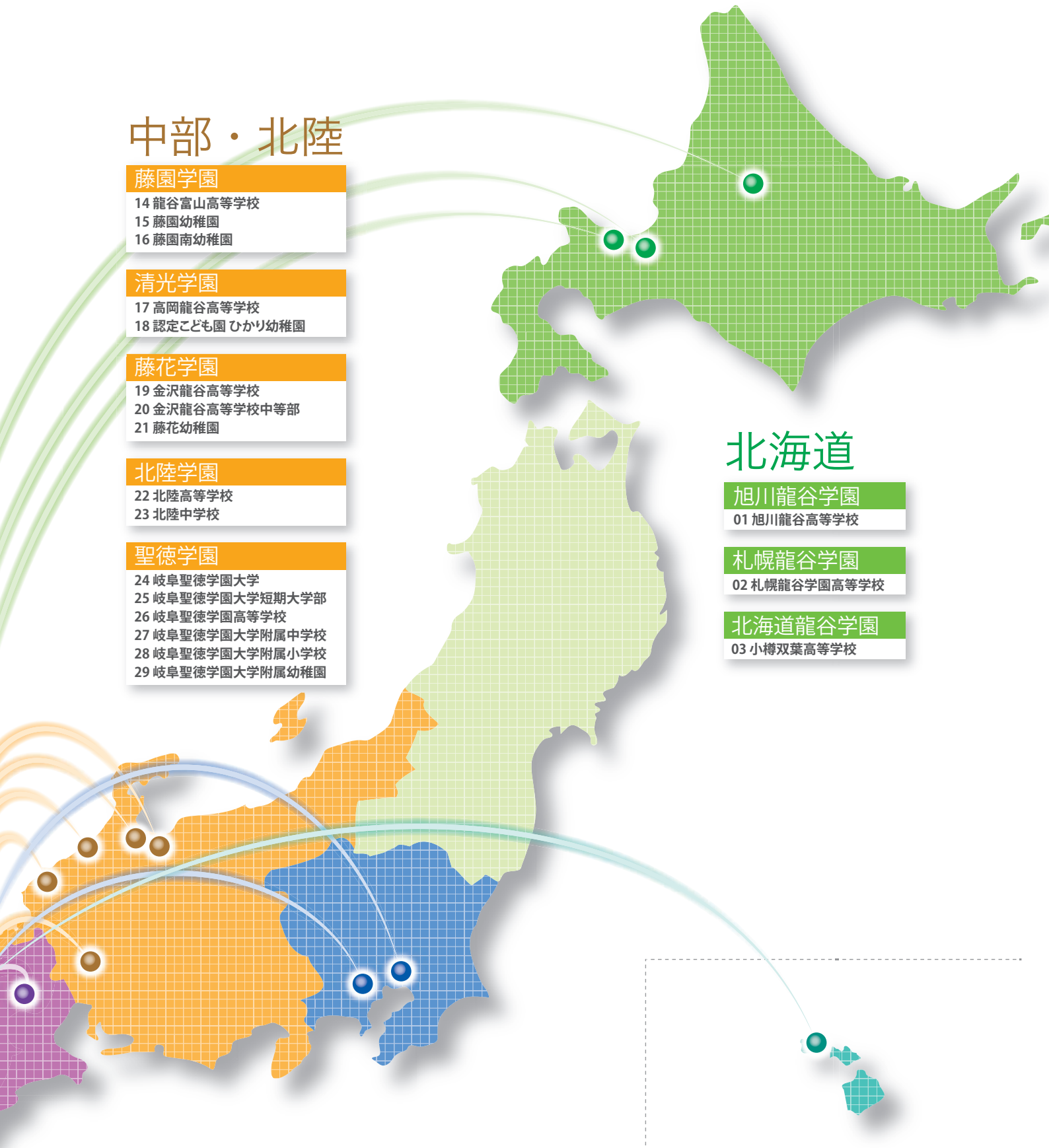
伊万里学園
71 敬徳高等学校



中国

淳和学園
51 岡山龍谷高等学校
52 蒼明学院中等部

崇徳学園
53 崇徳高等学校
54 崇徳中学校



中部・北陸

藤園学園
14 龍谷富山高等学校
15 藤園幼稚園
16 藤園南幼稚園

清光学園
17 高岡龍谷高等学校
18 認定こども園 ひかり幼稚園

藤花学園
19 金沢龍谷高等学校
20 金沢龍谷高等学校中等部
21 藤花幼稚園

北陸学園
22 北陸高等学校
23 北陸中学校

聖徳学園
24 岐阜聖徳学園大学
25 岐阜聖徳学園大学短期大学部
26 岐阜聖徳学園高等学校
27 岐阜聖徳学園大学附属中学校
28 岐阜聖徳学園大学附属小学校
29 岐阜聖徳学園大学附属幼稚園

北海道

旭川龍谷学園
01 旭川龍谷高等学校

札幌龍谷学園
02 札幌龍谷学園高等学校

北海道龍谷学園
03 小樽双葉高等学校

関東

武蔵野大学
04 武蔵野大学
05 武蔵野大学高等学校
06 武蔵野大学中学校
07 武蔵野大学附属幼稚園
08 武蔵野大学附属有明こども園
09 武蔵野大学附属千代田高等学院
10 千代田国際中学校

平田学園
11 国府台女子学院高等部
12 国府台女子学院中学部
13 国府台女子学院小学部

海外（ハワイ）

72 パシフィック・ブディスト・アカデミー
高等学校

01

建学の精神

昭和33年、創設者石田學而師は、高校進学難による父母の願い、地域の要望に応えるため、高等学校教育の機会均等を旗じるしに、北海道初の普通科私立共学校として本校を開校しました。
仏教精神に基づく情操教育を主眼とし、智育・徳育・体育の実践に努め、み仏の大らかな慈悲の光の下、清く正しく朗く美しい心を教育する学校をつくることが建学の精神です。

教育の理念、目標

1. 校訓

慈光照曜（み仏の み教え仰ぎ 清く 正しく、朗く、美しくあれ）

2. 教育目標

（1）謙虚と感謝の毎日を送る。
（2）円満な人格と豊かな情操を養う。
（3）社会正義を尊び自主独立の精神を養う。

3. めざす学校像

高い次元の文武両道を目指し、夢が実現できる学校
・知徳体にわたる「生きる力」を育む学校
・一人ひとりの夢や目標を確実に実現できる学校
・社会に役立つ人材を育

4. めざす生徒像

持続可能な社会の創り手となる生徒
・「報恩感謝」の心を大事にする生徒
・学力の３要素を確実に身に付ける生徒
・自らの健康の増進と体力の向上に励む生徒

5. めざす教師像

自校に誇りを持ち、生徒のために自らも成長し続ける教師
・教師集団の一員としての自覚をもって行動する教師
・自らが創意工夫して常に高い教育を目指す教師
・様々な困難を抱える生徒に共感的な支援ができる教師

近年の取り組み、実績

1. 明確な進路目標と納得の進路サポートによる夢の実現

生徒一人ひとりの進路実現に向け、進路目標別のカリキュラムを工夫し日々の学習指導を大切にするとともに、放課後等の講習、各種資格検定の講習などにより、生徒が納得のいくサポートに努めています。その結果、進学が約７割、就職が約３割と大部分の生徒が卒業時には進路を確定させています。

2. 次元の高い文武両道を実現する部活動

生徒は「勉強と部活動の両立ができること」、「教師は健全な心身の育成と勝利のバランスのとれた指導を行うこと」を方針に、心身を鍛え人格を陶冶し成就感や満足感を味わうことができる部活動の推進に努めています。その結果、令和元年度は柔道部、陸上競技部、ラグビー部、吹奏楽部が全国大会に連続で出場を果たしています。

旭川龍谷高等学校

ASAHIKAWA RYUKOKU HIGH SCHOOL

http://www.ryukoku.info/

設立年／1958(昭和33)年
設置コース／特進コース・キャリアデザインコース
生徒数／775名
教職員数／78名(教員数70名、事務職員8名)
〒078-8340　北海道旭川市東旭川町共栄15-2
TEL 0166-39-2700
FAX 0166-39-2704
〔資料請求・問合せ先
事務局　TEL 0166-39-2700〕

本校の特徴

Point 1

龍谷の強みを生かした教育の展開

龍谷総合学園と連携した教育活動の推進や高大連携の強化・充実、関係寺院等と協力した心の教育や体験活動の推進などに取り組んでいます。

Point 2

「まごころある国際人」を育成する教育の展開

旭川市内の高校では唯一のユネスコスクール加盟校として、SDGsや郷土について理解を深める教育活動、地域社会に貢献する教育活動などに取り組んでいます。

Point 3

「豊かな未来社会の創造に寄与する生徒」を育成するカリキュラムの展開

限りある命の尊さを知り他人を理解し共感する力や社会の課題を見つけ出し解決する力など、不易と流行の調和を追求しながら、豊かな未来社会の創造に寄与できる人材を育成するためにカリキュラムを創意工夫し、着実な実践に努めています。

理事長メッセージ　世界で活躍する、仏教精神に基づく慈愛に満ちた生徒の育成

本校は創立以来、建学の精神である仏教精神に基づき、カウンセリングマインドによる生徒一人ひとりのきめ細かな理解の上に、智育・徳育・体育の実践を地道に積み上げ、「人柄の龍谷」と称される学校に成長してまいりました。

今日、北海道においては他県以上に急速に進む人口減少など変化は著しく、こうした中で、持続可能な学校であり続けるためには、建学の精神を基盤に、社会の変化に対応できる強みをリノベーションし続け、北海道の皆様から、愛され、選ばれ、ナンバーワンと言われる学校として更なる成長を遂げる必要があると考えております。

こうしたことから、変化にしなやかに対応できる旭川龍谷の創造に向け、組織の見直しや教職員の働き方改革などの取組を通して経営力及び指導力を一層向上させ、世界で活躍する、仏教精神に基づく慈愛に満ちた生徒の育成に、教職員が一丸となって誠心誠意取り組んでいるところです。

旭川龍谷高等学校 理事長
石田（いしだ） 慶嗣（けいし）

02

建学の精神

札幌龍谷学園高等学校は昭和38年の創立以来、仏教精神、とりわけ親鸞聖人のみ教えを建学の精神とし、教育を実践してきました。「心を育てる」ということをすべての教育活動の中心に据え、相手の気持ちを理解し思いやることができる生徒、いっさいのもののおかげによって生かされて生きている自分であることに気がつき、感謝の気持ちをもって生活できる生徒を育成することを目標としています。

教育の理念、目標

学園モットー

「生かされて生きる」

教育目標

1. いつも自分のいたらなさを知り、努力する人になろう。
   「精進努力」
2. いつも人の苦しみや悲しみを思いやる人になろう。
   「和顔愛語」
3. いつも「おかげさま」の心をもって生活する人になろう。
   「報恩感謝」

近年の取り組み、実績

1.「いじめのない学校」づくり

教育目標の一つである「和顔愛語」の実践から作りあげられたアットホームな校風を背景に、平成17年度から「いじめのない学校」づくりに全校生徒をあげて取り組んできました。5月には「いじめ防止月間」として、いじめ防止講座の実施や生徒によるいじめ防止ポスターの作成など、様々な取り組みを行っています。

2. iPadを活用したICT授業・プログラミング授業

全教室に短焦点プロジェクターを設置するなどICT教育環境を整え、iPadを活用した授業を展開することで、生徒の主体的な学びを支え、人と協働しながら活躍できる力を育成しています。

3. 探究する教育

思考力や課題発見・解決力など、これからの社会で求められる力を育むための学習活動として、探究活動を行っています。 生徒たちは自らの課題を設定してリサーチを進めます。

札幌龍谷学園高等学校

SAPPORO RYUKOKU GAKUEN HIGH SCHOOL

http://sapporo-ryukoku.ac.jp

設立年／1963(昭和38)年
設置コース／スーパー特進コース・特進コース・プログレス進学コース・未来創造コース
生徒数／896名(※2023年度実績)
教員数／71名(※2023年度実績)
〒064-0004　北海道札幌市中央区北４条西19丁目１-２
TEL 011-631-4386
FAX 011-614-4775
〔資料請求・問合せ先
入試事務局　TEL 011-631-4386〕

本校の特徴

Point 1 心の教育

仏教の授業では、「命の大切さ」や「思いやり」をテーマとした作文課題に取り組み、発表会を開くなど浄土真宗のみ教えを身近に感じることができる授業を行っています。自分や相手の尊さに気づき、「人を想い、感謝する気持ち」を育んでいます。

Point 2 高大連携・高専連携

北翔大学、北海道情報専門学校、西野学園と連携し部活動の合同練習や、プログラミング学習の推進、福祉選択の生徒の介護職員初任者研修の資格取得を実現。 高校での学習内容を超えたより専門的な学びを提供することで、進路選択に対する考えを深めることにも役立っています。

Point 3 多種多様な活動

「社会に認められる個性」を「才能」と位置づけ、生徒の様々な力を伸ばすことを大切にしています。学力はもちろんのこと、学校内外を問わず、生徒が行っている様々な活動を積極的に支援しています。

校長メッセージ　本校の教育には４つの柱があります。

１つ目は「人を思いやる心、物を大事にする心、礼節のある謙虚な心を育む」ことで、本校教育の基盤です。仏教の授業や日々の礼拝、「いじめのない学校づくり」の取組などを行っています。

２つ目は「思考力と探究心を持って諦めずに努力する」ことです。授業ではiPadを使って考える機会を多くしています。コースにより7時間目授業や平日講習があり、介護職員初任者研修や情報処理検定などの資格を目指すことができるほか、英会話や中国語の授業、海外語学研修などを行っています。

３つ目は「情報活用能力と問題発見・解決能力を身に付けて主体的に活動する」ことです。「総合的な探究の時間」は課題研究に取り組んでいます。外部講師による様々な分野のセミナーにより興味・関心を高めています。テーマに沿った調査・研究や研究成果の発表にはiPadを使っています。

４つ目は「コミュニケーション能力を有して他者と協調する」ことです。生徒会行事や部活動を熱心に行っており、多くの部活動で全道大会や全国大会に出場しています。また、ボランティア活動やインターンシップを奨励して、学びの機会や場を広げています。

札幌龍谷学園高等学校 校長
川口（かわぐち） 淳（じゅん）

03

建学の精神

仏教精神を基調とした教育を行い、有為な人材を育成する。

教育の理念、目標

本校の教育は仏教精神を基調としており、「自分」だけでなく「他者」という視点をとても大切にしています。様々な価値観や考え方が混在する社会では、お互いの意見を尊重し、認め合い、支えあうことが大切だと考えるからです。

育成の3つの指針「自分の本来の可能性を信じ、深め、役割として貫く力を育てる」「自ら考え知を鍛え上げ、より高い、新しい価値を作り出せる力を育てる」「様々な状況や異なる文化を受け入れ、多様な社会に貢献できる力を育てる」の実現を目指しながら、「心」を大切にした教育を実践しています。

近年の取り組み、実績

1. 進学実績向上への取り組み

特進指導会議で結果を出す指導を研究、実践することで着実に進学実績を向上させています。

2. 部活動活性化への取り組み

スキー部がインターハイ・アルペン競技で優勝するなど、全国上位の常連となっています。他の運動系強化指定部も地区大会で安定して優勝し全道大会上位を目指すなど活発です。文化系では吹奏楽部が強化指定部となました。また、奉仕活動部もフィリピンミンダナオ島への物資支援活動を10年以上継続しており、社会的にも評価を得ています。

3. 地域連携の取り組み

生徒会を中心に交通安全運動を年4回実施、街頭で交通安全の呼びかけを行っています。また、吹奏楽部は客船の歓迎の演奏など各イベントでの演奏活動、奉仕活動部は、福祉施設でのイベントの手伝い、募金活動を行うなど、積極的な取り組みが地域の方に喜ばれています。

小樽双葉高等学校

OTARU FUTABA SENIOR HIGH SCHOOL

https://www.r-futaba.ed.jp/

設立／1907(明治40)年
設置コース／特別進学コース・総合進学コース・通信制課程
生徒数／252名(※2023年5月1日現在)
教員数／38名(※2023年5月1日現在)
〒047-0014　北海道小樽市住ノ江1丁目3番17号
TEL 0134-32-1828
FAX 0134-22-3098
〔資料請求・問合せ先
入試広報部　TEL 0134-32-1828〕

本校の特徴

Point 1 幅広い目標に対応するコース・クラスで夢を実現！

1年生のときから個別面談や進路に関わる取り組みを積極的に行い、一人ひとりが目標を設定し、適性や習熟度に合わせた学びを実践しています。その結果、国公私立大・短大・専門学校・公務員・就職と幅広い進路目標を実現しています。

Point 2 探究型授業「ドリプロ」

探究型の学びができる「ドリームプロジェクト」はサイエンス、ビジネスマーケティング、医療・福祉、グローバルカルチャー、スポーツアスリート、フードデザインの6つの専攻があり、一人ひとりの興味に沿った選択ができます。外部講師による後援、郊外での実習や見学など、多彩なプログラムで主体的に学ぶ力をつけることができます。

Point 3 国際理解教育の実践

ネイティブスピーカーによる授業、英会話・留学を扱う特別教室、アメリカの姉妹校への短期海外語学研修など多彩な国際理解教育を実践しています。

校長メッセージ　心を育てる学び舎

小樽双葉高等学校 校長
倉内(くらうち) 慶一(けいいち)

本校は、明治40年に小樽実践女学校として開校以来、仏教精神に基づく心の教育を行って来ました。

生徒は、自らの目標に応じたコースで学習しており、「ドリプロ」で興味関心に応じて本物に触れる探究学習を行います。また、アメリカにある姉妹校との交換留学や短期留学をとおして国際理解教育を推進しています。他にも予備校通学への支援、大学進学時の費用負担軽減、など生徒の学びをサポートする環境があります。ほとんどの生徒が部活動や生徒会等に所属し、特に強化指定部は全道・全国で活躍しています。毎日の通学によらない、通信制を併設していることも特徴の一つです。

現代は長く不変と考えられてきた思想や価値観が加速度的に変化し続けています。このような時代に自分らしく生きていくためには、幅広い知識はもとより、柔軟な発想や思考力、瞬時に正しく判断する力が必要です。そして何より、どんなに社会が変わろうとも、他者への「思いやり」や「慈しむ心」そして「感謝の心」が大切です。本校では、そういった「心」を育てる教育を実践しています。

04

建学の精神

武蔵野大学の建学の精神は、仏教の根本精神である四弘誓願（しぐぜいがん／ほとけのねがい）を基礎とする人格教育です。国際的仏教学者である学祖高楠順次郎博士は、「理想が高まるに従って人格が高まり、人格が高まるに従って高い理想が現出する」と述べ、仏教の開祖である釈尊を理想の人格として仰ぎ、私たちもその理想に向かって、人格向上の歩みを進めることこそ人生の意義であると説いています。したがって、武蔵野大学の教育の目標は四弘誓願を基礎として人格向上をはかり、人格向上の実現によって釈尊の理想を具現化することです。

教育の理念、目標

【感性を磨き合う co-feel】

・感覚を研ぎ澄ませ、世界で起きていることを能動的に感じとる。想像力を最大限に発揮し、自他の境を越えていく。このように、課題を自分ごとにする「感性」が世界から求められています。私たちは、「感性」を磨き合う教育研究を実践します。

【知恵を開き合う co-awaken】

・世界の幸せとは何か、課題の理解と解決には何をなすべきかを問う。不断の探究心をもって、固定観念を越えていく。このように、課題を多様な視点で捉える「知恵」が世界から求められています。私たちは、「知恵」を開き合う教育研究を実践します。

【響創力を高め合う co-create】

・人々と連帯して課題を解決する。誠実さと行動力をもって、価値観や言語の境を越えていく。このように、異なる力を響き合わせて課題を解決する「響創力」が世界から求められています。私たちは、「響創力」を高め合う教育研究を実践します。

※響創力：価値観や言語の異なる人々と響き合い、連帯して創造する力を表しています。「響」は、仏教の縁起観をもとにした言葉です。

近年の取り組み、実績

2024年４月 ウェルビーイング学部を開設

本学は12学部20学科、13研究科19専攻、1万人を超える学生が通う総合大学です。2019（平成31年）年にデータサイエンス学部、2021（令和3）年にアントレプレナーシップ学部を開設し、「AI活用」「SDGs」を必修科目とした全学共通基礎課程「武蔵野INITIAL」をスタートさせる。2023（令和５）年に工学部環境システム学科をサステナビリティ学科に改組。2024（令和６）年には本法人の創立100周年を記念して世界初のウェルビーイング学部を開設。

2024年の創立100周年とその先の2050年の未来に向けてクリエイティブな人材を育成するため、更なる発展を目指していきます。

武蔵野大学

MUSASHINO UNIVERSITY

https://www.musashino-u.ac.jp/

設立年／1965(昭和40)年
設置学部／文学部、グローバル学部、法学部、経済学部、経営学部、アントレプレナーシップ学部、データサイエンス学部、人間科学部、工学部、教育学部、薬学部、看護学部
設置大学院／文学研究科、言語文化研究科、法学研究科、政治経済学研究科、経営学研究科、データサイエンス研究科、人間社会研究科、仏教学研究科、工学研究科、環境学研究科、教育学研究科、薬科学研究科、看護学研究科
学生数／10,263名(※2023年5月1日現在　大学院含む)
教員数／1,324名(※2023年5月1日現在)
職員数／374名(※2023年5月1日現在)
有明キャンパス　〒135-8181　東京都江東区有明三丁目３番３号　TEL 03-5530-7333
武蔵野キャンパス　〒202-8585　東京都西東京市新町一丁目１番20号　TEL 042-468-3111
〔資料請求・問合せ先　TEL 03-5530-7333〕

本学の特徴

2050年を眺望した教育改革「5つのチャレンジ」

発展の跳躍台を担う改革の中長期方針として、SDGsの考え方を踏まえた「武蔵野大学2050VISION」を表明し、武蔵野大学が目指す教育改革の方向性を、５つのチャレンジとして策定しています。世界の未来を担う人材育成のため、より質の高い教育環境の整備と、総合大学ならではのダイバーシティ(多様性)を生かした、知的で人的交流の盛んなキャンパスを目指します。

(2050年の未来を眺望した) 世界の幸せをカタチにする5つのチャレンジ

⑴ 自己と世界を問う
⑵ 未来の世界を創るCreativeな実践者の輩出
⑶ AI世界を先導する*MUSIC (Smart Intelligence)
⑷ Global & Universal
⑸ MU-GEN (無限、Musashino University GENerations) につながる Infinite Linking

*MUSIC (Musashino University Smart Intelligence Center)
…本学における情報・メディア教育推進組織

学長メッセージ　アクティブな知を獲得し、世界の幸せをカタチにする大学へ

本学は1924年、世界的な仏教学者である高楠順次郎博士によって設立されました。仏教精神を根幹とした人格育成を理念とし、時代の要請に応えながら着実な発展を続けてきました。特にここ20年は、男女共学化（2004年）や有明キャンパスの開設（2012年）などをバネにして、大学改革を加速してきました。2024年４月には世界初のウェルビーイング学部を開設し、13学部21学科、13研究科を擁する総合大学へと進化をし続けています。また、ブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」(Creating Peace & Happiness for the World) に基づいて、「しあわせ研究所」を開設し、「武蔵野大学SDGs実行宣言」を発表するなど、世界が直面する諸課題の解決に大学全体でチャレンジしています。2024年の創立100周年を跳躍台として、2050年の未来に向かって、「アクティブな知を獲得し、世界の幸せをカタチにする」大学へ、さらなる発展の歩みを重ねていきたいと思います。

武蔵野大学 学長
西本（にしもと） 照真（てるま）

05

建学の精神

仏教精神にもとづく、真の人間教育、人間成就の教育

教育の理念、目標

いかなる生徒を育成するか

1. 「明るい知性と豊かな情操」とをかねそなえた「聡明にして実行力のある人間」の育成。
2. 「人の幸せを願う心」、「自己中心、自己絶対視を改める心」、「正しい判断力」、「良き社会人として通用する自立心」の育成。

近年の取り組み、実績

LAM（Liberal Arts Musashino）・MAP（Musashino Advanced Project）

本校教員と専門企業がタイアップしたリベラルアーツ授業を実施。哲学対話、ヒューマンビートボックス、社交ダンス、外国語（韓国語）などホンモノの技術や深い考え方に触れ学びの原動力につなげていきます。

MAPではLAMで磨いた非認知スキルを武器に理想の進路実現をめざします。HGコースはアカデミックマインド、PBLコースはアントレプレナーシップ、本科は自己ブランディングを主軸に視野を拡大し、自己の可能性を広げていきます。

武蔵野大学高等学校

MUSASHINO UNIVERSITY HIGH SCHOOL

https://www.musashino-u.ed.jp/

設立年／1924(大正13)年
設置コース／ハイグレード・PBLインターナショナル・本科
生徒数／935名(※2023年5月1日現在)
教員数／76名(※2023年5月1日現在)
職員数／29名(※2023年5月1日現在)
〒202-8585　東京都西東京市新町一丁目１番20号
TEL 042-468-3256
FAX 042-468-3348
〔資料請求・問合せ先
TEL 042-468-3256
https://www.musashino-u.ed.jp/document-request/〕

本校の特徴

合言葉は「チャレンジ」

好きなことや夢中になっていることは、どんどん吸収していくものです。一度やる気を出した生徒は大人の想像をはるかに超える能力を発揮します。子供の頃に夢中になったあのワクワクする感覚を大切にした授業を展開し、生徒一人ひとりが積極的に自ら学ぶ、それが私たちの目指す教育です。本校では、社会課題を解決し、世界に貢献できる方法と力を身につけるために、ハイグレード、PBLインターナショナル、本科の3つのコースを用意しています。全てに共通するテーマは「チャレンジ」です。

校長メッセージ　これからの時代にこそ「想像力」を

現代は、不確実で、ちょっと先の未来さえも予期することが難しいと言われています。急激に進歩する技術の渦の中、もしかしたら、私たち「人」が追いついていけなくなっているのかもしれません。あまりにも多くの情報が流入すると、私たちはそれを処理することばかりに追い立てられ、ゆっくりと考え選択したり、組み合わせて工夫したりする余裕もなくしてしまっているようにも感じます。

こんな時代だからこそ、想像の力が重要になると考えます。想像という漢字をよく見てみると、相手を思う心を形にしていくと読み取ることもできます。現状に嘆いたり愚痴を言ったりする時間があれば、周りを巻き込んで、より良い未来を想像していく。自分のことよりも、社会や世界に対し役立つ大きなビジョンを想像し、それに向かって邁進していくといったことが教育現場においても求められています。

本校は昨年度より新たな取り組みをスタートさせています。高等学校においては、3つのコースの色をより鮮やかに彩るように、明確な目標とそれに向けた計画が設定され、進路実現に向けた強化を行っています。中学校も中高一貫校としての3年間の学びの見直しを行っています。全体を通じて「人格の向上は成績の向上である」の方針のもと、一層の学びの質を高めるとともに、学校全体の熱量をあげていくことで、100周年に向けて歩みのスピードをあげていきます。

武蔵野大学高等学校 校長
中村（なかむら） 好孝（よしたか）

建学の精神

仏教精神にもとづく、真の人間教育、人間成就の教育

教育の理念、目標

いかなる生徒を育成するか

1. 「明るい知性と豊かな情操」とをかねそなえた「聡明にして実行力のある人間」の育成。
2. 「人の幸せを願う心」、「自己中心、自己絶対視を改める心」、「正しい判断力」、「良き社会人として通用する自立心」の育成。

近年の取り組み、実績

言語活動・PBL

言語活動では、ノートテイキングやプレゼン能力など教科の枠を超えた学びの基礎となるアカデミックスキルを養います。ここで習得したスキルを様々な授業で活用し学びを深めます。PBLでは学年テーマに沿ったプロジェクトに取り組みます。様々なことに挑戦していく過程で、失敗からフィードバックを経て、トライアル&エラーのサイクルを構築します。「WHY=なぜ」を大切にし、主体的に課題発見・解決する力を養います。

武蔵野大学中学校

MUSASHINO UNIVERSITY JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.musashino-u.ed.jp/

設立年／1924(大正13)年
生徒数／519名(※2023年5月1日現在)
教員数／35名(※2023年5月1日現在)
〒202-8585　東京都西東京市新町一丁目１番20号
TEL 042-468-3256
FAX 042-468-3348
〔資料請求・問合せ先
TEL 042-468-3256
https://www.musashino-u.ed.jp/document-request/〕

本校の特徴

「Global」＆「Science」

中学校は「グローバル＆サイエンス」をテーマとした教育を実践します。これは単に「英語と科学」を強化するという意味ではありません。変化の激しい時代に対応して、「世界に貢献できる人材の育成」、「倫理的・科学的思考力を養い、社会の課題を解決しようとする人材の育成」、この2つを目指します。

校長メッセージ　これからの時代にこそ「想像力」を

現代は、不確実で、ちょっと先の未来さえも予期することが難しいと言われています。急激に進歩する技術の渦の中、もしかしたら、私たち「人」が追いついていけなくなっているのかもしれません。あまりにも多くの情報が流入すると、私たちはそれを処理することばかりに追い立てられ、ゆっくりと考え選択したり、組み合わせて工夫したりする余裕もなくしてしまっているようにも感じます。

こんな時代だからこそ、想像の力が重要になると考えます。想像という漢字をよく見てみると、相手を思う心を形にしていくと読み取ることもできます。現状に嘆いたり愚痴を言ったりする時間があれば、周りを巻き込んで、より良い未来を想像していく。自分のことよりも、社会や世界に対し役立つ大きなビジョンを想像し、それに向かって邁進していくといったことが教育現場においても求められています。

本校は昨年度より新たな取り組みをスタートさせています。高等学校においては、3つのコースの色をより鮮やかに彩るように、明確な目標とそれに向けた計画が設定され、進路実現に向けた強化を行っています。中学校も中高一貫校としての3年間の学びの見直しを行っています。全体を通じて「人格の向上は成績の向上である」の方針のもと、一層の学びの質を高めるとともに、学校全体の熱量をあげていくことで、100周年に向けて歩みのスピードをあげていきます。

武蔵野大学中学校 校長
中村（なかむら） 好孝（よしたか）

07

建学の精神

学祖　高楠順次郎先生奨励の『五戒』をもとに
・「ありがとう」の気持ちをもって過ごす（「有難いな」を感じる）
・難しい・大変なことに挑戦する（「苦しいな」をやり遂げる）
・「お先にどうぞ」の気持ちを持つ（人に譲る）
・ひとつできるようになったらまた次へ、積み重ねを大切に（新しい技能の習得）
・友達とにこやかに話す（にこやかに語る）

教育の理念、目標

仏の心を身につけた子どもに
健康なからだで明るい子どもに
豊かな情操を持った子どもに
自主的な生活のできる子どもに
友だちと仲良くできる子どもに

年間行事

4月
●始業式 ●入園式
●花祭り ●こいのぼり作り
●飼育動物の飼い方教室
●4月の誕生会
●クラス懇談会①

5月
●子どもの日のお祝い
●親子遠足（年中・年長）
●親子散歩（年少）
●内科検診
●同慶節 ●同窓会
●わくわくひろば①
●クラス懇談会②
●同窓会 ●夏野菜の栽培
●5月の誕生会

6月
●歯科検診 ●プール開き
●親子ふれあいデー
●参観月間（年中・年長）
●個人面談① ●雪頂忌

7月
●七夕祭り ●終業式
●年長 お泊り会 ●プール参観

8月
●夏季保育

9月
●始業式 ●プール納め ●遠足
●祖父母ふれあいデー
●クラス懇談会③

10月
●運動会 ●観劇会
●わくわくひろば②
●クラス懇談会④
●入園説明会

11月
●お芋掘り ●お店屋さんごっこ
●保育参観（年少） ●入園受付
●新入園児保護者会
●報恩講

12月
●散華乙女の追悼会
●成道節 ●発表会
●終業式

1月
●始業式
●バス遠足（年長）
●眼科検診
●わくわくひろば③
●保育参観③
●個人面談②

2月
●節分 豆まき
●涅槃節 ●作品展
●クラス懇談会⑤
●新規園児一日入園

3月
●ひな祭り
●ありがとうの会
●卒園生を祝う会
●卒園式

武蔵野大学附属幼稚園

MUSASHINO UNIVERSITY KINDERGARTEN

https://www.musashino-u.ac.jp/yochien/

設立年／1967（昭和42）年
園児数／225名（※2023年5月1日現在）
教員数／17名（※2023年5月1日現在）
職員数／23名（※2023年5月1日現在）
〒202-8585　東京都西東京市新町一丁目１番20号
TEL 042-468-3169
FAX 042-468-3321
〔資料請求・問合せ先
TEL 042-468-3169
https://www.musashino-u.ac.jp/yochien/contact.html〕

本園の特徴

Point 1　仏教をバックボーンとした教育
遊戯室にある仏さまに、朝拝や仏教行事で手を合わせたり万物の恵みに感謝したり、生きもの飼育を通して弱者へのいたわりと優しい気持ちを育んでいます。

Point 2　人生の基礎を培う心身の健康教育
園庭の遊具は仲間との触れ合いを楽しめるものが多くあり、日々楽しい遊びが展開されています。また、広大な敷地は深い緑と四季の花に覆われ園児たちは草花を摘んだり虫を追ったり自然の中で遊んでいます。

Point 3　大学との連携
大学の教育学部の先生によるワークショップ、言語聴覚士の先生や心理学の先生の講演や保護者のための育児相談、未就園児のための子育て支援室も開催されています。

Point 4　職員の研究活動
縦割り保育活動について真宗保育学会で発表したり全国学校飼育動物研究会ではパネル発表も行いました。

園長メッセージ　まことの保育をめざして

私どもの園では、浄土真宗本願寺派保育連盟の掲げる「まことの保育」という宗教的情操教育を保育の根幹に位置づけております。毎週のお朝拝や仏教行事を通して園児たちにそのこころを伝えているだけでなく、教職員も一丸となってその精神に学び、かつ研鑽に励み、また、保護者の方々にもその趣旨を理解していただけるよう様々な機会を捉えてはたらきかけを行っています。世の中がめまぐるしく変化を続けるこのような時代状況のなかにあって、私どもの拠り所とする「まことの保育」は益々その重要性を増しているように感じています。これまでの価値観や常識が大きく揺れ動いている現代だからこそ、保護者の方々や教職員にとって誰もが安心してこころを委ねることのできる「確かな拠り所」としての宗教的情操教育の趣旨を、多くの方々と共有してまいりたいと思います。

武蔵野大学附属幼稚園 園長
石上（いわがみ） 和敬（かずのり）

建学の精神

●響き合う保育

一人ひとりの個性はさまざま。それぞれが「遊び込む」ことを通して素敵な音色を奏で、それが重なり響き合い、世界のしあわせを願うハーモニーとなるように、子どももおとなも共に感じ合い、育ちあう保育を目指しています。

教育の理念、目標

1. 思う存分遊び込み、生きる力を身につける

子どもにとって大切なことは「遊び込む」ことです。自ら「遊び込む」ことで、ものの不思議さに気づき、好奇心・探究心を育んでいきます。また、工夫して遊ぶ楽しさや達成感を味わうことが自信につながり、“生きる力”の根源でもある自己肯定感を高めます。保育者や友だちと安心して過ごす中で、思う存分遊び込み、“生きる力”を身につけていきます。

2. 本物に触れ、豊かな感性を育てる

武蔵野大学各学部と連携して、学内外の各分野の専門家による“わくわくプログラム”で本物に触れる体験を通して、豊かな感性を育んでいきます。子育て支援として未就園児親子対象のイベントや講演会、園庭開放、育児相談など、地域との交流を大切にした、開かれたこども園にしていきます。

3. 仏の心を大切に

浄土真宗本願寺派の認定こども園として、自然にふれ、また子ども同士がふれあい、生活する中で、生命の尊さに気づき、万物の恵みに感謝して手を合わせる、心優しい子どもを育てていきます。

年間行事

4月	●入園式　●花まつり　（3･4･5歳児対象）
5月	●こどもの日の集い　●同慶節
6月	●保育参加（3･4･5歳児対象）
7月	●七夕まつり
8月	●夏季保育（3･4･5歳児対象）　●乳児夏のお楽しみ ●お泊り会（年長）
9月	●秋の遠足（3･4･5歳児対象）　●引き取り訓練
10月	●運動会
11月	●保育参加ウィーク（3･4･5歳児対象） ●お楽しみ会（3･4･5歳児対象）　●報恩講
12月	●成道節
1月	●3号保育参加ウィーク
2月	●涅槃節　●節分・豆まき
3月	●ひなまつり　●ありがとうの会　●卒園式（5歳児）

武蔵野大学附属有明こども園

ARIAKE CENTER FOR EARLY CHILDHOOD EDUCATION AND CARE

https://ak.musashino-u.ac.jp

設立年／令和２(2020)年
園児数／239名（※2023年5月1日現在）
教員数／31名（※2023年5月1日現在）
〒135-0063　東京都江東区有明二丁目1-4
TEL 03-6899-2060
FAX 03-6899-2064
〔資料請求・問合せ先
TEL 03-6899-2060〕

本園の特徴

「遊び込む」日々の活動を通して、小学校以降の学習活動の礎となる、主体性、思考力、集中力、数量・図形や文字などへの関心・感覚などの力を培います。さらにそれらの力を広げていけるよう、以下のような特別プログラムを実施しています。

Point 1 わくわくプログラム

武蔵野大学と連携し、各分野の専門家が考案した“わくわくプログラム”で、海外の言葉や文化に触れる体験や、教育学部、グローバル学部、看護学部などの教授や学生と一緒に各種プログラムを通して楽しく学び、本物に触れる体験を通じ、豊かな感性を育てていきます。

Point 2 絵本タイム

有明こども園の図書室「えほんのもり」には絵本を2,000冊以上揃えています。絵本の読み聞かせや読書を通して、絵本から実体験へとつないで、興味を広げたり、喜怒哀楽の情緒を育んでいきます。

Point 3 食育

栄養士による食育の機会を定期的に設け、「食」の体験や感覚を通じて、食物をいただく感謝の気持ちと健全な食生活を実践できる力を育みます。

園長メッセージ　個性が響き合い、子どもと大人が育ちあう

武蔵野大学附属有明こども園は、令和2年4月に開園した新しいこども園です。

その設立にあたり掲げた教育理念が「響き合う保育」です。「響き合う保育」とは、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら、その個性が「遊び込む」ことを通して、素敵な音色を奏で、重なり響き合い、世界のしあわせを願うハーモニーとなるように、共に感じ合い、育ちあう保育です。「響き合い」は、子どもたちだけではなく、子どもたちと保育者、そして保護者や地域の皆様との心の響き合いへと広がり、一人ひとりの子どもの個性や力を存分に発揮できることにつながると考えます。

子どもたちを真ん中におき、教職員一同、保護者や地域の皆様と力を合わせて参ります。本園の教育活動へのご理解とご支援を、よろしくお願いいたします。

武蔵野大学附属有明こども園 園長
井土（いづち） 満（みつる）

建学の精神

「叡知」叡知をふかく貯えて、強く正しく人の世を生きぬきます。
「温情」温情をゆたかにして、やさしくなごやかに人の世を生きぬきます。
「真実」真実を求めて、落ち着いて誠実に人の世を生きぬきます。
「健康」健康に留意して、明るく楽しく人の世を生きぬきます。
「謙虚」たかぶりや独善を避けて、偉大な教えを仰ぎながら謙虚に人の世を生きぬきます。

教育の理念、目標

「Challenge Change Contribute」

1. Challenge

失敗を恐れずに挑戦し続ける姿勢を応援します。挑戦し、フィードバックをたくさんもらうことで、人は成長していきます。正解のない時代だからこそ、小さなチャレンジを続けることが重要だと考えます。

2. Change

変化に対して、常に柔軟で、前向きであってほしいと考えます。現在、世の中はものすごいスピードで変化しています。そのような中、しっかりとした自分の軸（Who you are.）を持ちながら、それを中心に柔軟にピボットできる生徒を育てたいと思います。

3. Contribute

常に「なんのために？」を考え、目的意識を持った行動ができるように支援します。小さなことでもいいので、自分の身の回りの社会に対して貢献する意識を持ち、自分の人生にオーナーシップを持てるよう、指導しています。

近年の取り組み、実績

武蔵野大学のキャンパスとつながる、無線 LAN の環境を整備。ICT を積極的に活用することで、アクティブな（主体的な）学びをより進化させた、アダプティブな（個別に対応した）学びをめざしています。

1. ARC（アカデミック・リソースセンター）

ICT環境と図書館の機能を統合したアカデミック・リソースセンター（通称ARC）には、自習スペース、協働学習に適した学習スペース、談笑もできるカフェスペースがあります。放課後のARCには、生徒たちが多数集まり、自主的に学習を進めています。

2. プラットフォームの活用

学校からの連絡や学習活動の記録（ポートフォリオ）にはClassiを、授業の課題提出や先生からのアドバイスにはGoogle Classroom、ManageBacなど、学習管理支援システムを利用しています。反転学習や自主学習のツールとして、スタディサプリも活用し、個々の学習状況にあわせて、課題や小テストを配信しています。

武蔵野大学附属千代田高等学院

MUSASHINO UNIVERSITY CHIYODA HIGH SCHOOL

https://chiyoda.ed.jp/chiyoda_high/

設立年／1888（明治21）年
設置コース／選抜探究コース、附属進学コース
生徒数／363名（※2023年5月1日現在）
教員数／48名（※2023年5月1日現在）
職員数／9名（※2023年5月1日現在）
〒102-0081　東京都千代田区四番町11番地
TEL 03-3263-6551
FAX 03-5214-5005
〔資料請求・問合せ先
TEL 03-3263-6551
入試広報部（メール）c-nyushi@musashino-u.ac.jp〕

本校の特徴

武蔵野大学附属千代田高等学院は、この数年、大きなチャレンジを繰り返してきました。その一つとして、国際バカロレア認定校（IB World School）などを基軸とした、学習者中心主義に基づく、探究学習の頒布に努めてきました。ただ、これは手段の一つでしかありません。最も大切なことは、「手段」として学んだことを、いかに自分の身近な人の問題解決につなげることができるか。それこそが、本校に課せられた使命だと感じております。

校長メッセージ　原点回帰とSociety5.0に向けて

本校は、今後５年にわたりさらなる飛躍をめざし、動き出します。特に国際バカロレアでも謳われていますが、「自己認識」「他者理解」「配慮と貢献」という文脈において、どうしても「利己」的になりがちな現代社会、メタ認知の側面より高い視座から、「自らが何をすることで世界に貢献できるのか?」を少しずつ考える機会を作り続けていきます。また、そのためには「真なるリベラルアーツ」を身につけることが大切であると思っております。具体的には、リベラルアーツ＝教養教育、と日本では間違った認識でいることが多いのですが、本来は「自由を獲得するための技術」です。「常識」という「思い込み」や「レッテル」を乗り越え、他者を批判することなく相互理解を進め、お互いにフィードバックをし続ける社会・学校をめざします。それはまさに学祖島地黙雷がめざした学校ではないか、と考えております。グローバル化の時代だからこそ「お互い様」「お蔭様」の精神をその基軸に据え、生徒・保護者・教職員が一体となり、変化の大きい時代に柔軟に対応していこうと考えております。

武蔵野大学附属
千代田高等学院 校長
木村（きむら） 健太（けんた）

建学の精神

「叡知」叡知をふかく貯えて、強く正しく人の世を生きぬきます。
「温情」温情をゆたかにして、やさしくなごやかに人の世を生きぬきます。
「真実」真実を求めて、落ち着いて誠実に人の世を生きぬきます。
「健康」健康に留意して、明るく楽しく人の世を生きぬきます。
「謙虚」たかぶりや独善を避けて、偉大な教えを仰ぎながら謙虚に人の世を生きぬきます。

教育の理念、目標

「わたしたちが大切にする6つの価値観」

- Expression ためらわずに意見を言おう。
- Purpose「なんのために？」を見つけよう。
- Challenge 安心して、失敗しよう。
- Diversity ちがいを知り、自分を知ろう。
- Self-Management 自ら立ち、自らを律しよう。
- Growth Mindset 柔軟に変化を続けよう。

近年の取り組み、実績

千代田国際中学校のカリキュラムは、大きく3つの構成に分かれています。「守破離」を何度も繰り返す中でこそ、“Who Are You?” の答えが明確になり、本当の意味で社会に貢献できる力が育つと考えます。

1. SBL (Subject Based Learning)

Skill / Knowlegde のインプット。学びの基礎を固めて土台を形成する時間。

2. PBL (Project Based Learning)

Skill / knowledge のアウトプット。使うことで知識をアクティベートする時間。

3. LAP (Liberal Arts Project)

リベラルアーツ体験プロジェクト。教科の枠を超えて実社会とつながりをもって学ぶ時間。

千代田国際中学校

CHIYODA INTERNATIONAL JUNIOR HIGH SCHOOL

https://chiyoda.ed.jp/chiyoda_inter/

設立年／1888（明治21）年
児童生徒数／171名（※2023年5月1日現在）
教員数／17名（※2023年5月1日現在）
〒102-0081　東京都千代田区四番町11番地
TEL 03-3263-6551
FAX 03-5214-5005
資料請求・問合せ先
〔TEL 03-3263-6551
入試広報部（メール）c-nyushi@musashino-u.ac.jp〕

本校の特徴

私たちの学校で大切にしているのは、何事も「他人事にしない」精神。その基礎になるのが「Challenge Change Contribute」の3つの考え方です。まずはChallenge。失敗を恐れずに挑戦し、フィードバックをたくさんもらうこと。正解のない時代だからこそ、あきらめることなく何度も小さな挑戦を続けることで人は成長していきます。次にChange。変化に対して常に柔軟で、前向きでいること。変化する世の中でも、しっかりした自分の人生の哲学（Who you are.）を持てる人であって欲しい。それを中心に、柔軟に思考を転換できる生徒を育てたいと思っています。最後にContribute。小さなことでもいいので、自分の身の回りの社会に対して貢献できる意識を持つ。その積み重ねこそが、世界を大きく変えていくということを学んで欲しいと思います。

校長メッセージ　自らの人生に、オーナーシップを持とう

世界はいま、大きな変換点にあります。テクノロジーが大幅に進化し、それに合わせてグローバル化も急速な勢いで進んでいます。時代の変化に合わせて、生活·仕事·学習の仕方を考え直す時が来たと感じている人も多いかもしれません。“誰も答えを知らない時代への突入”。このような困難な時代には「自分がこの世界をなんとかしよう」という強い気持ちが必要です。この先、積極的に立ち向かう心を持っている人にとっては、やりがいのある、冒険に満ちた人生が待ち受けている時代とも言えるでしょう。

学祖 島地黙雷は、個性を大切にして互いを認め合うことで、共に生きるという“心の教育”を行い、明治期に国際理解教育にも尽力してきた人でした。本校の礎を築いてきた人たちの思いを軸に、世界をリードし、変えていく「勇者」を育てていきたいと考えています。

千代田国際中学校 校長
日野田（ひのだ） 直彦（なおひこ）

建学の精神

大正15年の創立以降、仏教精神を礎とする『敬虔』『勤労』『高雅』の三大目標を掲げ、2万人を超える子どもたちを送り出してきました。
『敬虔』とは「自己中心性を捨て、謙虚にわが身を振り返る素直な気持ち」、
『勤労』とは「自分から進んで皆のために身体を働かせるという実践を通じ、自らの心性を高めること」、
『高雅』とは「敬虔な心と勤労を通じて自らの心身を整え、人間性と気高い品格を備えた状態」をいいます。
また、これらの目標を実現するために必要な二つの心が「智慧(ちえ)」と「慈悲(じひ)」です。
智慧は、「真理を探究する心」のことを、慈悲は、「他者を思いやり慈しむ心」を指します。
真理を探究するためには、まずよく学びより多くの知識を身につけねばなりません。

教育の理念、目標

小・中・高12年間一貫教育の中で、基礎学力の習得や学習習慣の定着から始まり、応用力も含めた確かな学力の養成、そして個々の生徒の自己実現を目指しています。その成果は、高い進学実績としても現れています。また、思いやりや慈しむ心を養うために、宗教的情操教育を行っています。仏教の考えや世界観を通して、お互いに生かし合い生かされ合う「命」について深く考えます。そうすることで、自己中心的な考えから心が解き放たれ、日常生活で友達と共に喜び、悲しみをわかち合う心にも繋げています。いかに多くの知識を身につけても、他者を思いやり慈しむ心を持たなければ社会にとって有益なものとすることはできません。これら2つの心は兼ね備えてこそ意味を成すのです。以上のような教育方針に基づき、将来、子どもたちが、高い教養を持ちながら慈しみ深く、また明るく積極的でありながら礼節が整った女性へと成長できることを期して日々の教育にあたっています。

近年の取り組み、実績

大学卒業後、社会に出た後も見据えたキャリアビジョンを早期から。
四年制大学や、短大卒業後も、自分らしく輝く道を見つけるために。
国府台女子学院では、充実したキャリア教育を実施しています。

Ad school(アドスクール)
2015年から「Ad school」と題して高等部1・2年生の希望者を対象に、大手広告代理店のクリエイターに指導していただきながら、CM制作を実施しています。

※キャリア教育プログラムの内容は、その年によって異なります。

【Ad school主な流れ】

- ●第1回・・・・・オリエンテーション@大手広告代理店
- ●第2〜4回・・プランニング:マーケティングに基づき、戦略・企画を考える
- ●第5回 ・・・・・クリエイティブ:CM作りの流れを理解
- ●第6・7回・・・実制作、編集:コンセプトを決め、動画撮影・編集の仕方を学ぶ
- ●第8回 ・・・・・試写:各グループのCM発表→意見交換→広告代理店の方からのアドバイスをもとに再撮影・再編集
- ●最終回・・・・・制作発表@学院祭:広告代理店の方・ショッピングセンターの方からフィードバック授業&表彰

国府台女子学院高等部

KONODAI GIRLS' SENIOR HIGH SCHOOL

https://www.konodai-gs.ac.jp/

設立／1926(大正15)年
設置コース／普通科(進学理系選択コース・進学文系選択コース・
選抜理系コース・選抜文系国立コース・
選抜文系私立コース・美術デザインコース)
英語科
生徒数／945名(※2023年度実績)
教員数／53名(※2023年度実績)
〒272-8567　千葉県市川市菅野3丁目24-1
TEL 047-322-7777
FAX 047-321-1122
〔資料請求・問合せ先
TEL 047-326-8100〕

本校の特徴

1.グローバルに活躍できる女子を育てる。

異文化に触れ、自分の視野を広げるきっかけをつかみます。

●3ヶ月間のターム留学を実施しました。
まとまった時間を使い、じっくりと研修に励む。英国の伝統的な女子校で寮生活をしながら学校生活にのぞみます。きっと、人生の中でかけがえのない3ヶ月になるはずです。

●卒業までにTOEIC700点取得を目標にサポート。
"使える英語"に対する学習意欲はこれまで以上に増していきます。本学院の英語科では、その成果としてTOEIC700点以上を目標に、対策の講座も授業に組み込まれ、夢の実現に向け段階的な学習内容になっています。

●ネイティブ講師による本格的な発音を耳で養う。
ネイティブスピーカーによる英語の授業を通し、実際の発音や言い回しを耳で覚え、より実践的な英語に近づけます。文化を相対的に捉えられる人材を着実に育てていきます。

2.歴史、文化、トレンド…、感性を豊かにする体験。

仏教の精神のもと、日本の伝統文化に触れながら自分を磨いていきます。

●感覚が目覚める体験を仲間とともに味わう修学旅行。
4泊5日で広島へ向かう修学旅行。原爆ドームや原爆資料館を訪れ、平和を見つめ直し、その大切さを実感する行事となっています。また、広島の自然や歴史ある景観にふれながら、考えを深めたり、感性を高める貴重な機会としています。

●女子だけでつくる学院祭。全員が主役となり、活躍。
学院全体で一つの行事を完成させる学院祭。特に高校生はリーダーとして中心になることも多く、各自がリーダーシップを取りながら成長していく機会にもなっています。男子がいないからこそ、女子だけで助け合い学院祭を成功へと導く姿はたくましく、輝いています。

●自己存在の意味論を自らに問い続け、自らを高め続ける。
知識の詰め込みではなく、知識をどのように活用して生きていくかが問われている昨今。本学院では週1時間の仏教の授業を通して、「なぜ学び続けるのか」「どうあるべきか」を問い続けながらたくましく成長していきます。

○課外講習…月曜～土曜の朝と放課後、1年を通じて各学年で課外講習を行っています。授業内容の理解を深めることと同時に、弱点の補強に繋がります。
○夏期講習…夏休みの前期・後期に、合計10日間の夏期講習を実施します。長期休暇中でも学習リズムを保つことで、さらなる実力向上を目指します。
○冬の勉強会…センター試験の1年前にあたる高校2年次の冬に実施します。教員との質疑応答により、疑問点を克服し、自己研鑽に努めます。
○語学研修…5種類の語学研修を用意し、実践的な英語技能強化につとめることが可能です。さらに、異文化交流をすすめることで英語学習への意欲を高めていきます。

理事長メッセージ　本学院で身に付ける「生きるスキル」と「本質を見極める力」

教育とは、畢竟、子供達に知的渇望をいだかせることだ、と言うのが私の信念です。子供達は、飽く事無き知的好奇心を持って日々を生き、その心を満たすことで成長していきます。

本学院では、二つのアプローチから子供達の成長を支援したいと考えています。その一つは教育の「方法論」とも言うべき側面です。これは子供達に必要な多くの知識をいかに効率的に身に付けさせるかを目指し、教育内容を精選し、多様な進路志望に対応するきめ細かな教育課程を編成し、知識やスキルを体系的に身に付けさせる事を目的とするものです。

しかし、教育というものは、子供達自らに「なぜ学ぶのか」「なぜ生きるのか」を自問させるものでなくてはなりません。何故なら、真理を希求するため、また知を愛するがゆえに学ぶという、学びの本質を子供達に伝える事無くして教育は教育たりえないからです。これが教育の「意味論」の側面です。

本学院では今後もこの方法論と意味論という二つの側面から教育に取り組み、子供達に自身の未来を切り拓く力を育みたいと考えています。

国府台女子学院 理事長／学院長
平田（ひらた） 史郎（しろう）

建学の精神

大正15年の創立以降、仏教精神を礎とする『敬虔』『勤労』『高雅』の三大目標を掲げ、
2万人を超える子どもたちを送り出してきました。
『敬虔』とは「自己中心性を捨て、謙虚にわが身を振り返る素直な気持ち」、
『勤労』とは「自分から進んで皆のために身体を働かせるという実践を通じ、自らの心性を高めること」、
『高雅』とは「敬虔な心と勤労を通じて自らの心身を整え、人間性と気高い品格を備えた状態」をいいます。
また、これらの目標を実現するために必要な二つの心が「智慧(ちえ)」と「慈悲(じひ)」です。
智慧は、「真理を探究する心」のことを、慈悲は、「他者を思いやり慈しむ心」を指します。
真理を探究するためには、まずよく学びより多くの知識を身につけねばなりません。

教育の理念、目標

小・中・高12年間一貫教育の中で、基礎学力の習得や学習習慣の定着から始まり、応用力も含めた確かな学力の養成、そして個々の生徒の自己実現を目指しています。また、思いやりや慈しむ心を養うために、宗教的情操教育を行っています。仏教の考えや世界観を通して、お互いに生かし合い生かされ合う「命」について深く考えます。そうすることで、自己中心的な考えから心が解き放たれ、日常生活で友達と共に喜び、悲しみをわかち合う心にも繋げています。いかに多くの知識を身につけても、他者を思いやり慈しむ心を持たなければ社会にとって有益なものとすることはできません。これら２つの心は兼ね備えてこそ意味を成すのです。本学院では他者を思いやる「慈悲」と真理を探求するための「智慧」を身に着けて貰おうと思っています。以上のような教育方針に基づき、将来、子どもたちが、高い教養を持ちながら慈しみ深く、明るく積極的でありながら礼節が整った女性へと成長できることを期して日々の教育にあたっています。

近年の取り組み、実績

- 校内全教室に無線LAN、電子黒板を設置。生徒は一人一台iPadを持ち、授業などで活用。
- 放課後学習のため、SSR(セルフスタディルーム)を設置、英語と数学の教員が常駐し、いつでも質問に答えられる体制をとっている。
- 卒業までに全員が英語検定3級を取得、また、準2級以上を半数の生徒が取得できるようにするため、級別の英検取得ゼミを開設。
- 夏休みに希望者を対象とした約2週間の海外語学研修(オーストラリア)を実施。

国府台女子学院中学部

KONODAI GIRLS' JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.konodai-gs.ac.jp/

設立／1926(大正15)年
生徒数／580名(※2023年度実績)
教員数／35名(※2023年度実績)
〒272-8567　千葉県市川市菅野3丁目24-1
TEL 047-322-7777
FAX 047-321-1122
〔資料請求・問合せ先
TEL 047-322-7770〕

本校の特徴

中学の３年間は、本格的な勉強がスタートし、心身ともに大きな変化を迎える大事な時期です。
異性の目を気にすることなく伸び伸びと、落ち着いた環境の中で着実に学習に取り組むことができます。

◆カリキュラムの特色

Point 1 仏教の授業

浄土真宗・仏教の教えだけでなく哲学的・倫理的な内容まで、幅広い内容に触れ多角的な視点を身につけます。

Point 2 情報リテラシーの授業

図書館で行う特別のカリキュラム。調べ物・発表学習を中心としたカリキュラムで、表現力・問題解決力を身につけます。指導は教員2人体制で行います。

Point 3 放課後学習

放課後に教員が常駐する自習室を設置、学習の遅れや理解不足を丁寧にフォローアップしています。また、放課後に開講しているの英検取得ゼミも多くの生徒が参加しています。

Point 4 中1から少人数習熟度別の英語授業

英文作の授業では、一人ひとりの英語力に合わせたきめ細かな指導を実施します。

理事長メッセージ　本学院で身に付ける「生きるスキル」と「本質を見極める力」

教育とは、畢竟、子供達に知的渇望をいだかせることだ、と言うのが私の信念です。子供達は、飽く事無き知的好奇心を持って日々を生き、その心を満たすことで成長していきます。

本学院では、二つのアプローチから子供達の成長を支援したいと考えています。その一つは教育の「方法論」とも言うべき側面です。これは子供達に必要な多くの知識をいかに効率的に身に付けさせるかを目指し、教育内容を精選し、多様な進路志望に対応するきめ細かな教育課程を編成し、知識やスキルを体系的に身に付けさせる事を目的とするものです。

しかし、教育というものは、子供達自らに「なぜ学ぶのか」「なぜ生きるのか」を自問させるものでなくてはなりません。何故なら、真理を希求するため、また知を愛するがゆえに学ぶという、学びの本質を子供達に伝える事無くして教育は教育たりえないからです。これが教育の「意味論」の側面です。

本学院では今後もこの方法論と意味論という二つの側面から教育に取り組み、子供達に自身の未来を切り拓く力を育みたいと考えています。

国府台女子学院 理事長／学院長
平田（ひらた） 史郎（しろう）

建学の精神

大正15年の創立以降、仏教精神を礎とする『敬虔』『勤労』『高雅』の三大目標を掲げ、2万人を超える子どもたちを送り出してきました。
『敬虔』とは「自己中心性を捨て、謙虚にわが身を振り返る素直な気持ち」、『勤労』とは「自分から進んで皆のために
身体を働かせるという実践を通じ、自らの心性を高めること」、『高雅』とは「敬虔な心と勤労を通じて自らの心身を整え、
人間性と気高い品格を備えた状態」をいいます。また、これらの目標を実現するために必要な二つの心が「智慧(ちえ)」と「慈悲(じひ)」です。
智慧は、「真理を探究する心」のことを、慈悲は、「他者を思いやり慈しむ心」を指します。
真理を探究するためには、まずよく学びより多くの知識を身につけねばなりません。

教育の理念、目標

小・中・高12年間の一貫教育の中で、基礎学力の習得や学習習慣の定着から始まり、応用力も含めた確かな学力の養成、そして個々の児童の自己実現を目指しています。その成果は、高い進学実績としても現れています。また、思いやりや慈しむ心を養うために、宗教的情操教育を行っています。仏教の考えや世界観を通して、お互いに生かし合い生かされ合う「命」について深く考えます。そうすることで、自己中心的な考えから心が解き放たれ、日常生活で友達と共に喜び、悲しみをわかち合う心にも繋げています。いかに多くの知識を身につけても、他者を思いやり慈しむ心を持たなければ、社会にとって有益なものとすることはできません。これら2つの心は兼ね備えてこそ意味を成すのです。以上のような教育方針に基づき、将来、子どもたちが、高い教養を持ちながら慈しみ深く、また明るく積極的でありながら礼節が整った女性へと成長できることを期して日々の教育にあたっています。

年間行事

4月
- 入学式
- 花まつり灌仏会
- 聖徳太子奉讃会
- 修学旅行

5月
- 創立記念式
- 母への感謝式
- 親鸞聖人降誕会
- 学校説明会

6月
- 運動会
- 学校説明会(小・中)

7月
- 盂蘭盆会
- 夏期講習
- 七夕まつり(小)
- 水泳教室(小)
- 高原学校(小4)

8・9月
- 学院祭
- 学校説明会(小)

10月
- 第1回入学試験
- 秋の校外学習

11月
- 秋の音楽集会
- 芸術鑑賞会
- 寒天鍛錬
- 第2回入学試験

12月
- 成道会
- 懺悔会
- スキー学校

1月
- 報恩講
- 書初め大会
- 書初め展

2月
- 涅槃会
- 版画、冬のたより作品展

3月
- 卒業式
- ひなまつり
- 6年生を送る会

国府台女子学院小学部

KONODAI GIRLS' ELEMENTARY SCHOOL

https://www.konodai-gs.ac.jp/

設立／1926(大正15)年
児童数／339名(※2023年度実績)
教員数／29名(※2023年度実績)
〒272-8567　千葉県市川市菅野3丁目24-1
TEL 047-322-7777
FAX 047-321-1122
〔資料請求・問合せ先
TEL 047-322-5644〕

本校の特徴

人として、女性として。大切な根っこを、6年間で築き上げる。

小学部の6年間は知性や情緒の基礎を形成する大事な時期です。知る喜び、学ぶ楽しさを感じ、より主体的に行動できる環境を整えています。
また、仏教の教えを通して、感謝の心や思いやり、謙虚な心を養います。

学習指導　[智慧]知的好奇心を持ち、主体的に学ぶ力や積極的に学びたいと思う気持ちを育みます。

- ●国・算重視。基礎基本の徹底…… 国語と算数の基礎学力の習熟を目指し、わかりやすい授業の工夫や家庭学習の充実を図り、より深い学習に向けた基礎を作ります。
- ●早期から国際感覚を身につける英語授業 …… 1年生から少人数制の英会話授業を実施し、早期から英語に慣れ親しみます。
- ●自然を五感で感じ好奇心を満たす体験学習 ‥ 沖縄修学旅行や高原学校、スキー学校など自然に囲まれた体験学習で、児童の感性を磨き、知的好奇心を刺激します。

情操教育　[慈悲]芸術や文化、人との交流を通して、喜びや悲しみを分ち合う心を育みます。

- ●礼節を身につける毎日の「合掌」…… 始業・終業時に行われる合掌礼拝や仏教の授業、仏教行事を通して、「み仏の教え」に触れ、感謝の心や礼節を身につけます。
- ●互いに成長させ合う縦割り活動 …… 児童会活動や秋の校外学習で、学年を超えて児童が主体的に取り組む場を多く設け、児童の社会性を育みます。
- ●丈夫な体と心を養う寒天鍛錬…… 11月の5日間、早朝に校地周辺を走ります。最終日のおしるこを目標に、寒さに負けない丈夫な心と体を養います。
- ●豊かな感性を養う文化活動 …… 礼儀作法を学ぶ一環として茶道教室を実施しています。美しい所作を身につけながら、日本の伝統文化にふれる機会としています。
- ●風呂敷で育む「始末の心」…… 体操着や制服は、風呂敷に包んで、丁寧にしまうよう指導しています。「きちんと風呂敷にしまう」行為を毎回繰り返すことで、「始末の心」が自然と身につきます。

理事長メッセージ　本学院で身に付ける「生きるスキル」と「本質を見極める力」

教育とは、畢竟、子供達に知的渇望をいだかせることだ、と言うのが私の信念です。子供達は、飽く事無き知的好奇心を持って日々を生き、その心を満たすことで成長していきます。

本学院では、二つのアプローチから子供達の成長を支援したいと考えています。その一つは教育の「方法論」とも言うべき側面です。これは子供達に必要な多くの知識をいかに効率的に身に付けさせるかを目指し、教育内容を精選し、多様な進路志望に対応するきめ細かな教育課程を編成し、知識やスキルを体系的に身に付けさせる事を目的とするものです。

しかし、教育というものは、子供達自らに「なぜ学ぶのか」「なぜ生きるのか」を自問させるものでなくてはなりません。何故なら、真理を希求するため、また知を愛するがゆえに学ぶという、学びの本質を子供達に伝える事無くして教育は教育たりえないからです。これが教育の「意味論」の側面です。

本学院では今後もこの方法論と意味論という二つの側面から教育に取り組み、子供達に自身の未来を切り拓く力を育みたいと考えています。

国府台女子学院 理事長／学院長
平田（ひらた） 史郎（しろう）

14

学園の心

◯慈光に照らされわが身を省みます（内省）
◯生かされていることに感謝します（感謝）
◯互いにうやまい助け合います（敬愛・相互扶助）

教育の理念、目標

1. 自己に厳しく、常に深く自らを省みて自己の完成を目指す。
2. 内省によって「ありがとう」「おかげさま」を明確に表現できる。
3. 報恩感謝の気持ちから、共に手をとり合って社会に貢献する。

近年の取り組み、実績

1. 新コースへ移行

令和４年度４月から、進学・スポーツコースを新設。将来、大学や看護・医療系の専門学校等への進学を希望する人の学力をサポートし、文武両道を目指す生徒をサポートしています。

2. きめ細かな進路指導

進学や就職など、個々に応じた進路活動を行い、進路実績を伸ばしています。

3. 部活動の輝かしい実績

運動部・文化部共に、部活動に力を入れています。2023年には、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に、陸上競技部・女子ソフトボール部・剣道部・水泳競技が出場しました。

龍谷富山高等学校

RYUKOKUTOYAMA HIGH SCHOOL

http://www.ryukokutoyama-h.ed.jp

設立／1936(昭和11)年
設置コース／特別進学コース(1～3年)・総合コース(1年)・進学・スポーツコース、
キャリアデザインコース、福祉コース、ビジネス情報コース、
生活文化コース(2～3年)
生徒数／731名(※2023年5月1日現在)
教員数／78名(※2023年5月1日現在)
〒930-0855　富山県富山市赤江町2-10
TEL 076-441-3141
FAX 076-441-3645
〔資料請求・問合せ先
総務部　TEL 076-441-3141(代)〕

本校の特徴

「君を本気にさせます」「君の本気を支えます」

すべての生徒の将来の進路実現に向けて多方面からバックアップし、生徒一人一人の本気を支えます。また、部活動はもちろん、校外での活動においても、アスリートの育成や文化・芸術分野で頑張る生徒を応援する未来人材応援プロジェクトなど若い力の活躍に大きなサポートを行っています。

校長メッセージ　平等な時間

近年、生徒の気質や新課程・新入試への対応が進む中で、先生が教え導く「指導」だけでなく、生徒に寄り添い、意欲を引き出す「支援」が重要になってきました。「今まで通り」で良いことも、今まで通りではダメで、学校や教員側が変わらなければならないこともあると思っています。学校や教員側が変わることで、生徒・保護者にも変化が生まれるのであれば、そうすべきであると思います。同じ学園に集う私たちは、教員も生徒・保護者も互いに温かい気持ちで接し合い、後世に残る学校をつくっていく事が大切だと思います。

お念仏の香る生活の中にあっても、今まさしく先が見えない時代です。人は人の生き方から影響を受けることが多分にあると思います。今の自分に出来ることは何かを常に問い続けて時間を過ごしていきたいものです。

龍谷富山高等学校 校長
井上（いのうえ） 浩一（ひろかず）

建学の精神

慈光に照らされわが身を省みます。(内省)
生かされていることに感謝します。(感謝)
互いにうやまい助け合います。(敬愛・相互扶助)

教育の理念、目標

1. 仏さまに手を合わせ、素直で思いやりのある子ども
2. 元気いっぱいに活動し、心身ともに健康な子ども
3. のびのびと遊び、自ら考え行動できる子ども

年間行事

4・5・6月

●入園式 ●保育参観
●花まつり ●藤まつり ●遠足
●パワフル記念日

7・8・9月

●七夕 ●サマーフェスティバル
●おとまり会 ●同窓会 ●運動会

10・11・12月

●生活発表会 ●もちつき
●報恩講

1・2・3月

●豆まき ●保育参観
●ひなまつり ●お別れ会
●卒園式

幼保連携型認定こども園
藤園幼稚園

TOUEN KINDERGARTEN

http://www.touens.com

設立／1950(昭和25)年 4月
園児数／59名
教員数／26名
〒930-0855　富山県富山市赤江町6-7
TEL 076-432-2292
FAX 076-432-2245
〔資料請求・問合せ先
TEL 076-432-2292〕

本園の特徴

本園では、子ども一人一人を大切にし、
人間として生きていくための基礎を育てます。
それは、友達と心通わせ思い切り体を使って
遊ぶことで培われていきます。

Point 1 豊かな心

仏さまに手を合わせ、
素直で思いやりのある子を育てます。

Point 2 丈夫な身体

のびのびと体を動かし、
体操教室や運動遊びを通して心身のバランスを図り、
身体を動かす楽しさや運動技能を身に付けます。

Point 3 考える力

五感を働かせながら夢中で遊び、
試行錯誤を繰り返し達成感や
満足感を味わえるよう導いていきます。

園長メッセージ　子供は子供を生きています

浄土真宗のみ教えにふれながら丈夫な身体と優しい心を持ち、豊かな人間に育ってほしい。そのような願いを持って日々の教育及び保育に携わっています。

本園は、昭和25年に幼稚園として開園して以来、6,000名余りの卒園児が各方面で活躍し、本園の幼児教育・保育に高い評価をいただいています。

平成28年からは、小学校就学前の子供に一貫した教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園となりました。

『子供は子供を生きています』。子供が子供らしく、元気にのびのび過ごすことができる環境が本園にはあります。さらに本園では、一人一人の個性を重視しながら、豊かな体験活動を通して子供たちの興味・関心を呼びおこし、積極的に物事に取り組み、生き生きとたくましく行動できるよう日々の教育・保育の充実に努めています。これからも幼児教育・保育の更なる質の向上と保育機能を活かした子育て支援に力を注いでまいります。

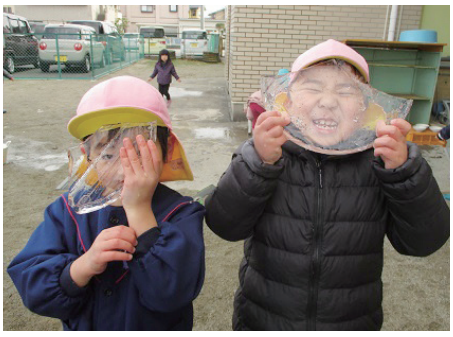
藤園幼稚園 園長
増田（ます だ） 拓哉（たく や）

建学の精神

慈光に照らされわが身を省みます。(内省)
生かされていることに感謝します。(感謝)
互いにうやまい助け合います。(敬愛・相互扶助)

教育の理念、目標

1. 仏さまに手を合わせ、素直で思いやりのある子ども
2. 元気いっぱいに活動し、心身ともに健康な子ども
3. のびのびと遊び、自ら考え行動できる子ども



年間行事

4・5・6月	●入園式 ●保育参観 ●花まつり ●藤まつり ●遠足
7・8・9月	●七夕 ●おとまらナイト ●同窓会 ●夕涼み会 ●運動会
10・11・12月	●生活発表会 ●もちつき ●報恩講
1・2・3月	●豆まき ●保育参観 ●ひなまつり ●お別れ会 ●卒園式

幼保連携型認定こども園
藤園南幼稚園

TOUEN MINAMI KINDERGARTEN

http://373.touens.com

設立／1979(昭和54)年 4月
園児数／94名
教員数／23名
〒930-8066　富山県富山市朝菜町1-15
TEL 076-425-2200
FAX 076-425-2200
〔資料請求・問合せ先
TEL 076-425-2200〕

本園の特徴

こころのねっこ

本園では、幼児期は「人」という大きな木を育てる基礎作りの時期ととらえ、テレビやネットでは得ることのできない「友達とかかわり心と体を使って遊ぶこと」でたくさんの学びになると考えています。その学びは、次第に«こころのねっこ»となって、児童期から大人に向かっての健やかな成長を支えてくれるでしょう。

私たちは、子供一人一人を大切にし、人間として生きていくための基礎となる『豊かな心・丈夫な身体・考える力』を育てます。子供たちは、緑に囲まれた園庭、桜並木のお散歩、裸足で泥んこ、雪遊びと四季折々の自然に恵まれた環境で毎日元気いっぱいに遊んでいます。

園長メッセージ　子供は子供を生きています

浄土真宗のみ教えにふれながら丈夫な身体と優しい心を持ち、豊かな人間に育ってほしい。そのような願いを持って日々の教育及び保育に携わっています。

本園は、昭和54年に幼稚園として開園して以来、3,000名余りの卒園児が各方面で活躍し、本園の幼児教育・保育に高い評価をいただいています。

平成28年からは、小学校就学前の子供に一貫した教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園となりました。

『子供は子供を生きています』。子供が子供らしく、元気にのびのび過ごすことができる環境が本園にはあります。さらに本園では、一人一人の個性を重視しながら、豊かな体験活動を通して子供たちの興味・関心を呼びおこし、積極的に物事に取り組み、生き生きとたくましく行動できるよう日々の教育・保育の充実に努めています。これからも幼児教育・保育の更なる質の向上と保育機能を活かした子育て支援に力を注いでまいります。

藤園南幼稚園 園長
増田（ます だ） 拓哉（たくや）

建学の精神

本学園は、昭和38（1963）年の創立以来、「親鸞聖人が明らかにされた仏陀（釈尊）の教えにもとづく人間教育」を基本とし、ともに「思いやりと感謝のこころ」をもち、「一人ひとりを大切に」育み伸ばす教育の充実に努めてきました。これからも時代の変化に即して、伝統と革新の調和のとれた教育を推進します。

教育の理念、目標

21世紀を心豊かに生きる力の育成

グローバル化や情報化の一層の進展などにより、私たちは今、激動の社会に生きています。ダイバーシティ&インクルージョンを基調とし、一人ひとりの幸せと社会全体のWell-beingの実現を目指し、21世紀を共に生きる力を培います。

〈スクールミッション〉

生徒一人ひとりを大切に、伝統を基盤に教育の革新を図り、社会に貢献し心豊かに生きる若者を育成します。

〈グラデュエーション・ポリシー〉 — 卒業までに身につける力

新たな時代を創造する基礎学力やリテラシーを習得するとともに、志と思いやりの心を持って、社会に貢献しようとする態度を身につけます。

【学力】

基礎学力を着実に培い学ぶ意欲を引き出します。

【探究力】

自ら問い考え、共に課題を解決する資質・能力を伸ばします。

【デジタル・グローバル】

時代の変化に即したリテラシーや思考を身につけます。

【個性・得意分野の伸長】

好きを得意に、得意を極め、道を拓きます。

【ダイバーシティ&インクルージョン】

命の大切さに気づき、違いを認め、思いやりの心を持って、人の役に立とうとする態度を培います。

近年の取り組み、実績

新たな10年に向けて

1.〈通信制課程の新設〉

令和7（2025）年4月の通信制課程の開設に向け、既に実施されている敬徳高校（佐賀県）のご支援をいただきながら準備を進めています。従来の全日制課程に加え通信制課程（狭域）を設置することで、不登校など、様々な課題を抱える生徒に対し、多様で柔軟な学びの機会を提供します。全日制課程と通信制課程の併修を可能とするとともに、国の制度改正も踏まえ、LMSの活用や授業動画の配信など、いつでもどこでも学べる学びの環境を整えていきます。

2.〈普通科コースの再編〉

同じく令和7年度から、調理科を普通科調理・製菓コースに転換するなど、これからの時代を創造する人材の育成に向け、普通コースを大幅に再編します。デジタル・アート・ライフ&スポーツ・フードを柱とし、従来の枠を超えた横断的で社会の実際に即した、実践的な学びを可能とします。

特にAIの加速度的な進歩などによるDXの進展や、グローバル化によるより多様化する社会実態を踏まえ、デジタルリテラシーの向上、グローバルな幅広い視野の育成、ダイバーシティ&インクルージョンの感性・行動様式の習得を図ります。

高岡龍谷高等学校

TAKAOKARYUKOKU HIGH SCHOOL

http://www.takaokaryukoku-h.ed.jp

設立年／1963(昭和38)年
設置コース／普通科(特進コースアドバンス・特進コースプログレス・クリエイトコース)
調理科 ※令和７年度から普通科フードコースへ移行
生徒数／461名
教員数／66名
〒933-8517　富山県高岡市古定塚４番１号
TEL 0766-22-5141
FAX 0766-25-8149
〔資料請求・問合せ先
TEL 0766-22-5141〕

本校の特徴

得意を伸ばす多様なチャレンジを応援

Point 1

無学年制の導入

国公立大学や難関私立大学への進学を目指す特進コースでは、学年の枠を超えて、互いに学びあい、教えあい、より高い能力を伸長する機会を設けます。ここでは、大学等との連携により、最先端の学問・研究領域に触れる機会を設け、各自の探究活動を深めます。

Point 2

未来のアスリートの育成

失敗を恐れずチャレンジできるのが若さの特権です。放課後の時間帯を主体的に有効に活用し、未来のアスリートやクリエイターを育成するスポーツ・アート・デジタル等の多様なクラブアクティビティの充実を図ります。

今は無名ですが、富山からも世界を目指すアスリート・クリエイターの輩出を目指します。

校長メッセージ　高岡龍谷「新時代へ」

本校は宗門校の一校として、公教育の一端を担うとともに、新しい時代をたくましく切り拓く「生きる力」を育むよう、学習や学校行事の改革、部活動等の活性化に努めてきました。

昨今の自然災害等から私たちは、人間の築き上げた「価値基準や形あるもの」がいかに虚妄なものであったかということを思い知らされました。社会の秩序が安定しない混迷の時代だからこそ、本校校訓である「報恩感謝」の使命をさらに問い直し、掘り下げ、自然への畏敬の念とともに人間の罪業を見据えた真の人間性の回復、命の尊厳性を重んずる教育の必要性が高まってきていると言えるのではないでしょうか。

これからも伝統の人間教育、一人ひとりの幸せ、Well-beingの実現を目指す心の教育を基盤に、時代の変化に求められる教育の刷新に積極的に取り組みます。創立60周年を契機に策定した将来ビジョンを踏まえ、「期待と信頼に応え選ばれ続ける魅力と活力ある学校づくりを進める」「一人ひとりを大切に、伝統の人間教育を基盤として時代が求める教育の革新に努める」「龍谷総合学園や地域との連携をさらに深め、柔軟で開かれた学校づくりを進める」を指針として学校改革を推進していきます。

高岡龍谷高等学校 校長
中山（なかやま） 正浩（まさひろ）

18

建学の精神

親鸞聖人のみ教えをもとに、み仏さまのお慈悲に包まれて人々の喜びや悲しみを受けとめ、思いやりを持った「ほとけの子」を育てる。

教育の理念、目標

・いのちと自然を思いやる、ゆたかな、美しい心を持つ子ども
・よく見て、よく考える子ども
・素直でたくましい子ども
・すすんで自分からできる子ども
・なかよく、助けあう子ども

年間行事

4・5・6月

●入園式 ●園外保育 ●花まつり ●親鸞さま降誕会 ●健康診断 ●親子遠足
●交通安全教室 ●避難訓練 ●親子の集い ●歯みがき教室 ●観劇会

7・8・9月

●七夕まつり ●おいもパーティー ●納涼の集い ●年長児一泊保育
●同級会 ●身体測定 ●運動会 ●いもほり遠足 ●防災訓練

10・11・12月

●交通安全教室 ●避難訓練 ●講演会 ●園外保育
●生活発表会・バザー ●成道会 ●もちつき

1・2・3月

●報恩講 ●身体測定 ●節分 ●涅槃会 ●半日入園 ●ひな祭り ●卒園式

認定こども園 ひかり幼稚園

HIKARI KINDER GARTEN

http://www4.nsk.ne.jp/~s.hikari/

設立年／1973(昭和48)年
園児数／142名
教員数／22名
〒933-0014　富山県高岡市野村1068
TEL 0766-22-2323
FAX 0766-22-2323
〔資料請求・問合せ先
TEL 0766-22-2323〕

本園の特徴

「後伸びの教育」を実践しています

本園は、子ども達が長い生涯を送る土台を養成する「後伸びの教育」を実践しています。「お話を聞く態度が身につき表現力にも優れている」と外部から評価をいただいています。

園舎は令和３年４月の認定こども園ひかり幼稚園の開園に際し改築を進め、新しい明るく広い園舎になりました。また、保育室は全て南側に面し、大きな窓からは明るい陽光が差し込み、子ども達は裸足で毎日のびのびと生活しています。広い園庭には、大型複合遊具を設置。砂場やすべり台で元気になかよく遊ぶことが出来ます。

本園独自の活動として、年長児のリーダー活動があります。礼拝当番、放送部、集会活動を自分たちで進め、全園児をまとめ、リーダーシップを発揮することで幼児の主体性や協調性、協同性を育てています。

これらの活動を通し、友達と活動する楽しさや協力することの大切さ、友達に対する思いやりの心も育ちます。栽培活動や食育にも力を入れ、自分達が育てた野菜のいのちをいただいていることに気付き、いのちの尊さを学びます。

園には1,500冊以上の絵本があり、毎週２冊貸し出しを行うなど情操の育成にも配慮しています。幼児期に大切なこころとからだを育むため、いのちと心の教育を行っています。

「一人ひとりを大切に、その子らしさが輝く心の保育を」これが私たちひかり幼稚園の願いです。

理事長メッセージ　「一人ひとりを大切に」

認定こども園ひかり幼稚園は、清光学園が女子高校を創立してから10年を迎える昭和48（1973）年に開園いたしました。以来、建学の精神に則り、思いやりを持った“ほとけの子”を育てる「まことの保育」の実践に取り組んでまいりました。

この令和3（2021）年4月には、時代のニーズの変化を踏まえまして、幼保連携型認定こども園へと移行を図り、おかげさまで、昨年、令和5（2023）年には創立50周年の大きな節目を迎えることができました。

少子・人口減少社会が一層進む中、かけがえのない子どもたちの命をはぐくみ、未来社会を切り拓く大きな可能性の芽を育てる保育・幼児教育の使命は、ますます重要となっています。

これからも、報恩感謝の心を大切にしながら、皆様の期待と信頼に応えることができますよう、教職員一同研鑽に励みますとともに、一人ひとりに寄り添う教育を深め、実践してまいります。

学校法人清光学園
ひかり幼稚園 理事長
森尾（もりお） 淳章（じゅんしょう）

建学の精神

仏教精神、とくに親鸞聖人のみ教え「報恩感謝」の心を基調として、高い知性と豊かな情操を養い、健康で有為な青年の育成を目指します。
本学園創設者・故石原堅正先生は次のような言葉をおっしゃっています。
「われわれは生きております。しかしよく考えてみると、実は生かされて生きているのであります。たとえば、私は空気一吸、水一滴も自分で創造した覚えはありません。しかるに、空気も水も、電気も太陽も、全力をあげて私を生かしてくれています。不思議と申すほかありません。何だかそこに感謝の念がわいてまいります。今ここに、私が人間として生かされ、生きているという不思議さに感動できる心をはぐくむのが、心の学園です。」

教育の理念、目標

1. 真理を探究し、学問を愛する。
2. 正義を重んじ、誠実な言行で社会に奉仕する。
3. スポーツを愛好し、心身を鍛練する。
4. 慈悲と知慧のこころをはぐくむ。

近年の取り組み、実績

授業満足度調査（アンケート）や全生徒による授業評価などを活用しながら、より効果的な教育を推し進め、また有能な教員の積極的確保に努めたことが大きな成果へとつながりました。国公立大学や 難関私立大学への進学を目指す「特進SGコース」と、一人ひとりの個性や能力を伸ばす「普通コース」の2コース体制による教育の取り組みの成果は、実際の数字となって表れています。また、歴史ある本校独自の「こころの授業」は、生徒のやる気を引き出し、個々の能力向上に大きく寄与してきました。金沢龍谷高校では、それをさらに深耕した「感謝のこころを育む教育」を行います。たくさんのものに恵まれて幸せに暮らしながらも、現代の子どもたちは幸せを実感していません。まずは自分を育ててくれた保護者への感謝を身をもって感じ、表わすことのできる心を育成します。自分の幸せを喜び、他人の幸せを願える人間の育成を進めます。「こころ・感謝の授業」と同じように大きな成果をあげてきたのが、生徒の夢を応援する「ドリカムPLAN」です。1年次末に「10年後の私」、2年次末に「私の夢について」をテーマに作文を書きます。教師や保護者が作文にコメントするなど、生徒を含めた3者の心のキャッチボールを通して、夢の実現に向かって努力できる意欲的な人間を育みます。さらにPBAへの短期語学研修や中・長期の留学で、個々に応じた学習プログラムや、ホームステイを含めた、現地での国際交流活動や異文化体験学習を通して、実践的な英語力と国際感覚を磨き、グローバルマインドを育みます。修学旅行先も米国ハワイ州ホノルルになります。事前事後の学習を含め、ハワイへの修学旅行を通して異文化理解を深めながら日本人としてのアイデンティティーを育み、グローバルな視点で考え行動できる、未来へ逞しく前進していける国際人としての資質を養います。さらに、PBA、ブリガム・ヤング大学ハワイ校やハワイ大学マノア校などでの語学研修・留学を積極的に支援し、米国を含めた英語圏の大学への進学を目指す生徒のための学習環境が整備されています。

金沢龍谷高等学校

KANAZAWA　RYUKOKU HIGH SCHOOL

https://www.kanazawa-ryukoku.jp

設立／1922(大正11)年
設置コース／特進SGコース ※SGはSuper Global(スーパーグローバル)の略称です。
普通コース
生徒数／543名(※2023年 5月1日現在)
教員数／57名(※2023年 5月1日現在)
〒920-0374　石川県金沢市上安原町169番地の1
TEL 076-240-7777
FAX 076-240-7781
〔資料請求・問合せ先
広報室　TEL 076-240-7777〕

本校の特徴

1922年の開校以来、本校は仏教精神を基調とした建学の精神のもと、生徒と教師が一丸となって夢と心を大切にする「心の学園」づくりを追求してきました。2018年4月に現在の校名に改称し、新たな発展への途を歩んでいます。

本校の特徴は、(1)特進SGコースにおけるきめ細やかで充実した指導体制、(2)「こころ・感謝の授業」を軸に展開する心の教育、(3)ハワイ修学旅行を通して磨くグローバルマインド&スキル教育にあります。

校長メッセージ　「ここに学ばん、われら」

金沢龍谷高等学校は、1922年「金沢高等予備学校」として誕生しました。長い歴史の中で、仏教精神、特に親鸞聖人のみ教え「報恩感謝」の心を基調とし、高い知性と豊かな情操を養い、健康で有為な青年の育成を目指すという建学の精神を受け継ぎ「心の学園」として“夢”と“心”を大切にした学校づくりを行ってきました。“夢”は、生徒自身が発見し、追求し、挑戦するもの。実現には困難に打ち勝つ強い“心”も必要です。本校には、生徒一人一人が夢をつかむための「ドリカムプラン」があり、教職員は生徒と志を共有するパートナーとして、将来に繋がる悔いのない高校3年間が送れるようお手伝いをします。高校生活はとても楽しいものです。同時に、人生を決める大切な時期でもあり、努力を重ねれば未来を大きく変えることもできます。金沢龍谷高等学校の夢は生徒の夢がかなうこと。頑張ろうという意欲を学校全体で支えていきます。

金沢龍谷高等学校 校長
山下(やました)　一夫(かずお)

建学の精神

仏教精神、とくに親鸞聖人のみ教え「報恩感謝」の心を基調として、高い知性と豊かな情操を養い、
健康で有為な青年の育成を目指します。
本学園創設者・故石原堅正先生は次のような言葉をおっしゃっています。
「われわれは生きております。しかしよく考えてみると、実は生かされて生きているのであります。
たとえば、私は空気一吸、水一滴も自分で創造した覚えはありません。しかるに、空気も水も、電気も太陽も、
全力をあげて私を生かしてくれています。不思議と申すほかありません。何だかそこに感謝の念がわいてまいります。
今ここに、私が人間として生かされ、生きているという不思議さに感動できる心をはぐくむのが、心の学園です。」

金沢龍谷高等学校中等部

KANAZAWA RYUKOKU JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.jhs.kanazawa-ryukoku.jp

設立／2023（令和5）年
設置コース／総合コース
生徒数／23名（※2023年 5月1日現在）
教員数／6名（※2023年 5月1日現在）
〒920-0374　石川県金沢市上安原町169番地の1
TEL 076-240-7777
FAX 076-240-7781
〔資料請求・問合せ先
広報室　TEL 076-240-7777〕

本校の特徴

Point 1 先取り型教育課程

中高一貫教育の強みを活かし、公立中学校の授業時間+315時間の授業を行います。また高等学校の学習内容を中等部3年後半から先取りします。

Point 2 学校設定教科「こころ・感謝」

宗門校として、現代社会を善く生きる智恵を学びます。「恩の本質」に学び、自らの在り方、生き方を問い、特に保護者への感謝を表すこころを育てることを目指します。

Point 3 優れた施設を活用した探究活動「Ryukoku-ACT」

特徴的な施設である能舞台や茶室を活用して、宝生流能楽や、裏千家茶道などの伝統文化を体験を通して系統的に学びます。2年次からは4～5人単位の小グループに分かれて興味に応じた分野の探究活動を行います。教科横断型で総合的な学びの中で、知識や技能を有機的に結びつけます。

Point 4 最先端のICT環境

最新の校内Wi-Fi環境が整備されており、全ての教科において一人につき一台のタブレット端末を使用します。

Point 5 ハワイ修学旅行を基軸としたグローバルマインド&スキル教育

異文化理解を深めながら日本人としてのアイデンティティーを育み、グローバルな視点を持つ国際人としての資質を養います。中等部3年次には学校設定教科として「グローバル・コミュニケーション」を行い、海外学生との交流を含むオールイングリッシュの授業の中で、実践的な英語力を身につけます。中学校3年次にはハワイ修学旅行、高校ではカナダ修学旅行を行います。

Point 6 高校生との異学年交流

高校特進SGコースに所属する高校生との交流は、授業だけではなく登下校や部活動、学校行事など様々な場面で行います。

校長メッセージ　ここに学ばん ここに集わん

1922年の学園創立から100周年を迎えました。長い歴史の中で、仏教精神、特に親鸞聖人のみ教え「報恩感謝」の心を基調とし、高い知性と豊かな情操を養い、健康で有為な青年の育成を目指すという建学の精神を受け継ぎ、「心の学園」として歩んできました。その理念を結実させた中等部がいよいよスタートしました。6年間の中高一貫教育だからこそできるまごころの学びがここにあります。最高のスタッフ、そして皆さんと一緒に夢を実現しましょう。新しい場所との出逢いは、きっと皆さんにとってもかけがえのない挑戦となるはずです。金沢龍谷高等学校中等部は、必ずや人生を切り拓く力を導いてくれることでしょう。

金沢龍谷高等学校 中等部
校長
山下（やました） 一夫（かずお）

21

建学の精神

**「お念仏を人生の糧」とする仏教精神に基づき、
私を願い、私と共に生きて下さる阿弥陀様のお慈悲に育まれ、
幼児の生活を通して、幼児と共に喜び合う保育を基本理念とする
【まことの保育】の実践に努めています。
「親鸞聖人の生き方に学び、生かされているいのちに目覚め、
共に育ちあう」特色のある教育をめざしています。**

教育の理念、目標

1. 素直に “ ありがとう ” といえる子どもに育てます。
2. お友達と ” 助け合う ” 心を持つ子に育てます。
3. 何にでも ” ねばり強く ” 取り組める子に育てます。

年間行事

4・5・6月

- 入園式
- 親子遠足
- 花祭り
- 田植え
- アスレバル幼児体育祭
- 降誕会

7・8・9月

- 七夕の集い
- プラネタリウム
- プール開き
- 夏祭り
- サマーキャンプ
- 藤花祭

10・11・12月

- 芋ほり
- 運動会
- 電車遠足
- リンゴ狩り
- 稲刈り
- 報恩講
- お餅つき

1・2・3月

- 節分の集い
- 表現会
- そり遠足
- ひな祭り
- お別れ遠足
- 卒園式

藤花幼稚園

TOUKA KINDERGATEN

http://toukagakuen.jp

設立／1922(大正11)年
園児数／53名(※2023年 5月1日現在)
教員数／6名(※2023年 5月1日現在)
〒920-0374　石川県金沢市上安原町169番地の1
TEL 076-240-7444
FAX 076-240-7434
〔資料請求・問合せ先
TEL 076-240-7444〕

本園の特徴

そろばん・英語・スポーツで発想力の豊かな子どもに

同敷地内には金沢龍谷高等学校があり、学園の連携を生かして専門講師による様々な教育プログラムを実施しています。色々な能力がめざましくのびるこの時期だからこそ、適切かつ専門的な指導で子どもたちの可能性を豊かに育みます。

Point 1 そろばん教室

そろばん専門の先生が直接指導にあたります。そろばんは考える基本をつくることで近年再注目されています。子どもたちは小さな指先を使って立派にそろばんを使います。

Point 2 英語教室

金沢龍谷高等学校で英語を教えている教師からネイティブな英語を学びます。この時間は先生は英語しか話しません。でも子どもたちはちゃんと理解して、英語を楽しんで身につけています。

Point 3 サッカー教室

週一回、日本サッカー協会公認A級コーチである金沢龍谷高等学校サッカー部顧問の先生に指導を受けています。サッカーを通して心の豊かさや協調性、協力する力やたくましく最後まであきらめない力を身につけられます。高校の広い体育館でのびのびと取り組めるのも魅力です。

Point 4 新体操教室

音楽に合わせてリボンやボール、フープなどの手具を使って踊ります。踊って表現することの楽しさを知り、柔軟性やバランスのとれた身体をつくります。

Point 5 太鼓教室

月に1～2回、専門の先生に和太鼓の指導を受けます。(年長組・年中組)

Point 6 リトミック教室

週一回、全日本リトミック協会石川県支部会長である専門講師に指導を受けています。聴・視・触感覚を刺激して脳の活動を促し、身体表現を行う音楽教育により、音楽性・社会性・協調性・敏捷性が自然と身についていきます。

Point 7 学園の連携

同敷地内に金沢龍谷高等学校があり、広々とした運動場や体育館・講堂などでは、園児が十分に身体を動かして遊ぶことができます。また高校生のボランティアによる園児との交流など、学園の連携を生かしています。

Point 8 園外保育

野菜や植物を植えて土と触れ合ったり、芋掘りやサマーキャンプなどの園外保育を多く取り入れ、自然に接することでやさしい心を形成します。幼児期の自然の中での体験を通じて、好奇心や探究心を刺激し、生き物のすばらしさを学びます。

園長メッセージ　「まことの保育」を前へ

本幼稚園は大正十一年に開園した歴史と伝統のある幼稚園です。浄土真宗の教えを元に今日命がある事、生かされている事、人として生きる力や人との関わり合いを教え、「ありがとう」の感謝の心を育てる教育を実践しています。これまでに多くの卒園生を送り出し、自然に親しむ中で豊かな心の発達を促す幼児教育に努めて参りました。これも保護者の皆様方を始め、地域の多くの方々のお力添えによるものと感謝しております。

藤花幼稚園 園長
山下（やました） 一夫（かずお）

22

建学の精神

北陸高校は仏教精神、特に浄土真宗のみ教えを教育の根本にしています。
本校は本願寺派（西本願寺）の設立した学校であり、
明治13（1880）年に羽水教校の名のもとに開学以来、
約140年の歴史を有することになります。

教育の理念、目標

教育方針

一、み仏の願いを信じ　強く明るく生き抜く心を養う
一、自分の行動に自覚と責任をもち　自主の心を養う
一、互いにうやまい助け合い　感謝の心を養う

学校教育目標

1. 感謝の心をもち　共に成長できる生徒
2. 希望を抱き　自ら学ぶことができる生徒
3. 思いやりの心をもち　社会に貢献できる生徒

近年の取り組み、実績

1. 進学実績

国公立大学171名、私立大学567名。（2024年度）

2. スポーツ

同好会も合わせて26の部が活動。男子ハンドボール部は、2022年度選抜大会、2023年かごしま国体で全国優勝（国体は２連覇）。野球部は2022年度春、2023年夏と２大会連続の甲子園出場。2023年度はその他に、陸上男女、男子バスケットボール、男子テニス部、男子ソフトテニス、柔道女子、フェンシング男女、弓道男女がインターハイや選抜大会に出場するなど、多くの部活動が強豪として活躍しています。

3. 文化

同好会も合わせて27の部が活動。吹奏楽部は部員100名を超え、各種コンクールで活躍しています。2022年度全日本アンサンブルコンテスト出場。演劇部は2023年福井県高校演劇祭で金賞を獲得、中部日本高等学校演劇大会に出場しました。全国高校総合文化祭には、書道部、将棋部、新聞同好会などが出場しました。

北陸高等学校

HOKURIKU HIGH SCHOOL

https://www.hokuriku.ed.jp/

設立／1880(明治13)年
設置コース／特別進学コース・進学コース・普通コース・情報処理コース
生徒数／1,657名(※2023年度実績)
教員数／136名(※2023年度実績)
〒910-0017　福井県福井市文京1-8-1
TEL 0776-23-0321
FAX 0776-27-1863
資料請求・問合せ先
入試・広報部　TEL 0776-23-0321
E-MAIL kouhou@hokuriku.ed.jp

本校の特徴

Point 1 多様性

1学年に4つのコース、15～18の学級、男女合わせて全校1,600名を超える生徒が共に通います。それぞれのフィールドで活躍する友との違いを認め、刺激し合うことで、自分の個性が育っていきます。

Point 2 文武両道

すべてのコース・クラスの生徒が、各種の運動部・文化部に参加し、文武両道に取り組んでいます。文武両道で身につける前向きな姿勢と強い精神力は、一生の財産となります。

Point 3 自己変革

これまで育ってきた環境や経験が異なるさまざまな仲間と、互いに学び合うことで、新しい価値観を身につけ、中学生の時とは異なる、新しい高校生としての自分に成長していきます。

Point 4 自己実現

進学を目指す生徒が9割、就職を目指す生徒が1割。140年以上の歴史と4万人を超える卒業生を送り出してきた実績とネットワークが、圧倒的なパワーとなってサポートします。

校長メッセージ　「尊く生きる」

本校は建学の精神である仏教精神(浄土真宗のみ教え)に基づく宗教的情操の涵養を教育の根本として「こころ」と「いのち」の教育を進めています。自分のことだけでなく、他の人たちの喜びや悲しみも我がこととして受け止め、共に生き抜くことのできる人を目指しています。

これから社会の一員になっていく皆さんは、国内だけでなく世界中の人と出会っていくことでしょう。そのとき、共に語り合い、課題解決しながら、より良い社会を創造する力が必要となってきます。そのために、本校での「こころ」と「いのち」の学びは大切な基盤となるはずです。

さらに、本校では、文武両道の精神と自己実現に向かう力を高める教育を進めています。皆さんの未来像や目標にあった学びのコースが用意されています。変化し続ける社会が求める資質・能力に応じた学習環境と切磋琢磨し合う場を大切にし、チャレンジしたいステージに向かうためのプログラム、学習環境、指導のノウハウを積み重ねています。夢に向かって、自己実現を目指す皆さんが本校で人として尊く生き抜くことを願っています。

北陸高等学校 校長
朝倉(あさくら)　乗恵(じょうえ)

23

建学の精神

北陸中学校は、仏教精神、特に浄土真宗のみ教えを教育の根本にしています。
本学園は本願寺派（西本願寺）の設立した学校であり、
明治13（1880）年に羽水教校の名のもとに創立されて以来、
約140年の歴史を有することになります。

教育の理念、目標

教育方針

一、み仏の願いを信じ　強く明るく生き抜く心を養う
一、自分の行動に自覚と責任をもち　自主の心を養う
一、互いにうやまい助け合い　感謝の心を養う

学校教育目標

1. 感謝の心をもち　共に成長できる生徒
2. 希望を抱き　自ら学ぶことができる生徒
3. 思いやりの心をもち　社会に貢献できる生徒

近年の取り組み、実績

1. 海外語学研修（中3　2月　2週間）

第1期生の2000年度より実施している海外語学研修は、中学3年生全員が、２週間のホームステイをし、現地の小学生とふれあいながら、異文化を体験し、英語で相手に伝えることを肌で学びます。また、日本文化紹介の準備などの事前学習と帰国後の振り返りを含め、約1年をかけて研修を行います。

2. 国内語学研修（中2　2泊3日）

中学2年生全員が参加し、外国人インストラクターが発声法やプレゼンテーションの基礎を指導します。

3. iPad導入

2019年度より、１、２年生に1人1台のiPadを貸与し、授業中や家庭での学習に利用しています

北陸中学校

HOKURIKU JUNIOR HIGH SCHOOL

https://junior.hokuriku.ed.jp

設立／1880(明治13)年
生徒数／110名(※2023年度実績)
教員数／12名(※2023年度実績)
〒910-0017　福井県福井市文京1丁目8番1号
TEL 0776-24-0321
FAX 0776-63-6685
資料請求・問合せ先
〔TEL 0776-24-0321
または 北陸中学校ホームページより〕

本校の特徴

本校は全校生徒100名弱という少人数の学校で、中高一貫教育を実施しています。これにより、生徒たちは心身ともに変化の激しい時期を安心し信頼できる環境で6年間を過ごすことができます。特に高校入学後は、環境の変化というストレスもなく、気ごころの知れた仲間とともに学習や他の活動に積極的に励むことができます。また、語学研修や中高合同の学園祭など多くの行事や体験学習を行っています。少人数のため、生徒一人ひとりが何らかの役割を担い、協力してものごとに取り組むことで、多くの経験をし、責任感や自立の心が芽生え、成長することができます。さらに高校受験に左右されない環境で、7限授業や、長期休暇での課外授業を実施し、大学入試を見すえた指導をし、中高の6年間で生徒の目標にあった進路を目指しています。

校長メッセージ　「尊く生きる」

本校は建学の精神である仏教精神(浄土真宗のみ教え)に基づく宗教的情操の涵養を教育の根本として「こころ」と「いのち」の教育を進めています。自分のことだけでなく、他の人たちの喜びや悲しみも自分のこととして受け止め、一緒に考え、歩むことのできる人を目指しています。

皆さんを待っている社会はどんどんその姿を変えていくことでしょう。科学が進む一方で国内だけでなく世界中の人と語り合う必要が出てくるはずです。そのとき、共に語り合い、課題解決しながら、より良い社会を創造する力が必要となってきます。そのために、本校での「こころ」と「いのち」の学びは皆さんを支える大切な力となっていることでしょう。

本校は中高一貫を通して、文武両道の精神と自己実現に向かう力を高める教育を進めています。皆さんの未来像や目標にあった学びのコースが用意されています。変化し続ける社会が求める資質・能力に応じた学習環境と切磋琢磨し合う場を大切にし、チャレンジしたいステージに向かうためのプログラム、学習環境、指導のノウハウを積み重ねています。夢に向かって、自己実現を目指す皆さんが本校で人として尊く生き抜くことを願っています。

北陸中学校 校長
朝倉(あさくら) 乗恵(じょうえ)

建学の精神

学校法人聖徳学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。
本学園は、この仏教精神とりわけ大乗仏教の精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が和国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」（和をもって貴しとなす）の聖句をその象徴として掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乗仏教の精神を体得する人格の形成をめざしている。

教育の理念、目標

本学園は、仏教精神を基調として心豊かな人間性と確固たる倫理観を育むことによって人格の完成をめざします。

その上で、高い志と自主性・社会性・創造性を有し、激変する時代への環境適応力に富んだ生きる力によって未来社会を切り拓き、次代を担える学徳兼備で創造的なグローバル人材の育成に努めます。

近年の取り組み、実績

1. 2025年４月から新学部･新教育体制　始動

岐阜聖徳学園大学が新しいスタートを迎えます。人間と文化の多様性を学ぶ「人文学部（2025年4月設置）」を新設、教育学部学校教育課程保育専修を保育初等教育専修（2025年４月名称変更予定）とし、さらなる教育の充実を図ります。全学部から教員を目指せるよう、「教職教育センター」が全面支援していきます。「DX推進センター」を中心に、全学部でデジタル教育を加速させていきます。

2. 教員就職率は国立大学教員養成学部ランキング1位相当（小学校教諭）

1972年の開学時から長い歴史をもつ教育学部は、長年トップクラスの教員就職率を維持しています。2023年３月卒業生の教員就職率は78.7%と、国立大学教員養成学部ランキングの1位に相当します。※国立大学のデータは文部科学省発表より引用

岐阜聖徳学園大学
岐阜聖徳学園大学短期大学部

GIFU SHOTOKU GAKUEN UNIVERSITY

※短期大学部は 2024 年４月募集停止

https://www.shotoku.ac.jp

設立／1972（昭和47）年
設置学部／教育学部・外国語学部 ※1・経済情報学部・看護学部・短期大学部 ※2
※1 2025年4月 人文学部設置に伴い、2024年4月募集停止
※2 2024年4月 募集停止
設置大学院／国際文化研究科、経済情報研究科
学生数／3,034名（※2023年 5月1日現在）
教諭／153名（※2023年5月1日現在） 職員／92名（※2023年5月1日現在）
羽島キャンパス 〒501-6194 岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1番地
TEL 058-279-0804（代表）
岐阜キャンパス 〒500-8288 岐阜県岐阜市中鶉一丁目38番地
TEL 058-278-0711（代表）

〔資料請求・問合せ先
入学広報課 TEL 058-278-0727
E-Mail : nyugaku@shotoku.ac.jp〕

本学の特徴

1972年に聖徳学園岐阜教育大学として開学して以来、50年以上にわたり、教員養成大学として多くの教員を輩出してきました。この歴史に培われた教育者養成のノウハウは、人のやる気を引き出し、人を育てる教育システムとして、本学の確かな基盤となっています。

◎教育学部

教育学部では、文部科学省から「優れた教員養成プログラム」に採択されたクリスタルプランがあり、豊富な教育実践プログラムで、教育者に必要な真の力を身につけます。

◎外国語学部（2025年度から人文学部へ改組）

外国語学部では、費用の大半を大学が支援する1年次対象の「フレッシュ海外研修プログラム」を実施し、国際人に必要な力を身につけます。

◎経済情報学部

経済情報学部では、自治体や地元有力企業を中心に産学官連携協定を締結し、企業が抱える課題に解決策と提案するＰＢＬ型授業や経営者による特別講義など、実践的な学びを展開し、現代ビジネス社会に必要な「スキル」を身につけます。

◎看護学部

看護学部では、教育学部学校教育課程特別支援教育専修の学生とともに学ぶなど、こころに寄り添う豊かな「共感性」を育む看護師を育成しています。

◎短期大学部

短期大学部では、地域社会と連携し、地域に根ざす実践的な学びにより、地域の保育・幼児教育を支える人材を育成しています。
※短期大学部は2024年４月募集停止

学長メッセージ　複雑な社会の「応用問題」を解ける次世代デジタル人材の育成を目指す

現代は、従来のやり方では解決できない、予想がつかない問題（自然災害、コロナ禍、特殊犯罪など）がこれからも次々と出てくるはずです。誤解を恐れずに言うならば、これからの社会は「応用問題だらけ」です。大学で学んだ知識を、そのまま社会で活用するのは難しいでしょう。大学で学んだことも含めてあらゆる知識や経験を組み合わせながら、自分なりの答えを導き出す必要があります。

本学が目指すのは、そんな「応用力を備えた人材の育成」です。そこに近道はありませんが、ひとつ確かなのは、文理問わず「将来を切り拓くうえで、情報通信技術（ICT）の基礎知識は不可欠である」ということです。ChatGPT や生成AI とはどんなもので、何ができるのか。それを知らずに成り立つ職業はありません。「データサイエンス入門」、「データサイエンス基礎」等の授業科目から構成する「数理・データサイエンス・AI教育（リテラシーレベル）プログラム」を通して、「応用問題」を解ける次世代デジタル人材の育成を目指します。

岐阜聖徳学園大学
岐阜聖徳学園大学短期大学部
学長
観山（みやま） 正見（しょうけん）

建学の精神

学校法人聖徳学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。
本学園は、この仏教精神とりわけ大乗仏教の精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が和国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」(和をもって貴しとなす) の聖句をその象徴として掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乗仏教の精神を体得する人格の形成をめざしている。

教育の理念、目標

教育の3つの柱

○自立 … 生涯を通して真理と理想を求め、豊かな発想を持ち、客観的に判断し行動できるような「自立して生きる力」を育てます。

○共生 … 人とつながる中で、生命を大切にし、他の存在を認め、感謝と奉仕の心をもって「共に生きる力」を育てます。

○学び … 一人ひとりの学びや問いがつながり、広がり、深化する学び方を大事にします。

5つの重点目標

1. 学び合う学校
   一人ひとりの学びや問いがつながるとおもしろい。
   時に、教師や仲間と学び合い議論しあって知的好奇心を育てます。
2. 未来を拓く進路実現
   将来の夢を叶えることは、自分らしく生きること。
   一人ひとりの夢実現をきめ細かくサポートします。
3. 三者で学校づくり
   学校づくりは、生徒・保護者・教師が互いにパートナーとなって進めるものと考えています。理想の学校を三者で創り上げていきます。
4. 生きる力が身につく学校
   机上の勉強だけでなく、新しいことにチャレンジする意欲を重視します。
5. 共に生きる空間づくり
   クラスや部活動など、学校生活ならではの空間で、
   自分を磨き、思いやりの心をもつ生徒を育てます。

近年の取り組み、実績

1. ぎふグローバル人材育成推進事業
～総合的な探究の時間の充実～

「総合的な探究の時間」の充実が叫ばれるようになってきています。本校では20年も前から総合の時間を大切にしてきました。「VUCA時代（Volatility：不安定性、Uncertainty：不確実性、Complexity：複雑性、Ambiguity：曖昧性）」と言われる現代を生き抜くために必要な力とはなんでしょうか。判断力、コミュニケーション力、自分の考えを伝える力、などをつけることがこれからを生き抜く力となっていくと考えられます。 これらの力をつける活動として、この地域に実際に存在している課題について理解を深め、地元企業と一緒になって課題の解決を目指す取り組みをしています。

令和5年度、2年普通科1組ではその活動を様々な探究コンテスト等に応募し成果をあげています。

岐阜聖徳学園高等学校

GIFU SHOTOKU GAKUEN HIGH SCHOOL

http://www.shotoku.jp/gsh/

設立／1963(昭和38)年
設置コース／普通科(特進コース・進学コースⅠ類・進学コースⅡ類)
商業科
生徒数／966名(※2023年 5月1日時点)
教員数／93名(※2023年 5月1日時点)
〒500-8288　岐阜県岐阜市中鶉一丁目50番地
TEL 058-271-5451
FAX 058-271-5453
〔資料請求・問合せ先
渉外部　TEL 058-271-5451〕

本校の特徴

1．県下唯一、幼稚園から大学院までを擁する総合学園
●内部推薦枠の設定　●魅力的な経済的支援　●高大連携の学習

2．本願寺派関係学校
●仏教精神に基づいた人間教育　●宗門関係大学への豊富な推薦入試枠

3．ICTを活用した授業改革を実施
●生徒一人ひとりにタブレット端末（iPad）　●校内無線LAN整備　●大型電子黒板を設置
●学習支援ツール「Classi」導入

4．卒業してもずっと変わらない、先生たち！
聖徳で大きく成長した卒業生！

5．希望進路を実現する多彩な学科・コースと学習プログラム
●普通科 ／ 特進コース・進学コースⅠ類・進学コースⅡ類　●商業科

6．多様な部活動～全国大会優勝の部活も～

7．スクールバスを運行登下校は安全・安心・便利
●スクールバス路線は11コース！最寄りのバス停から乗車すれば、学校まで直行。

校長メッセージ　一人ひとりの生徒が「大切にされている」、「必要とされている」と実感できる学校

本校は、「いろいろな生徒がいろいろな分野で活躍できる学校」「生徒が主役となり生徒とともにつくっていく学校」をめざしています。本校には大学進学をめざし、夜遅くまで自習室で黙々と課題に取り組む生徒がいます。部活動で仲間とともに全国大会をめざす生徒がいます。弁論大会で自らの考えを堂々と述べる生徒がいます。やりたいこと、学びたいこと、なりたいものはそれぞれ違うはずです。本校は、そんな生徒のそれぞれの活躍の舞台を提供できる学校でありたいと願っています。そのために、県下に先駆けてICT環境を整備、さらにSDGsに取り組む探究的な学び、グローバル人材育成推進事業など、皆さんが主体的に学べる機会、可能性にチャレンジできる環境を整えてきました。そして、「Each Goal」を合言葉に、一人ひとりの生徒が、夢の実現に向けて取り組める学校づくりに取り組みます。「平等」「寛容」「利他」の建学の精神の下、ありのままの姿をお互いに認め合う。そんな温かい校風の中 で、安心して自らの可能性にチャレンジしてください。

岐阜聖徳学園高等学校 校長
髙木（たかぎ） 俊明（としあき）

建学の精神

学校法人聖徳学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。
本学園は、この仏教精神とりわけ大乗仏教の精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が和国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」(和をもって貴しとなす) の聖句をその象徴として掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乗仏教の精神を体得する人格の形成をめざしている。

教育の理念、目標

教科センター方式の教育

教科センター方式の教育は、変化の激しいこれからの社会を担う子どもたちにとって、生涯にわたって学ぶことが要求される「自ら学ぶ力」を身に付けさせることをねらいとしています。そして、実感を伴う質の高い環境を整えることで、生徒の自主・自立を育て、豊かな心を育むことを目標としています。そして「①21世紀を主体的に生き抜く学力、②附属文化の継承とゆるぎない附属ブランドの構築。③生徒に力をつける授業づくり」の3つのキーワードに、少人数教育を実践しています。

生徒たちは、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」を身に付け、 3年後、 6年後、 10年後の夢実現に向けて力強く歩んでいくものと期待しています。

近年の取り組み、実績

1. 部活動等の実績

●第24回全国中学・高等学校ディベート選手権全国大会　全国ベスト16位
ディベート部　山田　安紋、　林　あかね

2. オンライン教材を活用した身につく英語学習

IT機器を積極的に活用し、生徒個々のペースに合わせて学習することができるオンライン教材を導入しています。文法・語彙の習得に適した「ATRCALL　BRIX」、多読多聴教材の「read to me」を適材適所で利用しています。自宅からもアクセスし、学習を進めることができます。

3. 3年間の英語学習の成果を語学研修で発揮

3年次（5月）には10泊11日の海外語学研修（イギリス）が待っています。一人ずつ一般家庭にホームステイし、現地の学校に通います。今まで学んだ英語を駆使して24時間英語だけの生活を体験。語学力・精神力共に大きく成長することができます。

岐阜聖徳学園大学附属中学校

GIFU SHOTOKU GAKUEN UNIVERSITY JUNIOR HIGH SCHOOL

http://www.shotoku.ac.jp/jh/

設立年／1972(昭和47)年
生徒数／172名(※2023年度実績)
教員数／26名(※2023年度実績)
〒501-6122　岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目１番地
TEL 058-279-0808
FAX 058-279-3281
〔資料請求・問合せ先
広報部　TEL 058-279-0808〕

本校の特徴

Point 1 高校・大学を通じて伸びる進学実績

少人数でありながら、難関高校への進学、東京大学等の難関大学に卒業生を多数輩出しています。

Point 2 英語・ICT教育の充実への積極的な取り組み

英語検定やICTを活用した多聴多読教材、電子黒板の導入など教育環境の充実に努めています。

Point 3 理数科に強い生徒の育成

医学部志望など、生徒の多様な進路希望に対応して、英語教育と数学教育に重点を置き、ティーム・ティーチングを実施しています。

校長メッセージ　世界に1つしかない「人生」という物語の主人公になるために

～ GIFU SHOTOKU PRIDE を糧に～

めまぐるしく変わる社会経済情勢、国際情勢などに目を奪われることが多くなりました。この激動の時代、何が起きるか分からない時代、先が見通せない時代に、生きる若者にとって必要なこと、大切なことは一体何でしょう。お預かりした大切なお子さんのために私たちができることは何でしょう。

その答えは、一言で言えば「生きる力を育むこと」なのでしょう。しかしその中でも「人生を前向きに生きる主体者意識」と「人として誇りある生き方を求め行動する力」が特に大切になるのだと思います。

そしてその礎になるものを私たちは、「GIFU SHOTOKU PRIDE」と呼び、少人数教育の中で一人一人の生徒に身に付くよう、全教職員で全力を挙げて取り組んでいます。それは以下の2つの姿です。

◇この学校の学びと育ちの主人公はまさに一人一人の生徒であり自分であることを自覚し、自分の夢の実現に向かって着実に歩む姿（学校教育目標）

◇かけがえのない自他の命を大切にし、広く豊かなこころで他者に接するとともに、他者の幸福のために貢献しようとする姿（校訓　平等・寛容・利他）

本校を巣立ったお子さんが、10年後20年後、そしてそれ以降も激しい時代の流れに翻弄されることなく世界でただ1つの人生の主人公として力強く生き抜くことを願っています。

岐阜聖徳学園大学
附属中学校 校長
清水（しみず） 昭治（しょうじ）

建学の精神

学校法人聖徳学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。
本学園は、この仏教精神とりわけ大乗仏教の精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が和国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」(和をもって貴しとなす) の聖句をその象徴として掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乗仏教の精神を体得する人格の形成をめざしている。

教育の理念、目標

本校は、1972年に岐阜県内初の私立小学校として開学し、2022年には創立50周年を迎えました。子どもたちは、「たのしい学校」で学びながら、色とりどりの夢・目標を見つけ、成長していきます。そこで、本校では、建学の精神を基調とするとともに「宗門関係学校」「大学教育学部附属校」「私立小学校」としての三つの使命を具現化していくことをねらいとし、また、子どもたちが「自分の力でできた喜び」「新しいことを発見した喜び」「仲間と共につくりあげた喜び」を感じられる「たのしい学校」づくりを大切にし、学校の教育目標を以下のように掲げています。

『優しくて 強く 賢さのふくらむ み仏の子 ～行儀のよい子～』
・やさしい子（自分を見つめ、なかまにやさしくする）
・つよい子（できるまで、あきらめない）
・かしこい子（自分で感じ、考え、見つけていく）

児童一人ひとりと真剣に向き合い、未来ある子どもたちの可能性を伸ばす教育を目指し、時代に即した人間を育む場として、これから先もずっと子どもたちに寄り添い歩み続けます。

近年の取り組み、実績

1. 校外研修

集団生活の中で、思いやりやコミュニケーションを学ぶ2泊3日の宿泊研修。
4年生（国立乗鞍青少年交流の家）、5年生（京都奈良〈古都の文化財をめぐる〉）、6年生（沖縄の自然・文化に触れる修学旅行）

2. 伝統文化体験

1年生「百人一首」、2年生「日本舞踊」、3年生「囲碁」、4年生「茶道」、5年生「邦楽（琴・三味線）」、6年生「礼法」と、さまざまな体験を通して自国の文化のよさに気づく学習を重ねます。

3. 宗教的行事

親鸞聖人のご命日法要（毎月）や花まつり（5月）、成道会（12月）、報恩講（1月）、本願寺参拝5（6）年生などの行事を通して、仏教の教えに親しみます。

4. 国際交流

3年生以上ではインターネットを利用して、ニュージーランド・姉妹校との交流を図ります。自国の文化を、国際社会に生きる「地球市民」として発信します。

岐阜聖徳学園大学附属小学校

GIFU SHOTOKU GAKUEN UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL

http://www.shotoku.ac.jp/el/

設立／1972(昭和47)年
児童数／359名(※2023年度実績)
教員数／26名(※2023年度実績)
〒501-6122　岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1番地
TEL 058-279-0805
FAX 058-279-3291
〔資料請求・問合せ先
TEL 058-279-0805〕

本校の特徴

『学力と豊かな人間性を育む私立学校』(最新の情報技術と旧来の文化にふれる豊富な体験学習・1年生からの英語・コンピュータ学習)

Point 1 興味・探求心を引き出す施設

・80型電子情報ボード、低反射のホワイトボード、単焦点プロジェクターの設置(デジタル教科書を使った授業)
・タブレット型端末を活用した授業
・約1万冊の蔵書があるメディアセンターとしての図書館
・最新のコンピュータを備えたメディア・ラボ

Point 2 1年生からの週3回の英語学習

ネイティブスピーカーとの会話を中心とした授業で「聞くこと・話すこと(やりとり)・話すこと(発表)・書くこと・読むこと」の五つの領域の力をバランスよく伸ばします。

Point 3 1年生から週1回の情報学習(コンピュータ)

ローマ字入力からスタートし、ペイント、文字入力などの基本操作を学び、中学年以降ではプレゼンテーションやプログラミングにも挑戦します。

校長メッセージ　笑顔いっぱい　規律・感動・夢のある楽しい学校

社会の在り方が劇的に変わるかもしれない「Society 5.0 時代」が確かなものになってきました。「答えのない問い」に挑むこれからの時代だからこそ、知識基盤社会を生き抜いていく子どもだからこそ、確かな基礎学力と学びに向かう力が必要です。

本学では、平等(他者への気付き)・寛容(他者への共感)・利他(他者への発信)の建学の精神のもと、「自分を見つめ、仲間に優しくできるやさしい子(徳育)」、「できるまであきらめないつよい子(体)」、「自分で感じ、考え、見つけていくかしこい子(知)」のバランスの取れた子どもの育成を目指し、一人一人の可能性を伸ばしていきます。

七つのふるまい(「ニコッと笑顔」「ありがとう」「うなづいて」「ていねいな言葉」「さりげなく」「困っていたら助ける」「ひたむきにがんばる」)ができる「感じのいい附属っ子」たちの学校生活には、とても素敵な温かい拍手があふれています。子どもたちが幸せな人生を歩めるようにするため、学びに集中できる豊かな教育環境の中で切磋琢磨し、自己実現をめざせるよう、私たち教職員も支え続けていきます。

岐阜聖徳学園大学
附属小学校 校長
石原(いしはら) 学(まなぶ)

建学の精神

学校法人聖徳学園の設立趣旨は、仏教精神を基調とした学校教育を行うところにある。
本学園は、この仏教精神とりわけ大乗仏教の精神を建学の精神とし、浄土真宗の宗祖親鸞聖人が和国の教主と敬慕された聖徳太子の「以和為貴」(和をもって貴しとなす) の聖句をその象徴として掲げ、「平等」「寛容」「利他」の大乗仏教の精神を体得する人格の形成をめざしている。

教育の理念、目標

3歳から周りのことへの興味や関心が広がりはじめ、
それまでの親への全面的依存の生活から、
自立に向けての生活に向かい始めます。
こうした発達段階を踏まえながら、
21世紀を心豊かでたくましく生きぬく力の基礎を
培うことを保育の目標としています。

1. 主体的な学び

自分で課題を見つけ、自分なりに考え、判断し、主体的な行動がとれるような力を育てます。

2. 豊かな心の育成

自分を律しながら友達と協調して生活することの楽しさを知ると共に、他を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育てます。

3. 規範意識の芽ばえ

遊びを中心とした活動の中で、ルールの大切さや自他の健康、安全を考えて生活する力を育てます。

年間行事

園主催の主な行事は、春のこいのぼり見学、夏のプール活動、秋には運動会や園外遠足、年長児対象の金華山登山、冬には一年間の成長の様子を発表する生活発表会やお別れ遠足などがあります。また、年長児は花まつりや降誕会にも参加し、他園との交流も行ったり、隣接する附属小学校との七夕交流会やひな祭り茶会での交流を行ったりしています。自然や動物とのふれ合いも大切にしており、ジャガイモを育てたりサツマイモを育てて収穫後に焼き芋パーティを行ったり、秋には園外からポニーを招いてふれ合い体験をしたりしています。他に、大学の附属として年間を通して学生の実習を受け入れており、大学生と一緒になった活動も行っています。また、保護者会主催の活動の花壇づくり、チューリップの球根植え、交通安全教室など、園を支えていただいている活動も活発で、園児・保護者・職員が協力し合いながら年間の行事や活動を進めています。

岐阜聖徳学園大学附属幼稚園

GIFU SHOTOKU GAKUEN UNIVERSITY KINDERGARTEN

http://www.shotoku.ac.jp/k/

設立／1985(昭和60)年
園児数／105名(※2023年度実績)
教員数／20名(※2023年度実績)
〒501-6122　岐阜県岐阜市柳津町高桑西一丁目1番地
TEL 058-270-0313
FAX 058-270-0314
〔資料請求・問合せ先
TEL 058-270-0313〕

本園の特徴

1. 多様な活動の保障

岐阜聖徳学園大学及び岐阜聖徳学園大学附属中学校並びに岐阜聖徳学園大学附属小学校の施設や設備を活用することで、多様な活動ができます。

2. 学園内の交流

岐阜聖徳学園大学附属中学校及び岐阜聖徳学園大学附属小学校の生徒・児童と園児が一緒に交流する機会や、大学生の教育実習を通して、園児の社会性を広げることができます。

3. 大学との連携

職員の研修や保護者の研修会で、大学講師の指導を受けることができます。また、子育て支援活動では、学生の実習を兼ねて大学と連携を図った活動を進めています。

4. 研究成果の還元

幼児教育等の大学での研究成果を幼稚園の実践に生かすことができます。

5. 大学生の学びの保障

園内行事や預かり保育等で、学生ボランティアの協力を得ることができます。

園長メッセージ　子どもの未来を拓く

本園では教育目標を「子どもの未来を拓く岐阜聖徳学園の幼稚園」とし、「そこに子どもの『あんしんとえがおがある』『どきどき・わくわくがある』『みらいのかぜが吹く』」を合い言葉に、子どもの未来を見据え自らがもつ伸びようとする可能性を信じ、保育者と園児が共に成長していくことを願って日常の実践を進めています。また、子どもの学びは遊びの中にあることを踏まえ、遊びを通して子どもの発想を大切にし創造性を育む園生活を大切にしています。一方、大学附属として附属小・中学校や大学との連携を密にし、施設や講師を活用することにより英語・スイミング・体育活動を課内活動として取り入れ、課外活動でも英語・スイミング・音楽の教室を開設しています。また、子育て支援活動として、働く保護者を支援することを目的とした時間外(朝・夕)及び長期休業中の預かり保育を実施しています。地域の子育て支援活動として「みみちゃんクラブ」では、「親子で遊ぼう(年間12回)」「英語で遊ぼう(年間9回)」の2コースを設定しています。こうした活動を通して、保護者の皆様の願いを大切にし、『この幼稚園でよかった』と子どもや保護者の皆様にとって満足度の高い幼稚園を目指しています。

岐阜聖徳学園大学
附属幼稚園 園長
中川(なかがわ) 浩美(ひろみ)

建学の精神

龍谷大学の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。
浄土真宗の精神とは、生きとし生けるもの全てを、迷いから悟りへ転換させたいという阿弥陀仏の誓願に他なりません。迷いとは、自己中心的な見方によって、真実を知らずに自ら苦しみをつくり出しているあり方です。悟りとは自己中心性を離れ、ありのままのすがたをありのままに見ることのできる真実の安らぎのあり方です。
阿弥陀仏の願いに照らされ、自らの自己中心性が顕わにされることにおいて、初めて自己の思想・観点・価値観等を絶対視する硬直した視点から解放され、広く柔らかな視野を獲得することができるのです。
本学は、阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成します。このことを実現する心として以下5項目にまとめています。これらはみな、建学の精神あってこその心であり、生き方です。

- **すべてのいのちを大切にする「平等」の心**
- **真実を求め真実に生きる「自立」の心**
- **常にわが身をかえりみる「内省」の心**
- **生かされていることへの「感謝」の心**
- **人類の対話と共存を願う「平和」の心**

教育の理念、目標

人間を育成すること

龍谷大学の教育理念は、建学の精神に基づき「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成することにあります。

それを実現するために設置された学部・研究科は、広く社会に貢献できる教養教育・専門教育及びより高度な専門教育・研究を体系的かつ組織的に行うにあたり、各学問分野の独自性を活かしつつ、社会の要請等を踏まえた教育理念・目的を掲げ、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針を一体的に策定しています。

近年の取り組み、実績

1. 長期計画の推進

龍谷大学では1975年から長期的な計画に基づく大学改革に取り組んできました。2020年度からは、本学が創立400周年を迎える2039年度末までの20年間に及ぶ「龍谷大学基本構想400」を推進しています。将来を見据え、計画的かつ継続的に改革に取り組んでいるところです。

2. さらなる教育の充実

建学の精神にもとづき本学の教育目標を実現するために様々な特色ある教育をおこなっています。2020年度先端理工学部設置、2023年度心理学部を設置、2025年度経営学部の商学科（仮称）増設、２学科制へ。同年度社会学部深草キャンパスへ移転、瀬田キャンパスに新学部展開の検討をはじめています。

3. 伝統と最先端の研究

建学の精神の礎となっている「仏教」を中心とする伝統的・歴史的な研究資源を活かした研究、最先端の研究環境のもとで次代の科学技術を創造する研究、また地域社会やグローバル社会とのつながりのもとでの研究など、未来を見据えて、社会から求められる学術文化の振興に取り組んでいます。

4. 地域連携･社会貢献

地域連携･社会貢献活動の一環として、龍谷エクステンションセンター（REC）を中心に産官学連携・地域連携・生涯学習の各事業を推進しています。また、ユヌス ソーシャルビジネス リサーチセンターにおける研究、共同事業を推進するとともに、社会連携推進資金の活用等を通じ、学生に対しアントレプレナーシップを醸成し自主的な活動を支援する取組を行っています。社会課題の解決に向けた仏教SDGsの推進についても全学的に取り組んでいます。

近　畿〈京都府〉大 短

龍谷大学
龍谷大学短期大学部

RYUKOKU UNIVERSITY

https://www.ryukoku.ac.jp/

設立年／1639（寛永16）年
設置学部／文学部、経済学部、経営学部、法学部、政策学部、国際学部、先端理工学部、社会学部、農学部、心理学部、短期大学部
設置大学院／文学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法学研究科、政策学研究科、国際学研究科、先端理工学研究科、社会学研究科、農学研究科、実践真宗学研究科
学生数／22,486名（2023年５月１日現在）
教員数／591名（2023年５月１日現在）
職員数／465名（2023年５月１日現在）
深草キャンパス　〒612-8577　京都府京都市伏見区深草塚本町67　TEL 075-642-1111（大代表）
大宮キャンパス　〒600-8268　京都府京都市下京区七条通大宮東入大工町125-1　TEL 075-343-3311（代表）
瀬田キャンパス　〒520-2194　滋賀県大津市瀬田大江町横谷１-５　TEL 077-543-5111（代表）
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 075-645-7887（入試部ダイヤルイン）〕

本学の特徴

Point 1

歴史のある大学

龍谷大学の歴史は古く、その淵源は1639（寛永16）年にまで遡ります。西本願寺境内に設けられた教育施設「学寮」がその出発点です。龍谷大学は384年の歴史を刻んでおり、日本で一番長く教育・研究活動を行なっている大学です。

Point 2

総合大学としての発展

現在は、10学部1短期大学部10研究科をもち、約２万２千人が学ぶ総合大学です。本学の卒業生で構成される龍谷大学校友会の総数は約21万５千人まで増えています。

また、国際化・グローバル化へ対応すべく42カ国・地域の133大学と学生交換協定を締結しており、2023年度には約500名の学生が留学を経験し、650名の留学生を受け入れました。学生の諸活動も活発に行われており、約200の学生サークルが存在し、個性的な活動を展開しています。

学長メッセージ　龍谷大学からのメッセージ

龍谷大学は人間の本質を見すえ、どのような状況下であっても、「生きるうえで何が大切か」を考えることのできる人間を育成する大学です。龍谷大学の歴史は古く、その淵源は1639（寛永16）年にまで遡ります。龍谷大学での学び。それは人生に深みと広がりをもたらします。いかにこれまで、自分のもっているものさしだけで物事を判断していたか、いかにこれまで、狭い世界に閉じこもって世の中を見ていたか。こうしたことに気づかせてくれるのが龍谷大学です。自分は肝心なことは何も知らなかったと実感するとき、本格的な学びがスタートします。学びが起動することで今まで見えていなかった世界が見えてきます。そして、龍谷大学はとりわけ「他者」に向ける温かなまなざしを重視します。他者を排除する排他的風潮が強まる中、他者のために懸命に努力する「利他」を実践できる人間、そのような人間を育てることが龍谷大学の使命と考えています。つねにわが身を省みて、いま自分にできることは何かを考えることのできる人間、そのような人間こそが現代社会に求められているのです。

龍谷大学
龍谷大学短期大学部 学長
入澤（いりさわ） 崇（たかし）

建学の精神

龍谷大学付属平安高等学校の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。
阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、
「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育てることにあります。
このことを実現するための日常の心得として、「ことばを大切に」・「じかんを大切に」・「いのちを大切に」という
3つの大切を掲げています。これらはみな、建学の精神あってこその心であり、生き方です。

教育の理念、目標

1. 育てたい生徒像

浄土真宗本願寺派の宗門校として、仏教精神に基づく情操教育を根幹とする本校は、建学の精神に基づく「3つの大切」を根底においた教育活動を展開しています。「ことば・じかん・いのち」この3つの大切を糸口として「自らを深く見つめることのできる目を養うこと」「内面から湧きあがるような学びへの意欲を育むこと」「あらゆる存在により支えられている私のいのちの尊厳に気づくこと」ができる人間になることをめざします。

2. 建学の精神に基づくコース別の教育活動を展開

本校では、次のコースからなる教育活動を展開しています。

①難関国公立・私立大学進学を目指す
「特進コース」
②龍谷大学の付属校としての教育連携による
「プログレスコース」
③硬式野球を通じたハイレベルな心・技・体・知を磨く
「アスリートコース」

本校の教員は、日々の授業に全力を傾注し、魅力ある奥行の深い、幅の広い授業を通じて、自ら学び自ら考え生きる力を身につけさせ、自己の将来設計を実現していこうとする生徒を指導します。

近年の取り組み、実績

1. 各コースコンセプトに応じた進路・目標の実現

特進コースでは、難関国公立・私大進学を目標とし、生徒一人ひとりの適性にあった将来を見据えた進路アドバイスのもとに、毎年多くの生徒が第一志望に現役合格しています。

また、プログレスコースでは、龍谷大学との高大連携教育プログラムを実践し、毎年200名以上の生徒が龍谷大学に進学しております。

さらに、アスリートコースでは、硬式野球部が甲子園出場回数（春夏通算）が全国1位、また2018年夏には甲子園春夏通算100勝を達成するなど、着実に実績を伸ばしています。

2. 充実したクラブ活動で、自己を磨き友情を育む

教室では学べない集中力、精神力、社会性を見につける場としてクラブ活動を重視しており、体育系・文化系併せて38のクラブがあります。クラブでの経験を活かし、多くの卒業生が社会で活躍しています。

龍谷大学付属平安高等学校

RYUKOKU UNIVERSITY HEIAN SENIOR HIGH SCHOOL

https://www.heian.ed.jp/index.php

設立／1876(明治9)年
設置コース／特進コース・プログレスコース・アスリートコース
生徒数／1,342名（※2023年5月1日現在）
教員数／68名（※2023年5月1日現在）
〒600-8267　京都府京都市下京区大宮通七条上ル御器屋町30
TEL 075-361-4231(代表)
FAX 075-371-1793
〔資料請求・問合せ先
入試広報部　TEL 075-361-4231〕

本校の特徴

Point 1 難関国公立・私立大学進学「特進コース」

特進コースでは、柔軟な学習プログラムで、生徒一人ひとりの目標とする大学への現役合格に向けてサポートします。予習、授業、復習の反復により学習スタイルを徹底的に身につけ、基礎学力の定着と思考力の育成をはかります。

Point 2 龍谷大学連携「プログレスコース」

プログレスコースは、龍谷大学への進学を目標に幅広い基礎知識の習得をめざし、龍谷大学で何を学ぶかを自らに問いかける3年間を設計し、大学進学後にはスムーズかつ積極的に各学部での“まなび”を探求できる生徒づくりをめざします。

Point 3 硬式野球「アスリートコース」

アスリートコースでは、ハイレベルな「心・技・体・知」を磨き甲子園での活躍をめざします。目標は「全国制覇」、目的は「人間形成」を掲げ、生徒一人ひとりの人間性を高めます。

校長メッセージ　凛として平安

現代社会は、国際化、情報化が加速する一方で、新学習指導要領に記されたところの「予測困難な未来」が現実のものとなり、先行き不透明で変化の激しい、混沌とした時代を向かえています。だからこそ、この時代を生き、未来を託された若者には、今、必要とされる力、自ら逞しく生き抜いていく力を蓄え、将来大きく羽ばたいていってもらわなければなりません。国際社会の一員として地球的課題を探究し、高度情報化などの社会の変化にも、的確にかつ主体的に対応し発信できる力が求められます。「建学の精神」を礎にしながら、新しい教育の実践を推進すべく環境を整え、生徒たちには、授業や行事を中心としたあらゆる場面を通じて、深く幅広い学びによる確かな学力を身に付けてもらいたいと思います。

2026（令和8）年、本校は記念すべき創立150周年を迎えます。今、大きな社会変革、教育改革の中にあって、龍谷大学付属平安高等学校・中学校は、「凛として」揺るぎない精神で人間教育を行い、その成果を力強く発信していけると確信しています。

龍谷大学付属平安高等学校
校長
山脇（やまわき）　護（まもる）

建学の精神

龍谷大学付属平安高等学校の「建学の精神」は「浄土真宗の精神」です。
阿弥陀仏の願いに生かされ、真実の道を歩まれた親鸞聖人の生き方に学び、
「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育てることにあります。
このことを実現するための日常の心得として、「ことばを大切に」・「じかんを大切に」・「いのちを大切に」という
3つの大切を掲げています。これらはみな、建学の精神あってこその心であり、生き方です。

教育の理念、目標

1. 育てたい生徒像

浄土真宗本願寺派の宗門校として、仏教精神に基づく情操教育を根幹とする本校は、建学の精神に基づく「３つの大切」を根底においた教育活動を展開しています。「ことば・じかん・いのち」この３つの大切を糸口として「自らを深く見つめることのできる目を養うこと」「内面から湧きあがるような学びへの意欲を育むこと」「あらゆる存在により支えられている私のいのちの尊厳に気づくこと」ができる人間になることをめざします。

2. 中高一貫継続教育の実践

本校は、龍谷大学付属平安高等学校の「一貫選抜コース」と６年間の教育課程を接続させた中高一貫継続教育を実践しています。

６年間を通して、こころの教育を通じた社会で通用する人間づくりと、生徒の第一志望の進路実現に向けたキャリア・デザインを実践し、生徒が目標とする難関国公立・私立大学の現役合格をめざしています。

3. 宗育の礎のもとに知育･体育を伸ばす

中学校の３年間のなまびでは、「進度先取り学習」（量）と「進度掘り下げ学習」（質）の融合をはかり、基礎学力の定着と大学入試に対応できる応用力を養います。また、仏参や花まつりなどの宗教行事や宗教の授業を通したこころの教育により、受験のためだけではない人間的な成長をめざしています。

近年の取り組み、実績

1. 第一志望校現役合格の進路を実現

高校の「一貫選抜コース」では、難関国公立・私立大学の大学入試に対応できる学力を育成し、一人ひとりに的確な学習計画をアドバイスすることで、第一志望校現役合格の進路を実現しています。

2. クラブ活動を通じて、心身を鍛えます

伝統ある野球部をはじめ、フェンシング部、チアダンス部など全国レベルで優秀な成績をおさめているクラブを含め、23のクラブがあります。クラブ活動は心身を鍛えるだけでなく、人としてのルールやマナーを学ぶ場でもあります。その経験を活かし、多くの卒業生が社会で活躍しています。

龍谷大学付属平安中学校

RYUKOKU UNIVERSITY HEIAN JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.heian.ed.jp/index.php

設立／1876(明治9)年
設置コース／中高一貫コース
生徒数／223名（※2023年5月1日現在）
教員数／21名（※2023年5月1日現在）
〒600–8267　京都府京都市下京区大宮通七条上ル御器屋町30
TEL 075-361-4231(代表)
FAX 075-371-1793
〔資料請求・問合せ先
〔入試広報部　TEL 075-361-4231〕

本校の特徴

Point 1 「たっぷり・ゆっくり・しっかり」の実現

本校のまなびは、週6日制に加えて、放課後を利用した「ドラゴンゼミJr.」（週3回の国語・数学・英語の特別授業）で、「たっぷり」授業時間を確保します。授業展開は、生徒の反応を見ながら「ゆっくり」進み、「進度掘り下げ（質重視）」をはかり、「しっかり」理解するまで完全にサポートすることで、無理のない「進度先取り（量重視）」をおこなうシステムとなっています。

Point 2 生徒と保護者と担任とのコミュニケーションツール「あゆみ」の活用

生徒は帰宅後に、その日の行動や学習の内容、感じたことなどを「あゆみ」に記入します。担任は毎朝これを確認することで生徒の家庭での生活状況も把握してアドバイスを書き込みます。それに基づき、保護者は学校での行動や学習に関する理解を深めた上で、コメントを書き込みます。本校で40年以上にわたり受け継がれている「あゆみ」は、生徒・保護者・担任の三者で生徒の成長を見守っていくツールです。

校長メッセージ　凛として平安

現代社会は、国際化、情報化が加速する一方で、新学習指導要領に記されたところの「予測困難な未来」が現実のものとなり、先行き不透明で変化の激しい、混沌とした時代を向かえています。だからこそ、この時代を生き、未来を託された若者には、今、必要とされる力、自ら逞しく生き抜いていく力を蓄え、将来大きく羽ばたいていってもらわなければなりません。国際社会の一員として地球的課題を探究し、高度情報化などの社会の変化にも、的確にかつ主体的に対応し発信できる力が求められます。「建学の精神」を礎にしながら、新しい教育の実践を推進すべく環境を整え、生徒たちには、授業や行事を中心としたあらゆる場面を通じて、深く幅広い学びによる確かな学力を身に付けてもらいたいと思います。

2026（令和8）年、本校は記念すべき創立150周年を迎えます。今、大きな社会変革、教育改革の中にあって、龍谷大学付属平安高等学校・中学校は、「凛として」揺るぎない精神で人間教育を行い、その成果を力強く発信していけると確信しています。

龍谷大学付属平安中学校
校長
山脇（やまわき）　護（まもる）

建学の精神・教育の理念

京都女子学園は「親鸞聖人の体せられた仏教精神にもとづく人間教育」を建学の精神としています。
この学園のもとにある京都女子大学もまた、この建学の精神にもとづき、知性と情操を高め、人間としての自覚を深めるとともに、すべてのいのちを平等に愛する豊かな心を培うことによって、真の人間を育成することを教育の理念としています。

教育の目標

1. 体系的かつ実証的に学ぶ

今なお日本の文化の中心であり、国際都市でもある京都の地にあって、体系的かつ実証的な学びを提供します。専門的知識を深めるとともに、幅広い教養と汎用的技能、グローバルな視点を身につけられるようにします。

2. 自ら課題を発見･解決する力を養う

身につけた知識・理解・技能をもとに、主体的に認知する力、他者との相互理解に努める力、自ら課題を発見し解決できる力を養えるようにします。

3. 自立的学習能力と正しい宗教理解を体得する

卒業後も学び続けられる、自立的な学習能力を身につけ、さらには、仏教精神を学ぶことをとおして、宗教に対する正しい理解と正しい批判力とを身につけ、生涯を通じて、生きることの意味を問い続けられるようにします。

4. リーダーシップを身につける

他者と協働しつつ、適切なリーダーシップを発揮して組織・集団を先導し、高い倫理観と責任感とをもって社会に貢献できるようにします。

近年の取り組み、実績

1. キャンパス整備計画の推進

新しい時代の教育に対応するため東山キャンパス整備計画を策定し、現在新校舎を建築中です。そのほかにもさまざまな計画があり、総事業費400億円にも及ぶ大事業を推進しています。

2. 学部の改革

2023年４月にデータサイエンス学部を新設。また、2024年４月には既存の発達教育学部を改組し、発達教育学部教育学科と新たに開設する心理共生学部心理共生学科の2学部2学科に。時代の変化に合わせ、組織の改革を推進しています。

3. SDGsへの貢献

建学の精神における人間教育のもと、多様性を尊重し、ジェンダー分野はもちろん、教育・研究・事業推進のあらゆる分野において、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

4. ジェンダー研究と教育の拠点の設置

社会の変革を担う女性人材の養成を視野に入れ、研究の遂行と教育方法の開発・実施を目的として「ジェンダー教育研究所」を開所。ここを拠点にアジア女性の地位向上も支援します。

京都女子大学

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

http://www.kyoto-wu.ac.jp/index.html

設立年／1920(大正９)年
設置学部／文学部、発達教育学部、心理共生学部、家政学部、現代社会学部、法学部、
　　データサイエンス学部
設置大学院／文学研究科、発達教育学研究科、家政学研究科、現代社会研究科、法学研究科
学生数／5,786名（※2023年5月1日現在）
教員数／192名（※2023年5月1日現在）
職員数／211名（※2023年5月1日現在）
京都女子大学キャンパス
〒605-8501　京都府京都市東山区今熊野北日吉町35番地
TEL 075-531-7030
FAX 075-531-7077
〔資料請求・問合せ先
〔入試広報課　TEL 075-531-7054〕

本学の特徴

Point 1 ジェンダー平等の実現に貢献する女性の育成を目指します

人口減少の日本では、イノベーションを推進するスキルと知識、そしてチャレンジ精神をもった人材が今求められています。男性の視点から自由な環境の中で、伸びやかに学ぶ心地よさはあなたの能力を最大限に伸ばし育てるでしょう。京都女子大学は、皆さんに期待し、成長の機会を提供し、日本社会の変革の担い手となるようしっかりと鍛えます。

Point 2 伝統と革新を両輪とする教育の実施

建学の精神を踏まえ仏教学（８単位）を必修とするとともに、ジェンダー・スタディーズ副専攻を設置するなど、伝統と革新を両輪とする教育を展開しています。

Point 3 多様な分野で活躍するためのキャリア支援

進路・就職課、キャリア開発センター、教職支援センターなどがきめ細かいキャリア支援で、それぞれの学生が将来活躍するためのサポートを行っています。その結果として毎年90%を超える高い就職決定率となっています。企業への就職だけでなく、教職、保育、公務員への就職に強みがあるのも本学の特色であり、管理職として活躍中の卒業生も多くいます。また、多くの府県と就職協定を締結し、U・I・Jターン就職支援も年間を通して行っています。

学長メッセージ　京女Spiritsを受け継ぐ

京都女子大学の前身である京都女子高等専門学校は、仏教の平等思想に根差して「男女平等」社会の実現を願い、女子大学設立に向けて行動した甲斐和里子、大谷籌子、九條武子の熱情と努力が基盤となって設立されました。2020年創基100年を期して、第2次グランドビジョンにジェンダー平等の実現に貢献できる女性の養成を掲げました。大谷籌子ら3人の女性たちが男女平等社会の実現を目指してから100年余りが経過したにもかかわらず、日本のジェンダー・ギャップ指数は世界146ヶ国中118位（2024年）と男女平等社会からほど遠いのが現状です。これは先進諸国や東アジアの中でも最下位です。

100年以上前、頑強な男性社会の中にあって男女平等の実現を目指し行動した大谷籌子たちの勇気を私たちは受け継いでいます。彼女たちの信念と現実にチャレンジする精神、すなわち京女Spiritsを学生の皆さんに継承していただきたいと願っています。京都女子大学は、学生の皆さんの成長に期待し、成長する機会を提供し、鍛えます。皆さんが日本社会のジェンダー平等推進の担い手となる日を心待ちにしています。

京都女子大学 学長
竹安 栄子

建学の精神・教育の理念

京本校は明治32（1899）年、甲斐和里子が「女性の地位向上のために、女性も教育を受けて知識を身につけ、教養を高めることが大切である」という精神で創始されました。
明治43（1910）年、大谷籌子裏方が「わが国の文化の向上には、婦人の教養を高める必要がある。そのためには、女子に仏教精神に基づく高い教養を受けさせよう」という願いと九条武子の尽力によって創立されました。
建学の精神を基調とした具体的な理念は、1. 自立（自己へのめざめ）、2. 共生（他者へのめざめ）、3. 感謝（社会へのめざめ）で表しています。

教育の目標

女性の社会進出を願った学園創始者の思いは、現在も息づいています。伝統を受け継ぎながら、未来に向かって常に先進的な教育に取り組む精神により、グローバル社会でリーダーシップを発揮して活躍する「優れた知性と豊かな心を兼ね備えた女性」の育成を目指しています。また、自主的精神にみちた心身ともに健康な人間の育成を期するとともに、宗教的情操教育を通して、豊かな心と高い教養を備えた人間形成を目指しています。
具体的目標として、

1. 豊かな心と高い教養を身につけ、さまざまな課題に意欲的に取り組み、みずから解決できる自立した生徒を育成する（自立）
2. 基本的生活習慣を身につけ、自主活動に積極的に参加するとともに、自他のいのちを尊重し、他者と協働できる生徒を育成する（共生）
3. 一人ひとりの進路に適した学力を身につけるとともに、女性としての自己の進路を切り拓き、社会に貢献できる生徒を育成する（感謝）

を掲げています。

近年の取り組み、実績

1. 将来を見据えた5つの学びのコースを設置

普通科Ⅲ類型：
京都女子中学からの進学者で構成。難関国公立大学・国公立大学医歯薬系学部を目指すコース。
普通科CSコース：
広く学問に興味を持ち、社会の課題に挑戦できる女性を育成。難関国公立大学・医歯薬学部を目指すコース。
普通科Ⅱ類型：
自分の将来を意識しながら学び社会に出て、リーダーとなる女性を育成。国公立大学・難関私立大学を目指すコース。
普通科Ⅰ類型：
自主的に学ぶ意欲と幅広い視野を持つ女性を育成。京都女子大学・難関私立大学を目指すコース。
専門学科　ウィステリア科：
高大一貫教育で国際感覚と人間性の磨かれた女性を育成。京都女子大学への進学を前提とした高大一貫コース。

2. 新しい校舎の建築

2025年4月に新しい校舎が竣工します。その後、順次新しい校舎を建築し2027年にすべての校舎が建て替わり、2028年には新しいグラウンドも整備され、現在のキャンパス全体が生まれ変わります。

京都女子高等学校

KYOTO GIRLS' SENIOR HIGH SCHOOL

http://kgs.ed.jp/

設立年／1948(昭和23)年
設置コース／普通科(Ⅲ類型・CSコース・Ⅱ類型・Ⅰ類型)、ウィステリア科
生徒数／1,037名（※2023年5月1日現在）
教員数／55名（※2023年5月1日現在）
〒605-8501　京都府京都市東山区今熊野北日吉町17番地
TEL 075-531-7358
FAX 075-531-7377
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 075-531-7334〕

本校の特徴

仏教精神に基づいた“人”を育てる女子教育

本校では、「自主的精神と感謝の心を持ち、高い志と教養を身につけた、社会に貢献できる女性の育成」という教育方針をもとに、自立した心豊かな女性を育成しています。この方針を実現するため、国際社会で貢献できる高い学力と教養が身につけられる特色あるカリキュラムや「コース・類型制度」を整えています。女子だけという環境の中、学校行事や自主活動を通して、リーダーシップやコミュニケーション能力などの「生きる力」を育んでいます。また、キャリア教育においても、多様化する現代の女性のライフスタイルを見据えたプログラムを取り入れるなど、女子校ならではの教育を行っています。さらに、宗教の授業や多様な宗教行事を通して、やがて一人の社会人として、女性として心豊かに生きてゆく糧となるようあらゆる機会をとらえて、宗教的情操にふれるようにつとめています。

校長メッセージ　建学の精神を基調とした心豊かな女子教育を目指して

今日、グローバル化の進展は多様性をもたらし、急速に発展している情報化や技術革新、さらに新型コロナ禍は、社会のあらゆる領域で加速度的に変化させ、未来を予測することが困難な時代に直面しています。そのような激変する時代に対応するために、新学習指導要領では、「どのように学び、どのような資質能力を身に付けられるか」を教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働により、「開かれた教育課程」の実現を図っていくことを目指しています。

本校は、その意向を踏まえ、建学の精神を基調とした3つの教育理念、自立・共生・感謝を指針としてすべての教育活動を行っています。女性の地位向上を目指し、豊かな人間性と創造性を育み、明るい未来を切り拓く教育を推進しています。大いなる力によって「生かされて生きている」といういのちの尊厳と平等にめざめ、感謝の思いで共に協働して世界の誰もが平和に暮らすことができる社会の実現（Society5.0 for SDGs）に貢献できる心豊かな「人間力」を持った人財を育成するためにさらに学校改革を推し進めています。

京都女子高等学校 校長
林（はやし） 信康（のぶやす）

建学の精神・教育の理念

京本校は明治32（1899）年、甲斐和里子が「女性の地位向上のために、女性も教育を受けて知識を身につけ、教養を高めることが大切である」という精神で創始されました。
明治43（1910）年、大谷籌子裏方が「わが国の文化の向上には、婦人の教養を高める必要がある。そのためには、女子に仏教精神に基づく高い教養を受けさせよう」という願いと九条武子の尽力によって創立されました。
建学の精神を基調とした具体的な理念は、1. 自立（自己へのめざめ）、2. 共生（他者へのめざめ）、3. 感謝（社会へのめざめ）で表しています。

教育の目標

女性の社会進出を願った学園創始者の思いは、現在も息づいています。伝統を受け継ぎながら、未来に向かって常に先進的な教育に取り組む精神により、グローバル社会でリーダーシップを発揮して活躍する「優れた知性と豊かな心を兼ね備えた女性」の育成を目指しています。また、自主的精神にみちた心身ともに健康な人間の育成を期するとともに、宗教的情操教育を通して、豊かな心と高い教養を備えた人間形成を目指しています。
具体的目標として、

1. 豊かな心と高い教養を身につけ、さまざまな課題に意欲的に取り組み、みずから解決できる自立した生徒を育成する（自立）
2. 基本的生活習慣を身につけ、自主活動に積極的に参加するとともに、自他のいのちを尊重し、他者と協働できる生徒を育成する（共生）
3. 一人ひとりの進路に適した学力を身につけるとともに、女性としての自己の進路を切り拓き、社会に貢献できる生徒を育成する（感謝）

を掲げています。

近年の取り組み、実績

1. 新コース制の設置

2022年（令和4年）より新しい3つのコース制がスタートしました。京都女子高等学校での学びにつながる中高一貫教育内容となります。

顕道コース：
国公立大学の医療系を目指すコース（中学2年生より）
東雲コース：
高い志を持って難関国公立大学を目指すコース
藤華コース：
難関国公私立大学から京都女子大学まで幅広い可能性が広がるコース

2. 新しい校舎の建築

2025年4月に新しい校舎が竣工します。その後、順次新しい校舎を建築し2027年にすべての校舎が建て替わり、2028年には新しいグラウンドも整備され、現在のキャンパス全体が生まれ変わります。

京都女子中学校

KYOTO GIRLS' JUNIOR HIGH SCHOOL

http://kgs.ed.jp/

設立年／1947(昭和22)年
設置コース／顕道コース・東雲コース・藤華コース
生徒数／651名（※2023年5月1日現在）
教員数／35名（※2023年5月1日現在）
〒605-8501　京都府京都市東山区今熊野北日吉町17番地
TEL 075-531-7358
FAX 075-531-7377
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 075-531-7334〕

本校の特徴

仏教精神に基づいた“人”を育てる女子教育

本校では、「自主的精神と感謝の心を持ち、高い志と教養を身につけた、社会に貢献できる女性の育成」という教育方針をもとに、自立した心豊かな女性を育成しています。この方針を実現するため、国際社会で貢献できる高い学力と教養が身につけられる特色あるカリキュラムや「コース・類型制度」を整えています。女子だけという環境の中、学校行事や自主活動を通して、リーダーシップやコミュニケーション能力などの「生きる力」を育んでいます。また、キャリア教育においても、多様化する現代の女性のライフスタイルを見据えたプログラムを取り入れるなど、女子校ならではの教育を行っています。さらに、宗教の授業や多様な宗教行事を通して、やがて一人の社会人として、女性として心豊かに生きてゆく糧となるようあらゆる機会をとらえて、宗教的情操にふれるようにつとめています。

校長メッセージ　建学の精神を基調とした心豊かな女子教育を目指して

今日、グローバル化の進展は多様性をもたらし、急速に発展している情報化や技術革新、さらに新型コロナ禍は、社会のあらゆる領域で加速度的に変化させ、未来を予測することが困難な時代に直面しています。そのような激変する時代に対応するために、新学習指導要領では、「どのように学び、どのような資質能力を身に付けられるか」を教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働により、「開かれた教育課程」の実現を図っていくことを目指しています。

本校は、その意向を踏まえ、建学の精神を基調とした3つの教育理念、自立・共生・感謝を指針としてすべての教育活動を行っています。女性の地位向上を目指し、豊かな人間性と創造性を育み、明るい未来を切り拓く教育を推進しています。大いなる力によって「生かされて生きている」といういのちの尊厳と平等にめざめ、感謝の思いで共に協働して世界の誰もが平和に暮らすことができる社会の実現（Society5.0 for SDGs）に貢献できる心豊かな「人間力」を持った人財を育成するためにさらに学校改革を推し進めています。

京都女子中学校 校長
林（はやし） 信康（のぶやす）

建学の精神

本校は、親鸞聖人の顕らかにされた仏教精神を建学の精神とし、生きとし生けるもののいのちの尊厳、生かされて生きているということに感謝の念をもつ「こころの教育」を大切に日々の教育活動を推進してきています。

教育の理念、目標

子どもたちは全てのエネルギーを未来に向けて放っています。「好奇心と意欲に溢れている学びの力を育て伸ばすことを大事にした学校にする」ということが本校の教育方針です。

特に、豊かなこころと確かな学力の育成、さらに、将来に生きて働く力として「国語力³は人間力」と捉え国語力の育成に重点を置いています。国語力は算数、理科などの全ての教科の基礎となるだけでなく、人間関係を豊かにし人生に潤いをもたらすものです。教育に不易と流行があるとすれば、国語力は不易の部分であり、当然、日々の授業の充実が国語力育成の原点と捉えています。

教育目標は、「国語力³は人間力」を合言葉に、「いのち」「こころ」「ことば」を大切にする子どもの育成、としています。

年間行事

本校では、小学校学習指導要領･特別活動に例示されている各行事に加え､「学習項目の行事」「児童会活動の行事」及び「こころの行事」を一年を通じて位置づけ、豊かで確かな学力を育てることを期しています。

例えば、毎月の「附小言語力検定」や年間５回の「附小ノート検定」等の「学習項目の行事」は国語力（基礎学力:「知ることを学ぶ」「なすことを学ぶ」）、縦割グループで取り組む「ふじのこ集会」（７月）・「風の子集会」（２月）や「１年生を迎える会」（４月）等の「児童会活動の行事」は人間力（人間関係構築能力:「他の人と生きることを学ぶ」）、「花まつり」（５月）「宗教体験学習」（３年生11月）や「報恩講」（12月）及び毎月の「仏参」は人間力（規範意識:「人として生きることを学ぶ」）を育てる場として捉え、その充実を図ってきています。

京都女子大学附属小学校

The Elementary School Attached to Kyoto Women's University

https://kyojo-fusho.ed.jp

設立年／1957(昭和32)年
児童数／435名（※2023年5月1日現在）
教員数／30名（※2023年5月1日現在）
〒605-8501　京都府京都市東山区今熊野北日吉町６番地３
TEL 075-531-7386(職員室)
FAX 075-531-7381(事務室)
〔資料請求・問合せ先
TEL 075-531-7387(事務室)
TEL 075-531-7386(職員室)〕

本校の特徴

教育目標を具現化する教育課程の構造化

本校では、１～３年生を小学校前期、４～６年生を小学校後期と位置づけ、各学年の特性を活かした指導をしています。前期では、小学校６年間に活かし続ける価値観・規範意識を身につける指導を行っています。後期では、将来への憧れや希望を導き、活動範囲をひろげるとともに、リーダーシップやフォロワーシップを身につける指導を行っています。

高学年では、１クラス26～27名で少人数の３クラスになります。ほぼ全ての児童が中学校受験を希望しているため、進路目的に応じたきめ細やかな指導をしています。

また全学年で、クラス全員がタブレットPCを使って情報や考えを共有するなど、新しい学びを取り入れたICT教育の充実を図っています。

校長メッセージ　伝統をふまえ、さらなる高みをめざします

京都女子大学附属小学校は、1957（昭和32）年に創立され、親鸞聖人が顕らかにされた仏教精神に基づき「こころの教育」を実践し、子どもたちを育ててまいりました。本校の子どもたちには「ちかい」があります。そこには「すなおにみ教えをききます」「かならず約束をまもります」「いつも本当のことをいいます」「にこにこ仕事をいたします」「やさしい心を忘れません」と記されています。いずれも「わたしごと」と考え、身近な人の気持ちに寄り添うことのできる心を育むものです。

これまで本校では長きにわたり「国語力は人間力」を合言葉にしてきました。これからは、この合言葉によって築き上げられてきた成果と伝統をふまえ、様々な「国語力」を掛け合わせることでさらに高みをめざしていく「国語力³は人間力」を新たな合言葉とします。ビジョンと改革のゴールを共有することで教育の質の向上をはかり、児童・保護者・教職員の自己肯定感を高めていきたいと考えています。

京都女子大学附属小学校
校長
坂口（さかぐち） 満宏（みつひろ）

建学の精神

京都女子学園の歴史は、その前身の時代を含めると、今から120年前に遡ります。広島県出身の若き仏教徒である甲斐和里子先生は、「多くの少女たちのために、仏教主義の学校を」との願いのもとに、明治32年、京都の一隅に小さな学校を設立されました。それ以来、「親鸞聖人の体せられた仏教」は、京都女子学園の教育理念、すなわち人格完成の基盤として、大切に継承されて今日に至っています。

教育の理念、目標

「とらわれ」の心

私たち人間は、皆自己中心の「とらわれ」の心をもっております。

人間は誰しも、自己の力で自分が存在すると思い、自分のいのちがあると信じておりますが、親鸞聖人は「自然法爾（じねんほうに）」の理（ことわり）の中で、私たち生きとし生けるものすべては、我にあらざる不可思議〈我とは称し得ないもののはたらき〉によって、与えられたいのちであること、そのいのちの上に、かけがえのないこの体も、与えられたものであることをお示し下さっております。

このめざめに立って、私のいのちが尊くかけがえのないものであるならば、一切衆生〈生きとし生けるもの〉のいのちも尊くかけがえのないものであること。私の人生が尊くかけがえのないものであるならば、他の人の人生も尊くかけがえのないものであることに思いをいたし、互に人格を尊重しあい、和合の世界を形成しようという心を養うのが、京都幼稚園における幼児教育に対する基本的理念であります。

年間行事

4月 ●入園式 ●入園児本願寺参拝 ●花まつり ●対面式 ●個人懇談会

5月 ●親鸞聖人降誕会 ●定期健康診断 ●こどもの日 ●母の日

6月 ●避難訓練 ●遠足 ●家族デー

7月 ●一泊保育 ●七夕まつり ●個人懇談会

9月 ●敬老参観 ●運動会 ●遠足

10月 ●追慕会 ●遠足 ●お芋ほり ●お芋クッキング

11月 ●学園報恩講 ●作品展 ●おにぎりパーティー

12月 ●成道会 ●心の学園記念式典 ●個人懇談会

1月 ●修正会 ●おもちつき

2月 ●涅槃会 ●リズム参観 ●節分

3月 ●卒園児本願寺参拝 ●ひなまつり ●お別れ会 ●卒園式

京都幼稚園

KYOTO KINDERGARTEN

http://kyoto-kindergarten.ed.jp/

設立年／1917（大正６）年
園児数／73名（※2023年5月1日現在）
教員数／12名（※2023年5月1日現在）
〒605-8501　京都府京都市東山区今熊野日吉町16番地の12
TEL 075-531-7390
FAX 075-531-7392
〔資料請求・問合せ先
TEL 075-531-7390〕

本園の特徴

『幼稚園教育要領』には、幼児教育は豊かな環境の中で、幼児の自発的遊びを通しての指導が大切であることが掲げられております。

京都幼稚園はこの基本的趣旨にそって、幼児の健康・人間関係・意思伝達のための言語や表現等々が、幼児期の発達段階において無理なくめざめが得られるよう、満３歳・年少・年中・年長それぞれカリキュラムを編成し、心身の調和的発達に資するよう心がけており、本園におきましては、所謂、早期教育は実施しておりません。

今日、心の教育の欠如が指摘され、文部科学省は「幼児期からの心の教育」の必要性を指摘しております。しかし、幼児に対し、心の問題は言葉で話したから育つものではありませんので、本園では日々始業時の礼拝や仏教讃歌の歌誦を通じ、自然のうちに帰依合掌の心を養い、通常の保育はもとより、社会見学・運動会・リズム発表等々、園内外のさまざまな行事の中で、自律する心や他と協調する心の大切さを育てるよう心がけております。

園長メッセージ　“仏さまの眼差し”のなかのこどもたち

親の庇護を離れて、初めて経験する社会生活が幼稚園です。幼い子どもたちが、次第に幼稚園の生活にもなれ、やがてみ仏さまに手を合わせることができるようになる様子を間近に見ていると、教育の持つ大きな力を感じます。

京都幼稚園では、日々の保育における始業時のお仏参（礼拝）をはじめ、様々な年間行事を通して、み仏さまに手を合わせ、みんな仏の子であることを知り、すべてのものがみ仏さまのおかげを受けていることに気付いて、いのちや物を大切にする気持ちを養うとともに、相手の立場に立つことや、仲良く助け合うことの大切さを知って、困っている人に親切にし、よろこんで助け合い、お手伝いすることが出来る子どもを育てることをめざしています。

“仏さまの眼差し”に、いつでもどこでも見守られ、照らされ、抱かれ、護られていることを感じ取ることができるようになった子どもたちは、やがて“仏さまの眼差し”で他者を見ていくことの出来る人間として、成長していくことと確信しています。

京都幼稚園 園長
芝原（しばはら） 玄記（げんき）

建学の精神

建学の精神であり、大学名「相愛」の由来となる「當相敬愛（とうそうきょうあい）」は、浄土三部経の『仏説無量寿経』に示されている「當相敬愛、無相憎嫉（當に相い敬愛して、憎嫉する事なかるべし）」という節の一語であり、「自らを慈しむように他者をも相敬うべし」ともその言葉を理解することができます。相愛大学ではこの「當相敬愛」を建学の精神として、教育・研究・社会貢献活動を展開し、「こころ」「おこない」「ことば」の三業を調えて地域・社会とともに人生を生き抜くこと（共生と自利利他）を根本としています。

教育の理念、目標

1. 音楽学部

高度な音楽的技術の修得にとどまらず、宗教的情操を備え、感性豊かで優れた音楽家、音楽教育者、音楽研究者などの専門家を養成する。同時に、音楽を愛好する音楽文化人として文化の諸現象が社会に寄与する意義を感得し、音楽文化と産業の振興に貢献できる人材を育成する。

2. 人文学部

人文科学の分野において、総合的・学際的な教育研究を行い、現代社会に生じる諸問題を多面的に捉え、思想・宗教的な素養をも生かして、自ら問題に立ち向かう主体性を持った人材を育成する。

3. 人間発達学部

生涯における心身の健全な発達を支援するための学術的研究と教育を行う。さらに、當相敬愛という建学の精神のもとに、これらの成果を生かし、多様な社会支援能力をもつ人材を育成し、社会への貢献を行う。

近年の取り組み、実績

本学における教育・研究・地域貢献等諸活動の改善の方向性を示した「相愛大学将来構想」を策定し、大学改革に関する諸事項を教職員の間で共有し、全学一丸となって実現に向けた取組みを実施しています。現在は、高等教育の根幹に係る中央教育審議会等の提言とこれらに対する教育政策の新たな展開に対応すべく、教育・学生支援、研究、地域連携・社会貢献、国際化、管理・運営、学生募集・広報、内部質保証の7項目からなる「相愛大学第2次将来構想」を策定しており、そこに掲げられた各事項の実現に向けて、一層の改革・改善活動を推し進めています。

2018年4月には、明治末期以降本学の音楽教育における一貫した理念を継承しつつ、音楽を幅広く総合的に捉えるための深い学識を授けることを教育上の理念として、大学院音楽研究科を設置しました。

相愛大学

SOAI UNIVERSITY

https://www.soai.ac.jp

設立年／1958(昭和33)年
設置学部／音楽学部、人文学部、人間発達学部
設置大学院／音楽研究科(修士課程)
設置専攻科／音楽専攻科
附属機関／相愛大学附属音楽教室
学生数／1,117名（※2023年5月1日現在）
教員数／388名（※2023年5月1日現在　非常勤講師含む）
職員数／107名（※2023年5月1日現在　非常勤含む）
南港キャンパス　〒559-0033　大阪府大阪市住之江区南港中4丁目4-1　TEL 06-6612-5900(代表)
本町キャンパス　〒541-0053　大阪府大阪市中央区本町4丁目1-23　TEL 06-6262-0621(代表)
〔資料請求・問合せ先
入試課　TEL 06-6612-5905〕

本学の特徴

さまざまな人とふれあうことが、将来に必要な「生きた学び」となる

「相愛大学第2次将来構想」でも、本学が力を入れていることの一つとして「地域連携・社会貢献」をあげています。地域とのつながりを密にして、大学が持つ資源を地域と分かち合うために、近隣の方々を招くイベントや講座など、数々の取組みを実施し、その多くには学生が参加しています。キャンパスの外でさまざまな人とのふれあいを経験することで、教室の中だけでは得られない“生きた学び”を積み重ねています。専門技術や知識を磨くだけでなく、それが相手にどのような印象や影響を与えるかを常に意識しているように感じられます。

◯音楽学部生であれば、自分の演奏が観客にどう響くか、
◯人文学部生であれば、自分の研究内容が地域や社会にどう役立つか、
◯人間発達学部生であれば、教育や栄養の知識が子どもや企業にどう伝わるか、

相手を敬い、相手の立場に立った上で専門技術や知識を活かす姿勢が身につくこと。それが本学の大きな強みといえるでしょう。

学長メッセージ　歴史によって熟成されてきた温かく穏やかな学風

相愛大学 学長
釈（しゃく） 徹宗（てっしゅう）

相愛大学は、浄土真宗本願寺派津村別院（大阪市中央区本町）の境内地に創立された相愛女学校を淵源としています。140年近い歴史をもつ学校です。

本学の建学の精神は、『仏説無量寿経』に説かれている「當相敬愛」です。「相愛」の名称もここに由来します。この言葉は、「私もあなたも如来の一子です。互いに敬愛することや、憎しみ合わないことを、大切にしていきましょう」という教えです。相愛学園の存在意義は、まさにこの教えに基づいた教育を実践するところにあります。

現在は、音楽学部（音楽学科）、人文学部（人文学科）、人間発達学部（子ども教育学科・管理栄養学科）の3学部4学科に、音楽専攻科、大学院音楽研究科が開設されています。主たるキャンパスは南港学舎（大阪市住之江区南港中）です。各学科はいくつかの専攻やコースに分かれており、伝統的なコースあり、個性的なコースありという設定が魅力となっています。ぜひホームページなどでご覧ください。

本学は大規模大学に比べて、細やかな指導や目配りなどが特徴です。キャンパスに身をおいてもらうと、歴史によって熟成されてきた温かく穏やかな学風を感じていただけることでしょう。

建学の精神

建学の精神であり、「相愛」の校名にも由来する「當相敬愛」は、「自他ともに仏の子どもである。まさに相敬愛すべし」という仏説無量寿経（ぶっせつむりょうじゅきょう）の一節であります。
その意味は、私達は深い因縁によってこの世に生まれ、み仏に見守られ、多くの人や物のおかげで生かされている。
そんな我が身を感謝するとともに、自らを敬愛し、他を敬愛し、真実を求め強く美しく生きようと努めることです。

教育の理念、目標

敬愛する心と品格を育む、それが相愛の伝統です

相愛中学校・高等学校は、西本願寺第21代明如上人により、1888年（明治21年）に設立された相愛女学校に起源を持ち、一世紀以上、大阪の女子教育の一翼を担ってまいりました。時代の変化とともに学校の様子は変わってきましたが、変わらないのは本学の建学の精神である「當相敬愛」が謳うところを教育の基盤に据え、生徒たちが持つ人間力を十分に磨く教育実践を脈々と行ってきたことです。

新たな出発点として、生徒たちが授業や探究学習活動を通し、未来社会に求められるキャリア形成において、「自他ともに」を実践できる相愛らしさが評価され、自身の糧として人生を生き抜く潜在的スキル、資質能力を育成することに努力したいと考えています。

自分のなかにある夢を社会貢献へと結びつけて実現していく確かな能力を身につけたいと思っている生徒の皆さんが、相愛学園で学ばれることを期待しています。共に輝く未来社会を求めて歩みましょう。

近年の取り組み、実績

世界共通の目標「SDGs」をスタート

2015年国連サミットにおいて掲げられた「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を推進する国連グローバル・コンパクト（UNGC）に参加致しました。130年という長きにわたり、大阪の御堂筋という世界に誇るビジネスの中心地で「北御堂さんの学校」として親しまれてきた本校の特色ある教育に、SDGsをコンセプトとした学びが加わります。

中学1年生から高校3年生まで系統立てられた探究プログラムに基づき、グループ学習や体験学習、プレゼンテーション、さらには龍谷大学を中心としたSDGs参加大学の教授や大学生からのサポートも受けながらのアクティブラーニングによって、人生の原動力として強く明るく生き抜く人間力を育てます。

相愛高等学校

SOAI HIGH SCHOOL

https://www.soai.ed.jp/

設立年／1888(明治21)年
設置コース／普通科特進コース・普通科専攻選択コース・音楽科
生徒数／266名（※2023年度実績）
教員数／93名（※2023年度実績、非常勤講師含む）
〒541-0053　大阪府大阪市中央区本町４丁目１-23
TEL 06-6262-0621(代表)
FAX 06-6262-0534
〔資料請求・問合せ先
TEL 06-6262-0621(代表)〕

本校の特徴

Point 1

礼拝を通じて、豊かな人間性を育む

朝礼・終礼の時間に礼拝を行っています。今自分が生かされていること、そしていのちの尊さに感謝を捧げることで慈悲の心を身につけます。

Point 2

一人ひとりの特性に応じた進路を用意

高校普通科（特進・専攻選択）コース、音楽科を開設しています。生徒たちが意欲を持って積極的に学べる環境を整えることで一人ひとりの個性を伸ばします。

Point 3

独自のネットワークで生徒の夢を応援

大学を擁する相愛学園は、その独自のネットワークを活かして高大連携プログラムにも取り組んでいます。また、龍谷大学とも教育連携校（建学の精神を共有する宗門関係学校としての高大連携）の締結をしています。

Point 4

知性と教養、品格を備えた女性を育成

相愛学園では、女性が本来持っている素晴らしい能力や特性を伸ばすことを大切にしています。充実した内容のカリキュラムと学習環境を通じて、これからの時代にふさわしい女性の育成をめざします。

校長メッセージ　他者を敬愛する心と女性としての強さ、品格でグローバルキャリアをデザインする

本学園は136年にわたり、大阪の女子教育の一環を担うとともに、建学の精神である「當相敬愛」が謳うところを教育の基盤に据え、生徒たちが持つ潜在的能力を十分に発揮できる教育を脈々と行ってきています。

伝統ある本校の近年の特色として、「グローバルキャリアをデザインする」学びがあります。教育提携を結んでいる英国国立バンガー大学での語学プログラムや、オーストリアでの音楽研修など、さまざまな海外研修を用意しています。また、スカイプ英会話学習など、国際交流を支える語学教育も充実しています。人生を輝かせるために、グローバルな経験と豊富な知識を深め、女性としての強さ、品格を身につけるプラスワンの自分磨きを大切にしています。

現在、これらの学びの一環として、音楽、文化、語学など多くの教養講座を主体的に選択受講できる授業外での学びの環境を整備しています。

また、2026年には自分磨きを、より高度に、魅力的な環境で実践してもらうために、グローバルサロン、シアタールーム、アクティブラーニング機能をもつライブラリールームなどの先進的な学びの空間を複合した新校舎ビルが完成します。輝かしい未来のための自分磨きを、新たな校舎で実現していきましょう。

相愛高等学校 校長
園城（そのき） 真生（しんしょう）

建学の精神

建学の精神であり、「相愛」の校名にも由来する「當相敬愛」は、「自他ともに仏の子どもである。まさに相敬愛すべし」という仏説無量寿経（ぶっせつむりょうじゅきょう）の一節であります。
その意味は、私達は深い因縁によってこの世に生まれ、み仏に見守られ、多くの人や物のおかげで生かされている。
そんな我が身を感謝するとともに、自らを敬愛し、他を敬愛し、真実を求め強く美しく生きようと努めることです。

教育の理念、目標

敬愛する心と品格を育む、それが相愛の伝統です

相愛中学校・高等学校は、西本願寺第21代明如上人により、1888年（明治21年）に設立された相愛女学校に起源を持ち、一世紀以上、大阪の女子教育の一翼を担ってまいりました。時代の変化とともに学校の様子は変わってきましたが、変わらないのは本学の建学の精神である「當相敬愛」が謳うところを教育の基盤に据え、生徒たちが持つ人間力を十分に磨く教育実践を脈々と行ってきたことです。

新たな出発点として、生徒たちが授業や探究学習活動を通し、未来社会に求められるキャリア形成において、「自他ともに」を実践できる相愛らしさが評価され、自身の糧として人生を生き抜く潜在的スキル、資質能力を育成することに努力したいと考えています。

自分のなかにある夢を社会貢献へと結びつけて実現していく確かな能力を身につけたいと思っている生徒の皆さんが、相愛学園で学ばれることを期待しています。共に輝く未来社会を求めて歩みましょう。

近年の取り組み、実績

世界共通の目標「SDGs」をスタート

2015年国連サミットにおいて掲げられた「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を推進する国連グローバル・コンパクト（UNGC）に参加致しました。130年という長きにわたり、大阪の御堂筋という世界に誇るビジネスの中心地で「北御堂さんの学校」として親しまれてきた本校の特色ある教育に、SDGsをコンセプトとした学びが加わります。

中学1年生から高校3年生まで系統立てられた探究プログラムに基づき、グループ学習や体験学習、プレゼンテーション、さらには龍谷大学を中心としたSDGs参加大学の教授や大学生からのサポートも受けながらのアクティブラーニングによって、人生の原動力として強く明るく生き抜く人間力を育てます。

相愛中学校

SOAI JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.soai.ed.jp/

設立年／1888(明治21)年
設置コース／特進コース・進学コース・音楽科進学コース
生徒数／109名（※2023年度実績）
教員数／24名（※2023年度実績、非常勤講師含む）
〒541-0053　大阪府大阪市中央区本町４丁目１-23
TEL 06-6262-0621(代表)
FAX 06-6262-0534
〔資料請求・問合せ先
TEL 06-6262-0621(代表)〕

本校の特徴

Point 1

礼拝を通じて、豊かな人間性を育む

朝礼・終礼の時間に礼拝を行っています。今自分が生かされていること、そしていのちの尊さに感謝を捧げることで慈悲の心を身につけます。

Point 2

一人ひとりの特性に応じた進路を用意

特進コース、進学コース、音楽科進学コースを開設しています。生徒たちが意欲を持って積極的に学べる環境を整えることで一人ひとりの個性を伸ばします。

Point 3

独自のネットワークで生徒の夢を応援

大学を擁する相愛学園は、その独自のネットワークを活かして高大連携プログラムにも取り組んでいます。また、龍谷大学とも教育連携校（建学の精神を共有する宗門関係学校としての高大連携）の締結をしています。

Point 4

知性と教養、品格を備えた女性を育成

相愛学園では、女性が本来持っている素晴らしい能力や特性を伸ばすことを大切にしています。充実した内容のカリキュラムと学習環境を通じて、これからの時代にふさわしい女性の育成をめざします。

校長メッセージ　他者を敬愛する心と女性としての強さ、品格でグローバルキャリアをデザインする

本学園は136年にわたり、大阪の女子教育の一環を担うとともに、建学の精神である「當相敬愛」が謳うところを教育の基盤に据え、生徒たちが持つ潜在的能力を十分に発揮できる教育を脈々と行ってきています。

伝統ある本校の近年の特色として、「グローバルキャリアをデザインする」学びがあります。教育提携を結んでいる英国国立バンガー大学での語学プログラムや、オーストリアでの音楽研修など、さまざまな海外研修を用意しています。また、スカイプ英会話学習など、国際交流を支える語学教育も充実しています。人生を輝かせるために、グローバルな経験と豊富な知識を深め、女性としての強さ、品格を身につけるプラスワンの自分磨きを大切にしています。

現在、これらの学びの一環として、音楽、文化、語学など多くの教養講座を主体的に選択受講できる授業外での学びの環境を整備しています。

また、2026年には自分磨きを、より高度に、魅力的な環境で実践してもらうために、グローバルサロン、シアタールーム、アクティブラーニング機能をもつライブラリールームなどの先進的な学びの空間を複合した新校舎ビルが完成します。輝かしい未来のための自分磨きを、新たな校舎で実現していきましょう。

相愛中学校 校長
園城（そのき） 真生（しんしょう）

建学の精神

神戸龍谷高等学校は、仏教精神、特に親鸞聖人の教えを建学の精神とし、人格教育を行っています。創設者の榎村稔先生は「物質的な繁栄だけを求めるのではなく、本当の生き方がどういうものかを感じとってもらえるような人間教育の場が必要である。」と考えられ、仏教精神のみなぎった学校を建てられました。私たちは絶えず創設の原点に立ち返り、学園のあり方を問い直しています。

教育の理念、目標

【育む、探究心】
真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする

- ●思考力を中核とし、それを支える基礎力と、使い方を方向付ける実践力の育成
- ●持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能の習得、価値観や態度の養成

目　標

1. Society5.0に向けた次世代の人材育成
2. 自立し、協働し、創造する人材育成
3. ユネスコスクールの加盟
4. 新学習指導要領の着実な実践
5. ICT環境整備の促進

近年の取り組み、実績

1.『人間教育』「命の尊さの感得」

- ●宗教的情操教育・人権教育
- ●自学自習の定着
- ●行事・体験の重視
- ●キャリア教育
- ●ボランティア活動
- ●高大連携の推進
- ●クラブ活動の充実
- ●情報モラル教育

2.『自然教育』「共生と共存の理解」

- ●SDGs達成に向けて
- ●環境・防災教育
- ●探究活動の充実
- ●縦・横のつながりの活性化
- ●自然観の育成、科学的概念の習得
- ●生物多様性・生態系サービスの理解
- ●情報活用能力の育成

3.『国際教育』「四海同朋の理解」

- ●問題解決・プロジェクト学習の充実
- ●システム思考の育成
- ●異文化理解教育
- ●国際交流体験
- ●英語コミュニケーション能力の育成
- ●グローバルリーダーの育成
- ●海外留学生支援

神戸龍谷高等学校

KOBERYUKOKU SENIOR HIGH SCHOOL

http://www.koberyukoku.ed.jp/

設立／1921(大正10)年
設置コース／龍谷総合コース・特進文理Sコース・特進グローバル文系コース・
特進グローバル理系コース・中高一貫コース
生徒数／976名(※2023年度実績)
教員数／137名(※2023年度実績)
〒651-0052　兵庫県神戸市中央区中島通5-3-1
TEL 078-241-0076
FAX 078-241-5546
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 078-241-0076〕

本校の特徴

「グローバルな視野、深い知識を育む」

神戸龍谷は独自の教育プログラムを展開し、これからの社会に不可欠な国際理解力や思考力、創造力を育んでいます。このプロジェクトの特徴のひとつは、留学などのチャンスを手にした特定の生徒だけでなく、本校の生徒すべてがよりグローバルで多様な学びを実現すること。また、生徒が自主的に学びに取り組み、課題を探究しながら知識を深めるユニークな授業も充実しています。

Point 1

Global issues

環境問題や世界経済など地球規模での必要な問題を取り上げ、生徒たちが主体となりグループワークやディスカッションなどを行います。

Point 2

仏教×SDGs グローバル企業連携

龍谷総合学園加盟各学園のネットワークやグローバル企業の協力を得て、通常の授業とは異なる視点から様々な課題にアプローチ。好奇心をかき立てる課題に取り組むことで学ぶ意欲を高め、実社会とリンクした知識も深めていきます。

理事長メッセージ　知識や技能とともに心も育てる

本校が創立以来、親鸞聖人の御教えを基本に、心の教育を大切にしてきました。心を育てることは、知識や技能を身につけることと同様に大切なことです。みなさんには、本校で総合的な力を身につけ、この先の人生を豊かに切り拓いてほしいと願っています。

神戸龍谷中学校高等学校
理事長
小澤（おざわ） 輝郎（てるお）

建学の精神

神戸龍谷中学校は、仏教精神、特に親鸞聖人の教えを建学の精神とし、人格教育を行っています。創設者の榎村稔先生は「物質的な繁栄だけを求めるのではなく、本当の生き方がどういうものかを感じとってもらえるような人間教育の場が必要である。」と考えられ、仏教精神のみなぎった学校を建てられました。私たちは絶えず創設の原点に立ち返り、学園のあり方を問い直しています。

教育の理念、目標

【育む、探究心】
真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする

- ●思考力を中核とし、それを支える基礎力と、使い方を方向付ける実践力の育成
- ●持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能の習得、価値観や態度の養成

目　標

1. Society5.0に向けた次世代の人材育成
2. 自立し、協働し、創造する人材育成
3. ユネスコスクールの加盟
4. 新学習指導要領の着実な実践
5. ICT環境整備の促進

近年の取り組み、実績

1.『人間教育』「命の尊さの感得」

- ●宗教的情操教育・人権教育
- ●自学自習の定着
- ●行事・体験の重視
- ●キャリア教育
- ●ボランティア活動
- ●高大連携の推進
- ●クラブ活動の充実
- ●情報モラル教育

2.『自然教育』「共生と共存の理解」

- ●SDGs達成に向けて
- ●環境・防災教育
- ●探究活動の充実
- ●縦・横のつながりの活性化
- ●自然観の育成、科学的概念の習得
- ●生物多様性・生態系サービスの理解
- ●情報活用能力の育成

3.『国際教育』「四海同朋の理解」

- ●問題解決・プロジェクト学習の充実
- ●システム思考の育成
- ●異文化理解教育
- ●国際交流体験
- ●英語コミュニケーション能力の育成
- ●グローバルリーダーの育成
- ●海外留学生支援

神戸龍谷中学校

KOBERYUKOKU JUNIOR HIGH SCHOOL

http://www.koberyukoku.ed.jp/

設立／1921（大正10）年
設置コース／エキスパートコース・アドバンスコース
生徒数／178名（※2023年度実績）
教員数／137名（※2023年度実績）
〒651-0052　兵庫県神戸市中央区中島通5-3-1
TEL 078-241-0076
FAX 078-241-5546
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 078-241-0076〕

本校の特徴

Point 1 自主自立

○情操教育……礼拝や宗教の授業などで仏教精神を根幹とする情操教育を行います。

○文化発表会……生徒自身が企画し、考え、実行する中学生だけの文化祭を毎年開催しています。

Point 2 学力伸長

○ブロックテスト及びフォローアップ……中学1・2年次では、５教科において、定期試験をせず、３週に1回のブロックテストを行い、取りこぼした箇所をフォローする授業を毎週、数時間設け、基礎学力を定着させ、学力アップを目指している。

○ICT教育……Wi-Fi環境のもと全員がiPadを使い、AI学習プログラムなども用いながら学習しています。

Point 3 体験学習

○校外研修……中学1年生から高校1年生までの４年間、毎年、日帰りや宿泊を伴う研修を実施します。最後の研修は、高校1年生で、カナダへの3週間の語学研修に旅立ちます。

○1dayイベント……もの作り体験や歴史探訪、キャリア教育など多彩な日帰りでの行事を実施。

○国際理解教育……ネイティブ教員や外国人留学生との交流の中で、国際感覚や英語力を磨きます。

理事長メッセージ　知識や技能とともに心も育てる

本校が創立以来、親鸞聖人の御教えを基本に、心の教育を大切にしてきました。心を育てることは、知識や技能を身につけることと同様に大切なことです。みなさんには、本校で総合的な力を身につけ、この先の人生を豊かに切り拓いてほしいと願っています。

神戸龍谷中学校高等学校
理事長
小澤（おざわ） 輝郎（てるお）

建学の精神

兵庫大学の「建学の精神」は聖徳太子の十七条憲法に示された「和」の精神です。
「和」の精神とは、「聖徳太子の御徳を慕い、その十七条憲法に示された「和」を根本の精神として仰ぎ、仏教主義に基づく情操教育を行い、有為の人材を養成する」ことです。「和」の精神に基づいて、個性や自立を尊重し感謝（生かされる心）・寛容（信じあう心）・互譲（たすけあう心）の気持ちを大切にしています。

教育の理念、目標

1. 個性豊かな人間形成と有為な人材の育成

建学の精神「和」の精神に基づく情操教育を基盤に、教養教育と専門教育による個性豊かな人間形成と有為な人材育成を目指しています。

2.「人間力」と「応用力」の育成

幅広い職業人教育を展開し、きめ細かい職業人教育と進路指導を行うことにより、学生ののびしろを最大化する教育を目指しています。

3. 地域への貢献

「地域に根ざす大学」として、地域社会への貢献、生涯学習機会を提供し、地域の核となる大学としての役割を果たします。

近年の取り組み、実績

1. 教育学部教育学科を開設

2023年４月に子ども一人ひとりに寄り添える次代の教育者を育てる教育学部教育学科を開設しました。教員としての使命感や情熱を持ち、高度な専門知識・技能と実践力を有し子どもの個性と環境の多様性に対応しながら、地域社会に貢献できる人材を育成します。取得可能な免許・資格は、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭（知・肢・病）、中学・高校教諭（英語）、保育士資格など、学生一人ひとりの夢を実現できるカリキュラムを用意しています。

2.「PBL（Project-Based Learning）課題解決型授業」事業事例

①地域活性化ウエディング

地域活性化をめざすとともに、結婚式を挙げたいというカップルの夢を学生の手で実現させたいという想いから実施しています。年間を通して、２組のカップルの結婚式をプロデュースし、インタビューをとおして、コンセプトやテーマ、演出を企画しています。『全員が笑顔になる結婚式にする！』という目標を掲げプロデュースを行っています。

②なごみカフェ

認知症患者とその家族の方たちと共に認知症を考える場として発足し、大学教員の専門性を活かしたミニレクチャーと、生豆焙煎から作る挽きたてコーヒーを味わいながら語り合うという２部構成で実施しています。学内にとどまらず、県住や福祉施設、連携協定先などで開催し、人と人とのつながりを大切にできる場を作っています。また、看護学科学生による『気がかり支援』（バイタルチェック）も行っています。

兵庫大学
兵庫大学短期大学部

HYOGO UNIVERSITY

https://www.hyogo-dai.ac.jp

設立年／1995(平成7)年(兵庫大学)・1955(昭和30)年(兵庫大学短期大学部)
設置学部／現代ビジネス学部、健康科学部、教育学部、看護学部、生涯福祉学部
（以上、兵庫大学）、保育科第一部、保育科第三部(以上、兵庫大学短期大学部)
設置大学院／現代ビジネス研究科、看護学研究科
学生数／1,909名(※2023年5月1日現在)
教員数／133名(※2023年5月1日現在)
職員数／58名(※2023年5月1日現在)
加古川キャンパス　〒675-0195　兵庫県加古川市平岡町新在家2301
TEL 079-427-5111
FAX 079-427-5112
〔資料請求・問合せ先
入学部入学課　TEL 079-427-1116〕

本学の特徴

Point 1 学生の成長を支える「安心成長プログラム」

学生の成長を多面的な視点で分析した「学びのカルテ」と、担当教員による面談を軸に、学生それぞれが学びを深められる環境を整えています。「学びのカルテ」を基に、担当教員と学生が目標設定や計画を立て、個人の目標に沿った支援を実施し、学期末には面談をとおして振り返りを行います。その他にも、個別面談制度（チューター制度）や少人数制授業、オフィスアワーなど、手厚いサポート体制も整えています。

Point 2 きめ細かなキャリアサポート

一人ひとりの想いを大切にした自分らしく働き続けられる就職を支援しています。各学科と学生支援課の両方に専任の進路支援担当者を配置し、各学科に合わせた就職活動に対応しています。各学科の進路支援担当者が全学生に個別面談を実施し、一人ひとりに合った情報の提供など、キャリアサポートを行っています。

Point 3 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

それぞれの専門分野のデータに基づいた課題解決や実践活動ができ、実社会に活用できるリテラシーを身につけた人材を育成しています。文系・理系、専門・職業の分野を問わず、データの収集や分析に関する基本技術を修得し、各分野におけるICT・データ活用の事例研究を行って、数理、データサイエンス、AIの基礎知識を修得し、社会やビジネスの課題を解決する力を身に付けます。

学長メッセージ　「人間力」と「応用力」を備えたプロフェッショナルへ。

兵庫大学の一番の魅力は、「人と人とのつながり」です。大学での学び、学生同士や教職員、或いは地域の方々との交流を通して、「人間力」（社会で生きるための総合的な力）と「応用力」（身につけた知識や技能を生涯に亘って更新する力）を身につけることを目指しています。建学の精神「和」に含まれる「共感する心・慈しみの心・思いやりにあふれた心」を育て、自ら感謝の心を持って人に接することで、人に感謝される、豊かな感性を備えたプロフェッショナルを養成します。

また、本学は「地域に根ざす大学」として自らを位置付けています。幅広い年齢層の方々を対象とした生涯学習をはじめ、さまざまな分野で地域社会との結び付きを深めています。「地域に根ざす大学」として、学生が地域の方々と出会い、共に考え、共に学び、共に成長し合える大学でありたい、そして、地域の中で育てていただく大学でありたいと考えています。

運営母体である学校法人睦学園は、2023年に創立100周年を迎えました。また、兵庫大学は2025年に創立30周年、兵庫大学短期大学部は創立70周年を迎えます。本学が育んできた伝統を大切にしながら、学生や卒業生、地域の方が本学を“誇りに思う大学”を目指してまいります。

兵庫大学・兵庫大学短期大学部
学長
河野（こうの） 真（まこと）

建学の精神

睦学園発祥の地に位置する兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校は、建学の「和の精神」を礎とし、学園訓である「感謝・寛容・互譲」のこころを涵養する人間教育の場を醸成します。
学園創立100周年を迎え、国際性豊かな女性、社会人としてのマナーを身につけコミュニケーション能力の高い女性、宗教的情操教育により醸成されたしなやかな逞しい女性、高大一貫教育により生涯生き抜く力を身につけた女性の育成に力を注いでいます。

教育の理念、目標

　生徒一人一人の個性を尊重し、個々の良さを伸ばすことに重点を置き、社会に求められる人材育成を目指しています。
　また、学園創立100周年を迎え、受け継がれてきた伝統を守り、宗教的情操教育を基盤に国際性や独創性を養う女子教育を実践していきます。
　高大連携事業を更に進展させ高校と大学の一貫教育を実現できるシステムの再構築と睦人材教育メソッドの開発に注力し、個の成長を最大化する学びを追求します。

近年の取り組み、実績

［部活動］

　ソフトボール部が2018年度インターハイ・国体・選抜大会、2019年度インターハイ、2022年度インターハイ・選抜大会で全国制覇を果たしました。
新体操部も2022年度全国選抜大会優勝、2023年度インターハイ出場、個人4位入賞や国体優勝などの成績を残しています。
　また、バレーボール部も全国レベルで活躍し全国総体、春の高校バレー全国大会、国体あわせて24回の出場を果たしています。

兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

HYOGO UNIVERSITY SUMANOURA HIGH SCHOOL

https://www.sumanoura.ed.jp/

設立年／大正12(1923)年
設置コース／特進アドバンスコース、特進看護医療コース、幼児教育コース、介護福祉士コース
キャリア進学コース(未来デザイン専攻、製菓・調理専攻、進学専攻)
生徒数／755名(※2023年5月1日現在)
教員数／79名(※2023年5月1日現在)
〒654-0052　兵庫県神戸市須磨区行幸町２丁目７-３
TEL 078-735-7111
FAX 078-735-7130
〔資料請求・問合せ先
広報部　TEL 078-735-7111〕

本校の特徴

国際性豊かな次代を担う女性の育成

校名を『兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校』に変更し、本校の特色である保育・福祉・看護をより生かすためのコース改革を行いました。

- **特進アドバンスコース**……国公立・難関私立大学文系学部現役合格を目指します。
- **特進看護医療コース**……兵庫大学看護学部看護学科進学を中心に理系学部現役合格を目指します。
- **幼児教育コース**……ピアノ実習、リトミック、ペーパークラフト等の専門的な学習に取り組み保育士・幼稚園教諭への道を、また、兵庫大学教育学部の開設に伴い小学校教諭、特別支援学校教諭への道も新たに開かれています。
- **キャリア進学コース**……２年次より進学専攻、製菓・調理専攻、未来デザイン専攻に分かれ、兵庫大学各学部学科への進学を中心に四年制大学・短期大学、就職に幅広く対応しています。
- **介護福祉士コース**……介護職員初任者研修を修了し、介護福祉士養成課程を学習します。令和４年度介護福祉士国家試験において介護福祉士コース受験者の全員が100%合格いたしました。

校長メッセージ　今だからこそ真の女子教育に取り組みます。

本校は、南に名勝須磨海岸、北に須磨アルプスの山並みを望み、源平物語にまつわる史跡も多い景勝の地に位置しております。周囲は落ち着いた住宅地に囲まれた閑静な地域で、JR「須磨海浜公園」駅から徒歩5分、山陽電鉄「月見山」駅から徒歩５分の交通至便の地でもあります。

価値観の多様化やグローバル化が急速に進む21世紀社会をしなやかな力強さで生き抜き、次代の担い手となれる知性と創造力に富む新しい女性の誕生を願っております。

兵庫大学附属
須磨ノ浦高等学校 校長
河野（こうの） 幸星（ゆきお）

建学の精神

本学園は、聖徳太子が十七条憲法第一条で示された「和を以て貴しと為す」の「和」を建学精神としています。
「和」の精神とは、自分と異なるものから成り立っているこの世において、お互いの違いを理解した上で、
自己を確立し、他との共存と共栄を図っていこうとするものと考えています。
これを世界に広めていくことこそ、真の「和」であり、グローバル社会で求められるものです。

教育の理念、目標

〈教育理念〉

感謝（生かされる心）・寛容（信じあう心）・互譲（たすけあう心）の学園訓をあらゆる教育活動において展開し、グローバルな社会で活躍する有為な人材を育みます。

〈目標〉

「グローバル社会で活躍する個性豊かでたくましい女性の育成」「自主・自律的に考え、他者と協同して新しい社会的価値を創造できる女性の育成」を目指します。自由な中にも節度を持ち、積極的に自己実現を図ることのできる女性、豊かな知性と気品にあふれた国際感覚を備えた女性を育てます。

近年の取り組み、実績（中高一貫教育）

「学力」「語学力」「人間力」の3つの力

「学力」「語学力」「人間力」の3つの力を育む教育活動を展開しています。特色ある取り組みとして、ニュージーランド海外研修・オラトリカルコンテスト・課題レポートなどがあります。ニュージーランド海外研修は、中学3年生の2月に、3週間のホームステイと現地校での交流を通じて、中学校の英語教育とグローバル教育の集大成をします。また、オラトリカルコンテストでは、毎年舞台に上がり、それぞれ日頃の成果を発表します。暗唱や興味のあることを英語で発表するといった素晴らしいイベントです。課題レポートは、1年を通じて1人の先生とマンツーマンで興味・関心のあることを調べ学習をし、それを基に自分自身の意見をPCを使用して発表します。この経験は、大学入試にも大きく影響を与えます。東大・京大また早慶上智・関関同立といった難関大学にも推薦やAO入試で合格しています。基礎学力は勿論、思考力や表現力・コミュニケーション能力がこれらの取り組みにより育まれています。

神戸国際高等学校

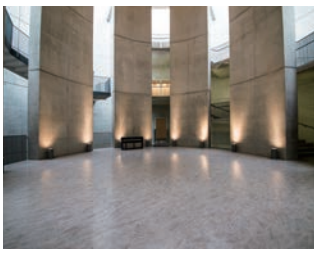
KOBE INTERNATIONAL SENIOR HIGH SCHOOL

https://kis.ed.jp

設立年／1991（平成３）年４月
設置コース／国際文化コース・理数・医歯薬コース
生徒数／307名（※2023年5月1日現在）
教員数／34名（※2023年5月1日現在）
〒654-0081　兵庫県神戸市須磨区高倉台７丁目21-1
TEL 078-731-4885
FAX 078-731-4888
〔資料請求・問合せ先
広報部　078-73-4885　内線209〕

本校の特徴

21世紀の社会で活躍する女性を育む



21世紀型スキルの獲得を目指した「学力」「語学力」「人間力」を育む教育を展開しています。学習面においては、１クラス20人前後の少人数制ですので、当然アクティブラーニング・課題解決双方向型授業を行っています。特に英語は受験英語ではなく、実践的な英語力を育んでいます。

中学３年生でのニュージーランド海外研修や夏季休暇中のカナダ海外研修、高校２年生の海外研修、韓国釜山高校等との国際交流を通じて自然と英語力と国際感覚が養われています。また、緑に囲まれた自然環境抜群の基、何事に対しても主体的にチャレンジ精神旺盛に取り組んでいます。全ての学校行事は、生徒たちが企画・運営をし、その自治能力は定評があります。制服もありません。チャイムも鳴りません。細かな校則もありませんが、自覚ある行動がとれています。

21世紀型スキルを身につけ、21世紀を生きる個人として社会的責任を自覚し、社会のリーダーとして活躍できる素地を養う学校です。

校長メッセージ　個を生かす進学に強い女子校

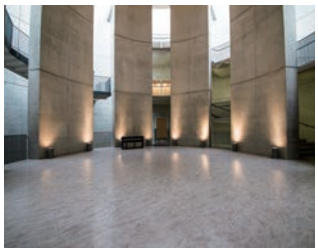
本校は、聖徳太子が十七条憲法で示された「和」を建学の精神として掲げ、「感謝」「寛容」「互譲」の学園訓をあらゆる教育活動において展開し、グローバル社会で生き生きと活躍する逞しい女性を育んでいきます。グローバル社会で活躍するためには、語学力はもちろん確かな学力、そして国際感覚、社会・対人関係、困難に立ち向かうといった総合的な人間力が必要です。本校では、この学力・語学力・人間力の3つの力を育むとともに、これからに時代に求められる“Communication”“Critical thinking”“Creativity”“Collaboration”といった21世紀型スキルの獲得を目指します。また、広く興味・関心を持って何事にも積極的に挑戦し、夢の実現に粘り強く取り組むことができる女性を育てていきます。さらに本校は、理数・医歯薬系コースも設置し、理系の進学にも強く、近頃では4割近い生徒が理系を志望しています。自由な雰囲気の中で自立し、学力・語学力・人間力を高め、大学進学を目指し、これからのグローバル社会で活躍したいと願う皆さんを本校は求めています。

神戸国際高等学校 校長
瀬尾（せお） 幸司（こうじ）

建学の精神

本学園は、聖徳太子が十七条憲法第一条で示された「和を以て貴しと為す」の「和」を建学精神としています。
「和」の精神とは、自分と異なるものから成り立っているこの世において、お互いの違いを理解した上で、
自己を確立し、他との共存と共栄を図っていこうとするものと考えています。
これを世界に広めていくことこそ、真の「和」であり、グローバル社会で求められるものです。

教育の理念、目標



〈教育理念〉

感謝（生かされる心）・寛容（信じあう心）・互譲（たすけあう心）の学園訓をあらゆる教育活動において展開し、グローバルな社会で活躍する有為な人材を育みます。

〈目標〉

「グローバル社会で活躍する個性豊かでたくましい女性の育成」「自主・自律的に考え、他者と協同して新しい社会的価値を創造できる女性の育成」を目指します。自由な中にも節度を持ち、積極的に自己実現を図ることのできる女性、豊かな知性と気品にあふれた国際感覚を備えた女性を育てます。

近年の取り組み、実績（中高一貫教育）

「学力」「語学力」「人間力」の3つの力

「学力」「語学力」「人間力」の3つの力を育む教育活動を展開しています。特色ある取り組みとして、ニュージーランド海外研修・オラトリカルコンテスト・課題レポートなどがあります。ニュージーランド海外研修は、中学3年生の2月に、3週間のホームステイと現地校での交流を通じて、中学校の英語教育とグローバル教育の集大成をします。また、オラトリカルコンテストでは、毎年舞台に上がり、それぞれ日頃の成果を発表します。暗唱や興味のあることを英語で発表するといった素晴らしいイベントです。課題レポートは、1年を通じて1人の先生とマンツーマンで興味・関心のあることを調べ学習をし、それを基に自分自身の意見をPCを使用して発表します。この経験は、大学入試にも大きく影響を与えます。東大・京大また早慶上智・関関同立といった難関大学にも推薦やAO入試で合格しています。基礎学力は勿論、思考力や表現力・コミュニケーション能力がこれらの取り組みにより育まれています。

神戸国際中学校

KOBE INTERNATIONAL JUNIOR HIGH SCHOOL

https://kis.ed.jp

設立年／1991（平成３）年４月
設置コース／国際文化コース・理数・医歯薬コース
生徒数／307名（※2023年5月1日現在）
教員数／34名（※2023年5月1日現在）
〒654-0081　兵庫県神戸市須磨区高倉台７丁目21-1
TEL 078-731-4885
FAX 078-731-4888
〔資料請求・問合せ先
広報部　078-73-4885　内線209〕

本校の特徴

21世紀の社会で活躍する女性を育む

21世紀型スキルの獲得を目指した「学力」「語学力」「人間力」を育む教育を展開しています。学習面においては、１クラス20人前後の少人数制ですので、当然アクティブラーニング・課題解決双方向型授業を行っています。特に英語は受験英語ではなく、実践的な英語力を育んでいます。

中学３年生でのニュージーランド海外研修や夏季休暇中のカナダ海外研修、高校２年生の海外研修、韓国釜山高校等との国際交流を通じて自然と英語力と国際感覚が養われています。また、緑に囲まれた自然環境抜群の基、何事に対しても主体的にチャレンジ精神旺盛に取り組んでいます。全ての学校行事は、生徒たちが企画・運営をし、その自治能力は定評があります。制服もありません。チャイムも鳴りません。細かな校則もありませんが、自覚ある行動がとれています。

21世紀型スキルを身につけ、21世紀を生きる個人として社会的責任を自覚し、社会のリーダーとして活躍できる素地を養う学校です。

校長メッセージ　個を生かす進学に強い女子校

本校は、聖徳太子が十七条憲法で示された「和」を建学の精神として掲げ、「感謝」「寛容」「互譲」の学園訓をあらゆる教育活動において展開し、グローバル社会で生き生きと活躍する逞しい女性を育んでいきます。グローバル社会で活躍するためには、語学力はもちろん確かな学力、そして国際感覚、社会・対人関係、困難に立ち向かうといった総合的な人間力が必要です。本校では、この学力・語学力・人間力の3つの力を育むとともに、これからに時代に求められる“Communication”“Critical thinking”“Creativity”“Collaboration”といった21世紀型スキルの獲得を目指します。また、広く興味・関心を持って何事にも積極的に挑戦し、夢の実現に粘り強く取り組むことができる女性を育てていきます。さらに本校は、理数・医歯薬系コースも設置し、理系の進学にも強く、近頃では4割近い生徒が理系を志望しています。自由な雰囲気の中で自立し、学力・語学力・人間力を高め、大学進学を目指し、これからのグローバル社会で活躍したいと願う皆さんを本校は求めています。

神戸国際中学校 校長
瀬尾（せお） 幸司（こうじ）

建学の精神

聖徳太子の御徳を慕い、十七条憲法にある「和を以て貴しと為す」を根本の精神として仰ぎ、仏教主義に基づく情操教育を行い、有為の人材を育成することを目的にしている。教育の柱は、人を愛し、人を貴ぶ「和」の精神を大切にした環境で一人ひとりの個性を輝かせる。

教育の理念、目標

―和の精神で、豊かな人格、健やかな身体づくりをめざす―

1926年4月、子どもたちの健やかな成長発達を願い、人格形成の基礎作りを目標に設立された兵庫大学附属須磨幼稚園は、昭和、平成、令和と歩み、長い歴史と伝統を積み上げてきました。令和5年に創立100周年を迎えた睦学園は兵庫大学・大学院・短期大学、兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校、神戸国際中学校・高等学校、兵庫大学附属須磨幼稚園、兵庫大学附属加古川幼稚園を擁する総合学園です。本園は創立以来、聖徳太子のみ心を柱として「和」の精神をモットーに豊かな人格と健やかな身体づくりをめざして幼稚園教育の発展と充実に全力を注いでいます。

年間行事

4月	●始業式 ●お花まつり ●入園式 ●ののさま礼拝と誕生会
5月	●内科・歯科検診 ●子どもの日お祝い会
6月	●親子ふれあい会 ●創立記念日 ●親子歯磨き指導
7月	●臨海保育 ●七夕まつり ●終業式 ●宿泊保育 ●オープンデー（イマージョンクラス）
8月	●夏季保育 ●園庭・園舎開放
9月	●始業式 ●敬老参観
10月	●運動会 ●いもほり ●わくわくフェスタ ●秋の遠足 ●オープンデー（イマージョンクラス）
11月	●お店屋さんごっこ ●なかよし音楽会 ●ハロウィンパーティー（イマージョンクラス）
12月	●おもちつき ●なかよし会 ●終業式 ●クリスマスパーティー（イマージョンクラス）
1月	●始業式 ●新春保育参観 ●雪遊び
2月	●生活発表会 ●親子茶道 ●お別れ遠足
3月	●交通安全教室 ●卒園参拝 ●卒園なわとび大会 ●卒園式 ●修了式

兵庫大学附属須磨幼稚園

HYOGO KINDERGARTEN

https://www.suma-kg.ed.jp

設立年／1926(大正15年)年
園児数／134名(※2023年5月1日現在)
教員数／19名(※2023年5月1日現在)
〒654-0052　兵庫県神戸市須磨区行幸町２丁目６番19号
TEL 078-731-2666
FAX 078-731-2660
〔資料請求・問合せ先
TEL 078-731-2666〕

本園の特徴

自然があふれる環境でわくわくさがし！

兵庫大学附属須磨幼稚園は市街地にあるため、子どもたちが自然と触れ合う機会が少なく苦慮していましたが、2003年、系列校である神戸国際中学・高等学校に隣接した所に、約4,600㎡の広さのファミリーガーデン（第二園舎）を造成し、自然豊かな環境の中で虫探しを楽しみ、季節の移り変わりを感じながら、充実した時間を過ごすことができています。ファミリーガーデンには、四季折々の花や実のなる木、遊びの広場として、大型遊具、「エンジョイルーム」があります。また、畑では、「植えて、育てて、収穫」する体験や、収穫した野菜を活用した調理体験などから、生命の営みや食べ物の大切さを実感しています。その他、英語教育として、イマージョンクラスを設置し、母国語と日本語も大切にするバイリンガル教育に取り組んでいます。毎日英語のシャワーを浴び、ネイティブ教師とのかかわり、英語に浸りながら使える英語を目指しています。

園長メッセージ　わくわくさがし　学びを未来へ　にぎわいある幼稚園

本園は大正15年に、健やかな成長と発達を願い、幼児期に必要な人間形成の基礎づくりを目的に設立されました。長い歴史の中で、親子代々に渡ってご縁をいただき、昭和、平成、令和へと歩みを続けています。子ども達がこれから生きていく社会は、グローバルな視点とクリエイティブな発想・実行力が求められます。専門的知識をもち、社会に貢献するために生涯学び続けることが大切です。幼児期から学ぶことの楽しさを体験し、国内にとどまらず海外にも興味を向け、英語ツールを用いたオンライン交流を通して他国の人と仲良くなるなど、多様な体験から楽しく学べる教育の実現に努力していきたいと考えています。

兵庫大学附属須磨幼稚園 園長
澤田（さわだ） 洋子（ようこ）

建学の精神

「人を愛し、人を尊ぶ、和の精神」を教育の柱として、「感謝の心」「寛容の心」「互譲の心」を育む。聖徳太子のみ心を慕い、その十七条の憲法に示された「和」を根本の精神として仰ぎ、仏教主義に基づく情操教育をおこない、有為の人材を養成することを目的とする。

教育の理念、目標

「人を愛し、人を尊ぶ『和』の精神」

昭和42（1967）年4月、幼児期の子どもの望ましい成長発達を助長する幼児教育機関として附属加古川幼稚園は創設されました。恵まれた自然環境の中で四季を存分に味わう生活から、子どもたちの心情は五感をとおして育つ心の教育となっています。

聖徳太子のみ心を柱として「和」の精神をモットーに、豊かな人格と健やかな身体作りをめざして幼稚園教育の発展・充実に全力を注いでいます。

年間行事

【 4･5･6月 】

●始業式 ●入園式 ●さくらんぼ入級式 ●子どもの日のお祝い会 ●いちご狩り
●じゃがいも掘り ●花祭り ●創立記念日 ●むし歯予防の集い ●田植え ●避難訓練

【 7･8･9月 】

●プール遊び ●七夕まつり ●夏まつり ●夏季保育 ●園庭開放 ●敬老参観日

【 10･11･12月 】

●運動会 ●おいもほり ●稲刈り ●園遊会 ●秋の遠足 ●音楽会 ●やきいもパーティー
●おもちつき ●なかよし会 ●お店屋さんごっこ ●陶芸教室 ●終業式

【 1･2･3月 】

●新春保育参観 ●六甲山雪遊び ●節分豆まき ●生活発表会 ●春の遠足 ●ひなまつり
●卒園なわとび大会 ●卒園式 ●修了式

兵庫大学附属加古川幼稚園

HYOGO UNIVERSITY KAKOGAWA KINDERGATEN

https://www.kakogawa-kg.ed.jp

設立年／1967(昭和42)年
園児数／193名(※2023年5月1日現在)
教員数／16名(※2023年5月1日現在)
〒675-0101　兵庫県加古川市平岡町新在家2301
TEL 079-423-0756
FAX 079-423-0756
〔資料請求・問合せ先
TEL 079-423-0756〕

本園の特徴

風が抜け 光がさす にぎわいある幼稚園

本園には「森の中の幼稚園」という別称があります。『風が抜け、光がさし、にぎわいある幼稚園』をタグラインとして、恵まれた自然環境の中、キンダーの森、ロックガーデン、チャイルドパーキング等諸々の施設設備を備えた環境は、全国的にみても稀有のものと自負しております。それに加え、たくましいからだと美しい心の持ち主に個々の園児が如何にして成り得るか、また、生涯教育が強く叫ばれている昨今、如何に最初の集団生活に園児を位置づけるか等々の課題を、園の保育者のみならず附属の強みとして大学の各教員が園児の成長発達のために連携し、学ぶ機会をもったり、学生との交流も図っています。また、野菜などの栽培や収穫体験を通して食育活動も行っています。

園長メッセージ　未来に踏み出す

園児たちは保護者に連れられて、毎朝松林の中を巡るようにして、元気に登園して来ます。保護者の皆様が木々の緑を見上げて「私もこの幼稚園に通いたかった」とおっしゃることも珍しくありません。そんな附属加古川幼稚園は昨年度創立50周年を迎え、園舎もリニューアルをいたしました。開放的でスタイリッシュな園舎、風が抜け、光いっぱいの園内。そして木の香り漂う広々とした教室と廊下があることから「風が抜け、光がさし、にぎわいある幼稚園」をタグラインとして新たな半世紀に向けて歩み出したところです。予測不能な新しい時代を自らの力で切り開き、生涯にわたって学び続ける力と、どんな時代になっても人としての優しさを忘れない、そんな子どもの育成に努めてまいりたいと考えます。

兵庫大学附属
加古川幼稚園 園長
浅野（あさの） 貴路（たかみち）

51

建学の精神

本校は大正12年に創設されました。
創設者である津田明導先生のお言葉の「自然に目覚め、自然に進め」が本校の建学の精神です。
人類だけでなく、一切万物は自然の徳を備えており、我々は徳を損なうことなく、
人間としての使命を完成させなければならないというこころを意味しています。
この精神に則り、宗教的情操教育を通じて、豊かな感性を持ち、確かな学力を身につけ、
仲間と共にたくましく生きる生徒の育成を目指しています。

教育の理念、目標

1.【徳】宗教教育 ～優れた人格を持つ人へ～

ますます複雑になる現代社会。そんな時代だからこそ「いのち」の尊さを改めて考え、心に刻んで欲しいと思います。「いのちを大切にする教育」を実践し、学校生活を通して人間本来の生き方を考え、他人を思いやる心、感謝と奉仕のできる人間性を育みます。

2.【知】教養教育
～確かな学力の上に立った、真に社会で活躍できる人へ～

幅広く豊かな教養と、表現・コミュニケーション能力を育成すると同時に、世界に通用する考え方と幅広い視野を養います。また、身につけた学力やスキルを地域のため、社会のために活用していく方法をさまざまな探究活動を通して育成します。

3.【体】心身教育 ～行動力と忍耐力のある人へ～

積極的にチャレンジし、試行錯誤しながら成功へとたどり着く。そんな経験が人を大きく成長させると考え、いろいろな体験の場を提供できるよう努めます。主体的な行動をとることで、自分だけでなくまわりの環境までをも変化させていく力を養い、世界に貢献することを目指します。

近年の取り組み、実績

1.国際社会で活躍する力の育成

笠岡市の友好握手都市であるマレーシアのコタバル市の高校生とインターネット会議を行い、現地と連携してJapan Festivalを開催。現地の方に盆踊りを楽しんでもらうため、主体的に取り組んだ生徒たちは、驚くほど成長してくれました。

2.クエストチャレンジ

クエストチャレンジは生徒の好奇心を揺さぶり、新たなものに挑戦する気持ちを育むことを目的とし、外部のプロ講師を招いて体験活動を行っています。生徒一人ひとりの点を増やし、将来、線として結ばれるような体験を目指しています。

3.一人ひとりに合った対策が確かな進路実績に

1年時から生徒一人ひとりとの面談を重ねています。進路実現に向けた対策や補習も充実しており、近年では大阪大学、名古屋大学など、多くの生徒が第一志望合格の夢を叶えています。

岡山龍谷高等学校

OKAYAMA RYUKOKU SENIOR HIGH SCHOOL

http://www.ok-ryukoku.ed.jp

設立／1923(大正12)年
設置コース／普通科(特別進学コース・選択選抜コース・進学教養コース)
　　情報科
生徒数／557名(※2023年5月1日現在)
教員数／55名(※2023年5月1日現在)
〒714-0081　岡山県笠岡市笠岡874番地
TEL 0865-63-2525
FAX 0865-69-2317
〔資料請求・問合せ先
入試広報課　TEL 0865-63-2525〕

本校の特徴

Point 1 一人ひとりの力を伸ばす教育

本校では生徒一人ひとりの進路に対応するために2つの科と多彩なコース、類・系を設置。将来の夢を実現するために万全のバックアップ体制を整えています。目の前の受験や就職試験を突破するための学力だけでなく、社会に出てからも活躍し続けることができる能力を育んでいきます。

Point 2 充実の設備

学校生活を充実させるための設備が本校には整っています。最新のICT機器を導入し、生徒一人ひとりのより深い理解をサポートしています。おしゃれなクエストラボは自習にもディスカッションにも最適で、アイデアや解決策もどんどん生まれてきます。トレーニングルームには、部活生に嬉しい最新のトレーニングマシンも整っています。

Point 3 学校行事や課外活動で磨く人間性

体育大会は3つのブロックに分かれて競技も応援合戦もおおいに盛り上がります。文化祭では、劇や模擬店、ステージ発表など、生徒一人ひとりが主役になって取り組んでいます。

校長メッセージ　地域で、世界で、多様な人々と尊重し合いながら、国際社会で活躍できる人に

国際社会といわれるようになって久しいですが、海外でも、国内でも、多国籍の人々と関わる機会は今後ますます増えていくでしょう。そんな時代に社会へと巣立っていく子どもたちに必要な教育とは何か。岡山龍谷は常に、その時々の時代を見つめ、さらにその先の未来を見据えて目先の学力だけではない、本質的な力を育んで、生徒たちを送り出すことを考えてきました。学校で得る知識や技術などのスキルは、それらを適切に活用して初めて意味をなします。だから私たちは、せっかく頑張って身につけたスキルをどのように地域のため、社会のために生かすか、その方法を理解し実践できるよう指導しています。社会に出たら、それまでには経験したことのないさまざまな問題にぶつかり、自分の力で乗り越えなければならない壁が立ちはだかることもあるでしょう。そんな時、状況に応じて適切に解決策を導くためには、自らの経験が鍵となります。だからこそ私たちは、できるだけ多くの体験の場を提供します。積極的にチャレンジして、たくさん失敗して、試行錯誤しながら成功を勝ち取る。そんな体験を積み重ねて、たくましく成長していってほしいと願っています。そして忘れてほしくないのは、未来を見つめることはとても大切なことですが、一度きりの高校生活の中にそれぞれがワクワクできる瞬間を見つけ、一日一日、かけがえのない時間を思いきり楽しんでほしいということ。今しかできない学びと経験を存分に楽しんで、未来への活力として元気いっぱいに羽ばたいてほしい。そんな思いを胸に、全力で、生徒一人一人と向き合います。

岡山龍谷高等学校 校長
相沢（あいざわ） 孝彰（たかあき）

建学の精神

本学園は大正12年に創設されました。創設者である津田明導先生のお言葉の「自然に目覚め、自然に進め」が本校の建学の精神です。人類だけでなく、一切万物は自然の徳を備えており、我々は徳を損なうことなく、人間としての使命を完成させなければならないというところを意味しています。この精神に則り、宗教的情操教育を通じて、豊かな感性を持ち、確かな学力を身につけ、仲間と共にたくましく生きる生徒の育成を目指しています。

教育の理念、目標

蒼明学院中等部は、「自分の未来」「家族の笑顔」「世界の進歩」の３つをコンセプトにしています。このコンセプトの実現に向けて、本校独自の教育プログラムである合教科型探究学習から複数の思考方法を身につけ、英語、ワークショップ、外部講師による講演、課外活動など「ホンモノ」に触れる体験を通して創造力を伸ばし、自分の哲学を持ち、未来を切り開く生徒を育成していきます。また、蒼明では以下に挙げる「守」「破」「離」の３つを特に大切にしています。

1. 守【正しい読解力】

学びの基本となる姿勢を早期に確立し、各コンテンツに対し、常に深堀もしくは視点チェンジをしていくことができるようになる。

2. 破【データ活用と論理的戦略構築】

既有事項に囚われることなく、物事を創造的に捉えていく経験を多く積むとともに、様々な形式で自己を積極的に表現することができる。

3. 離【社会への発信と自律】

自らの考えを他者に発信していくことで、自己を律し、自己肯定感を高めることにもつながる。表現力と新たな発想により社会に貢献できるようになる。

近年の取り組み、実績

1. グローバル教育

蒼明学院では生きた英語が使えるようになることを目標に、基礎知識を確実に身に着けた上で英語を活用していきます。基本をみにつけたのち、ネイティブ教員との会話などを通して実践的な英語力を身に着けていきます。また、ビデオ通話アプリを使い、オンライン国際交流に挑戦しています。異なる価値観や文化、多様性を理解できるようになるとともに、コミュニケーションをとるツールとして英語を身につけることができます。

2. ドラマ教育

「世界で通用する」を掲げている本校、表現であるドラマにも取り組み始めました。ドラマ教育とは演劇的手法を使ったワークショップやゲーム、即興劇を通して、コミュニケーション力・表現力・社会性などを養う教育プログラムです。自分の感情を出したり、相手の感情を受け入れたりするコミュニケーションの成功体験を繰り返し、他者を理解し、協働する力を身につけます。

3. アントレプレナーシップ養成講座

起業家や経営者との対話を通じて、その実践的な知識や経験や姿勢、視点など多くのことを学んでいきます。また、この活動の中で見つけた、「社会の課題」にアプローチする実践の場としてビジネスプランコンテスト参加やフィールドワークを行い、協調性やリーダーシップの育成を図ると共に、創造性を養います。学校の中だけに留まらず、広く社会に触れ、高い志を持つ自立をした人、社会を創る人へと成長させ、これからの未来を生き抜く力を身につけます。

蒼明学院中等部

SOMEI JUNIOR HIGH SCHOOL

https://somei.ed.jp/

設立／2020(令和2)年
生徒数／81名(※2023年5月1日現在)
教員数／24名(※2023年5月1日現在)(岡山龍谷高等学校教員含む)
〒714-0081　岡山県笠岡市笠岡874番地
TEL 0865-63-3535
FAX 0865-63-3536
〔資料請求・問合せ先
入試広報課　TEL 0865-63-3535〕

本校の特徴

変化し続ける「現代」、そしてその先の「未来」を生き抜く力を身につけます。

本校では、午前中は教養知識を深め、午後からは教科の枠を超えた学びにより、新たな視点や課題を解決するための思考法を習得していきます。毎日モーニングテストを実施することで自己の理解度を確認でき、知識を定着させることができます。また、教育課程上の標準時間よりも豊富な授業時間数のため、探究活動や論文執筆、早期から受験対策など未来の目標に向かって学びを進めることができます。また、英語教育では、生きた英語が使えるようになることを目標に、基礎知識を確実に身につけた上で英語を活用していきます。英語が苦手な生徒でも取り組みやすいように1年次は基本事項から丁寧に学んでいきます。英単語の学習にMonoxerというアプリを使用し、楽しみながら学ぶことができます。基本を身につけたら、ネイティブ教員と会話などを通して実践的な英語力を身につけていきます。

校長メッセージ　一人ひとりを大切に、真の成長を。

変化し続ける社会の中で、学校のありかたは大きく変わろうとしています。授業の形態や学習ツールも多様化し、求めれば、学びの世界は無限に広がっていく時代です。蒼明学院中等部には、時代のニーズを極めながら、21世紀の社会を力強く生きるために必要な教育内容があふれています。「自分の未来」「家族の笑顔」と「世界の進歩」を常に意識できる生徒の育成を目指し、生徒自らが興味を持ち自律的に学び続ける力を育んでいます。学校生活の柱となっているのは、「一人ひとりを大切にすること」です。まず、かけがえのない存在である自分を大切にし、同様に家族や友人を尊重する、さらに、すべての人への思いやりを持つことができるようにと、教員一人ひとりが努めております。中学校時代を通じて、真の知性を養い、自ら考え自ら判断して行動し、その結果に責任を持てる人に成長できるようにと願っております。

蒼明学院中等部 校長
津田（つだ） 美津子（みつこ）

建学の精神

崇徳興仁　務修礼譲

親鸞聖人が「真実の教え」とされた『仏説無量寿経』の中に「崇徳興仁　務修礼譲」があります。本学園創立にあたって、明治時代の本願寺門主「明如上人」から「善い行いを尊び（崇徳）、思いやりの心をおこし（興仁）つとめて礼儀を守り互いに譲り合う（務修礼譲）」という教えを賜り、これを建学の精神としています。

教育の理念、目標

校訓四綱領　健康・誠実・精進・感謝

一、心身ともに健康で、たくましい行動力のある生徒
一、豊かな心をもち、誠実さにあふれた生徒
一、学ぶことに喜びをもち、高い目標に向けて力いっぱい精進する生徒
一、人を大切にし、共に支え合う喜びと感謝のできる生徒

崇徳がめざす教育

「心を育て、あらゆる分野で自分らしく輝ける生徒を育てる」

- 感謝の心。「ありがとう」と素直に感謝、「ごめんなさい」と素直に反省できる人。
- 思いやりの心。相手の身になって考えたり、感じたりして行動できる人。
- 自分を見つめ、個性に気がつき、それを伸ばすよう努力できる人。
- 希望に応じた進路をめざすことのできる人。

近年の取り組み、実績

150年の輝きと きらめきを未来へ

崇徳学園は2025年に創立150周年を迎えます。1875（明治8）年、親鸞聖人のみ教えをもとに創設され、文武両道の男子校として社会に多くの人材を輩出してきました。2020年４月より男女共学化を推進し、さらなる進化をめざしています。先行きの予測が困難で、変化の激しいこれからの時代を生き抜き、社会に貢献できる力を育む多様な教育を実践しています。近年では、大学入試に繋がるキャリアパスを設定して英語検定の資格取得を促進し、2023年度より1級・準1級を取得した高校1・2年生を対象に「校長賞」を創設しました。

また、部活動においては、2023年度にダンス部を創設し、新聞部、自転車競技部、柔道部、ボクシング部、バレーボール部、体操競技部、陸上競技部、弓道部、水泳部、軟式野球部が全国大会に出場しました。そして、全国総合文化祭において新聞部が3年連続最優秀賞を受賞しました。

崇徳高等学校

SOTOKU SENIOR HIGH SCHOOL

https://www.sotoku.ed.jp

設立年／1875(明治8)年
設置コース／特別進学コース・進学コース(仏教コース・スポーツクラス含む)
生徒数／1,561名（※2023年5月1日現在）
教員数／154名（※2023年5月1日現在）
〒733-8511　広島県広島市西区楠木町4-15-13
TEL 082-237-9331
FAX 082-230-2897
〔資料請求・問合せ先
代表　TEL 082-237-9331〕

本校の特徴

Point 1

Sotoku Pride

　これからの50年を見据えて策定した新しい教育ビジョンが『Sotoku Pride』です。ますます変化の加速する次の時代で社会を支えるには「他者と協力し、現在を知り、未来を考える手法を学ぶ」姿勢が必要です。
　崇徳学園は、この姿勢を身につけ「自分の考えで、何事にも主体的に実行し、他者をリスペクトできるしなやかな心」を持って未来を生き抜くことができる生徒を育てます。

Point 2

崇徳高等学校

●特別進学コースと進学コースを設置し、個別最適化された教育を実践。
●特別進学コースは、1年次より8時間授業を実施。2年次から文系・理系を選択。
●進学コースは、7時間授業＋希望補習。2年次から文系・理系・3型・5型を選択。
●難関大学等への進学をめざして、多様な進路を実現。
●高大連携交流により高度な学問への探究意欲を醸成。

校長メッセージ　教育のあるべき姿を求めて

　本学園は、1875（明治8）年の創立以来、親鸞聖人のみ教えを根幹に据え、思いやりの心と感謝の心を育む、心の教育を大切にしてまいりました。
　高等学校においては、「崇徳 GRADUATION POLICY」を教育目標とし、目的の実現に必要なものとして8つの力を掲げています。教育目標を具現化させたことで、生徒・教職員が理解し、常に意識することができると考えています。そして、自分を大切にし、他者を思いやる豊かな人間性を土台として、高い志と自主自立性を育み、そのうえで、未来想像力を構築し、社会貢献・国際貢献ができるような人間に成長してほしいと願っています。
　本学園の建学の精神である「崇徳興仁 務修礼譲」をこれからも次代へと受け継ぎ、知識と教養を兼ね備えた心豊かでまごころのある人を育てる学校として精進してまいります。

崇徳高等学校 校長
松尾（まつお） 耕司（こうじ）

建学の精神

崇徳興仁　務修礼譲

親鸞聖人が「真実の教え」とされた『仏説無量寿経』の中に「崇徳興仁　務修礼譲」があります。本学園創立にあたって、明治時代の本願寺門主「明如上人」から「善い行いを尊び（崇徳）、思いやりの心をおこし（興仁）つとめて礼儀を守り互いに譲り合う（務修礼譲）」という教えを賜り、これを建学の精神としています。

教育の理念、目標

校訓四綱領　健康・誠実・精進・感謝

一、心身ともに健康で、たくましい行動力のある生徒
一、豊かな心をもち、誠実さにあふれた生徒
一、学ぶことに喜びをもち、高い目標に向けて力いっぱい精進する生徒
一、人を大切にし、共に支え合う喜びと感謝のできる生徒

崇徳がめざす教育

「心を育て、あらゆる分野で自分らしく輝ける生徒を育てる」

- 感謝の心。「ありがとう」と素直に感謝、「ごめんなさい」と素直に反省できる人。
- 思いやりの心。相手の身になって考えたり、感じたりして行動できる人。
- 自分を見つめ、個性に気がつき、それを伸ばすよう努力できる人。
- 希望に応じた進路をめざすことのできる人。

近年の取り組み、実績

150年の輝きと きらめきを未来へ

崇徳学園は2025年に創立150周年を迎えます。1875（明治8）年、親鸞聖人のみ教えをもとに創設され、文武両道の男子校として社会に多くの人材を輩出してきました。2020年４月より男女共学化を推進し、さらなる進化をめざしています。先行きの予測が困難で、変化の激しいこれからの時代を生き抜き、社会に貢献できる力を育む多様な教育を実践しています。近年では、各教科が課すキャリアパスを設定し、中学段階で英語検定準２級の資格取得を促進し、2023年度より、１級・準１級を取得した生徒を対象に「校長賞」を創設しました。

また、クラブ活動においては、2023年度にダンス部を創設し、柔道部、剣道部が全国大会に出場しました。そして、全国大会では、柔道部が個人90kg級優勝、個人81kg級準優勝を果たし、剣道部が個人第３位に入賞しました。

崇徳中学校

SOTOKU JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.sotoku.ed.jp

設立年／1875(明治8)年
生徒数／中学校98名（※2023年5月1日現在）
教員数／154名（※2023年5月1日現在）
〒733-8511　広島県広島市西区楠木町4-15-13
TEL 082-237-9331
FAX 082-230-2897
〔資料請求・問合せ先
代表　TEL 082-237-9331〕

本校の特徴

Point 1

Sotoku Pride

　これからの50年を見据えて策定した新しい教育ビジョンが『Sotoku Pride』です。ますます変化の加速する次の時代で社会を支えるには「他者と協力し、現在を知り、未来を考える手法を学ぶ」姿勢が必要です。
　崇徳学園は、この姿勢を身につけ「自分の考えで、何事にも主体的に実行し、他者をリスペクトできるしなやかな心」を持って未来を生き抜くことができる生徒を育てます。

Point 2

崇徳中学校

- 45分7時間授業を基本に、８時間目に補習や練成学習（英語・数学）を実施。
- 2年次の京都研修を通して中大連携。京都市内でフィールドワークを実施。
- 3年次の台湾海外研修を通して異文化体験。台湾で、英語プレゼンテーションを実施。
- 週2回、朝の仏参を実施。
- 外部検定試験（英語検定、漢字検定、数学検定など）の積極的受験を推進。

校長メッセージ　教育のあるべき姿を求めて

　本学園は、1875（明治8）年の創立以来、親鸞聖人のみ教えを根幹に据え、思いやりの心と感謝の心を育む、心の教育を大切にしてまいりました。
　中学校においては、生徒たちが自ら学び、考える力を重視し、知・徳・体のバランスをとりながら育成しています。目指す生徒像は、「人間力：親鸞聖人のみ教えに沿って、豊かな人間性と目標に向かって精進する力を持つ」、「表現力：自ら考え、表現し、仲間と協働して問題を解決できる力を持つ」、「技術力：グローバル社会・情報社会に対応できる英語力・情報活用力を持つ」の3つの力を持つ生徒としております。これらが達成できるよう、絶えず見直しと改善を行い、学園の教育改革を進めてまいりたいと考えます。
　本学園の建学の精神である「崇徳興仁　務修礼譲」をこれからも次代へと受け継ぎ、知識と教養を兼ね備えた心豊かでまごころのある人を育てる学校として精進してまいります。

崇徳中学校 校長
松尾（まつお） 耕司（こうじ）

55

建学の精神

鎮西敬愛学園は1925（大正14）年の創立で、100年の伝統をもつ、浄土真宗本願寺派の宗門校です。
敬愛高等学校では、仏教、特に親鸞聖人のみ教えを根底に「心の教育」をめざし、敬愛の心を育て、
あらゆる分野の教育活動を通じて、能力の発見と開発に努めています。

教育の理念、目標

宗教的精神に導かれた聞法の姿勢を養い、敬愛の心をもつ、
人間性豊かな生徒を育成する。

- 宗教的情操を培い、たえず自己を振り返り、目標を持ち、幸福な人生と社会を築くことのできる生徒を育てる。
- お互いの人格を認め、助け合い、感謝する心豊かな生徒を育てる。
- 規律と責任を重んじ、進んで奉仕する生徒を育てる。
- 健康でたくましく、気力と忍耐力を持った生徒を育てる。
- 基礎的な知識を発展させ、自ら考え、正しく判断し、行動する生徒を育てる。

近年の取り組み、実績

総合的な探究の時間を中心として、地域・企業でのリアルな課題について解決方法を提案する「SDGs地域企業連携プロジェクト」に取り組んでいます。「地域活性化」をテーマに、誰もがしあわせに生きることのできる社会を実現するために、何ができるかを考えます。それ以外にも、地域で行う音楽イベント「4s PROJECT」などの活動も企画運営しています。他者と協働しながら、答えのない問いに向き合い、世の中の大きな変化に柔軟に対応できる力を身につけていきます。

医学部医学科大学合格実績：大阪大学、九州大学、大分大学、熊本大学、山口大学、産業医科大学、愛知医科大学、川崎医科大学、久留米大学、防衛医科大学（二次合格）

敬愛高等学校

KEIAI SENIOR HIGH SCHOOL

https://www.keiai.net

設立／1925(大正14)年
設置コース／九大医進コース・特進Sコース・グローカル探究コース
生徒数／385名（※2023年5月1日現在）
教員数／51名（※2023年5月1日現在）※中高合計
〒800-0035　福岡県北九州市門司区別院6-1
TEL 093-381-3537
FAX 093-391-8049
〔資料請求・問合せ先
入試広報部　TEL 093-381-3537〕

本校の特徴

Point 1 いのちを大切にする心の教育

宗祖親鸞聖人のみ教えを教育の基盤として、自分自身のいのちのあり方や生き方を見つめ、豊かな人間性を育んでいます。

Point 2 夢をかたちにする進学指導

目標大学合格を目指して、敬愛独自のコース制で３年間を強力にバックアップします。

Point 3 充実の国際理解教育

世界との出会いが、新しい発見をもたらし、自分自身の視野を広げてくれます。敬愛では高校生のときに国際感覚を身につけて欲しいとの思いから、多くの国際理解教育プログラムを設けています。

Point 4 ICTを活用した英語教育

英語学習アプリを活用して、一人ひとりのレベルやニーズに合わせた学習プランを作成したり、教材を提示したりしています。また、学んだ内容を活かす場としてオンライン英会話も実施しています。

校長メッセージ　いのちを見つめ、心を育む

敬愛高等学校 校長
谷川（たにがわ） 宏済（こうさい）

鎮西敬愛学園は、1925（大正14）年に創設され、2025（令和7）年には100周年を迎えます。その間、有縁の皆さまに支えられ、仏教のみ教え、特に浄土真宗のみ教えを基盤とした「いのちを大切にする心の教育」に努めてまいりました。これまで大切に守り伝えられてきた歴史と伝統を受け継ぎながら、時代に即した「敬愛教育」を目指していきたいと考えています。

グローバル化やICTの発達などにより、目まぐるしく変化を遂げる現代社会。今後、ますます変化のスピードが加速していくような時代ではありますが、だからこそ、一旦立ち止まり、心を落ち着けて、周りの状況に目を向け、自分自身を見つめ直すことも必要なのではないかと思います。

人は一人では生きていくことが出来ません。私は多くの他者によって生かされています。私が私として存在していることそのものが尊いことであり、私がいまここにあるのは当たり前のことではない。そこには、どんなときも私を支えてくれている存在があり、そのことに対する感謝の気持ちが自分自身を大切にすることにつながります。そして、自分自身のいのちを大切にするのと同じように他者のいのちも大切にする。これが「敬愛」の心です。一人ひとりがかけがえのない尊い存在として、お互いに敬愛し合うことによって、それぞれのいのち、それぞれの人生が豊かなものになっていくのでしょう。

どのような時代にも決して変わることのない真実の教えをよりどころとして、さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育んでいきます。

建学の精神

鎮西敬愛学園は1925（大正14）年の創立で、100年の伝統をもつ、浄土真宗本願寺派の宗門校です。
敬愛中学校では、仏教、特に親鸞聖人のみ教えを根底に「心の教育」をめざし、
敬愛の心を育て、あらゆる分野の教育活動を通じて、能力の発見と開発に努めています。

教育の理念、目標

宗教的精神に導かれた聞法の姿勢を養い、敬愛の心をもつ、
人間性豊かな生徒を育成する。

- 宗教的情操を培い、たえず自己を振り返り、目標を持ち、幸福な人生と社会を築くことのできる生徒を育てる。
- お互いの人格を認め、助け合い、感謝する心豊かな生徒を育てる。
- 規律と責任を重んじ、進んで奉仕する生徒を育てる。
- 健康でたくましく、気力と忍耐力を持った生徒を育てる。
- 基礎的な知識を発展させ、自ら考え、正しく判断し、行動する生徒を育てる。

近年の取り組み、実績

グローバルな社会で必要とされる「情報収集力・協働力・表現力」等の様々な力を、生徒の主体的な活動を通して育成するため、一人一台のiPadを活用し、画面をタップするだけの操作ではなく、『書く』ことを大切にした教育を実践します。アナログとデジタルを共存させ、授業中の個別対応や協働学習にも対応し、生徒の主体的に学ぶ姿勢を養います。

（九大医進Jコースの実績）

北海道大学（医学科含む）・東京大学・東京工業大学・名古屋大学・大阪大学・広島大学・九州大学（医学科含む）慶應義塾大学・早稲田大学・明治大学・同志社大学・立命館大学・関西大学・防衛医科大学など

（特進コースの実績）

山口大学・九州工業大学・北九州市立大学・宮崎大学・下関市立大学・東京農業大学・武蔵野大学・立命館大学・近畿大学・関西学院大学・京都女子大学・龍谷大学・西南学院大学・福岡大学・立命館アジア太平洋大学・防衛大学校など

敬愛中学校

KEIAI JUNIOR HIGH SCHOOL

https://www.keiai.net

設立／1947(昭和22)年
設置コース／九大医進Jコース・特進コース
生徒数／141名（※2023年5月1日現在）
教員数／51名（※2023年5月1日現在）※中高合計
〒800-0035　福岡県北九州市門司区別院6-1
TEL 093-381-3537
FAX 093-391-8049
〔資料請求・問合せ先
入試広報部　TEL 093-381-3537〕

本校の特徴

Point 1
いのちを大切にする心の教育

宗祖親鸞聖人のみ教えを教育の基盤として、自分自身のいのちのあり方や生き方を見つめ、豊かな人間性を育んでいます。

Point 2
夢をかたちにする進学指導

目標大学合格を目指して、敬愛独自のコース制で３年間を強力にバックアップします。

Point 3
充実の国際理解教育

世界との出会いが、新しい発見をもたらし、自分自身の視野を広げてくれます。敬愛では中学時より国際感覚を身につけて欲しいとの思いから、２年生でのハワイ語学研修や韓国の姉妹校との交流を行っています。

Point 4
ICTを活用した英語教育

英語学習アプリを活用して、一人ひとりのレベルやニーズに合わせた学習プランを作成したり、教材を提示したりしています。また、学んだ内容を活かす場としてオンライン英会話も実施しています。

校長メッセージ　いのちを見つめ、心を育む

敬愛中学校 校長
谷川（たにがわ） 宏済（こうさい）

鎮西敬愛学園は、1925（大正14）年に創設され、2025（令和7）年には100周年を迎えます。その間、有縁の皆さまに支えられ、仏教のみ教え、特に浄土真宗のみ教えを基盤とした「いのちを大切にする心の教育」に努めてまいりました。これまで大切に守り伝えられてきた歴史と伝統を受け継ぎながら、時代に即した「敬愛教育」を目指していきたいと考えています。

グローバル化やICTの発達などにより、目まぐるしく変化を遂げる現代社会。今後、ますます変化のスピードが加速していくような時代ではありますが、だからこそ、一旦立ち止まり、心を落ち着けて、周りの状況に目を向け、自分自身を見つめ直すことも必要なのではないかと思います。

人は一人では生きていくことが出来ません。私は多くの他者によって生かされています。私が私として存在していることそのものが尊いことであり、私がいまここにあるのは当たり前のことではない。そこには、どんなときも私を支えてくれている存在があり、そのことに対する感謝の気持ちが自分自身を大切にすることにつながります。そして、自分自身のいのちを大切にするのと同じように他者のいのちも大切にする。これが「敬愛」の心です。一人ひとりがかけがえのない尊い存在として、お互いに敬愛し合うことによって、それぞれのいのち、それぞれの人生が豊かなものになっていくのでしょう。

どのような時代にも決して変わることのない真実の教えをよりどころとして、さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育んでいきます。

建学の精神

浄土真宗本願寺派の宗門校として、親鸞聖人のみ教えを根底に「心の教育」を行い、敬愛の心を育成している。
小中高 12カ年のあらゆる教育活動を通して、能力の発見と開発に努めています。

教育の理念、目標

親鸞聖人のみ教えを建学の精神とし、教育活動を通して、「いのち」を大切にする心を育み、豊かな人間性を育むことを目指している。また、教科指導では、「知識の享受」にとどまらず、学ぶプロセスを大切にし、自ら主体的に学び、他者と協力・協働しながら問題解決できるスキルを育成し、将来を見据えた指導を行なっている。

年間行事

1・2年…… 校外学習（動物園、水族館、文化施設など）
3年…… ミュージアムツアー
4～6年 …… シンガポール研修（希望者対象）
5年…… 国際交流（ウルグアイ、韓国など）
6年…… 国際交流（スリランカ、アンゴラなど）・修学旅行
入学式、運動会、KEIAI EXPO、芸術鑑賞、卒業式　他

敬愛小学校

KEIAI ELEMENTARY SCHOOL

https://www.keiai.net

設立／2003（平成15）年
児童数／250名（※2024年6月7日現在）
教員数／24名（※2024年6月7日現在）
〒800-0057　福岡県北九州市門司区大里新町11-7
TEL 093-381-0611
FAX 093-381-0601
〔資料請求・問合せ先
TEL 093-381-0611〕

本校の特徴

Point 1　標準で1,000時間以上 上回る授業時数

ゆとりある授業時間を設定するために週6日制を採用。１・２年生は週29時間、３～６年生は週34時間と、標準時数より約1,000時間多い授業時数を確保している。

Point 2　未来を生きる力を育む教科指導

学ぶプロセスを大切にし、「4C」（Creativity, Critical thinking, Communication, Collaboration）の育成を目指している。ICT機器を積極的に活用し「学習者が主体」となる授業実践を行っている。

Point 3　１年生からはじめる英語授業

実社会で役立つ英語力をつけるために、１・２年生で音声学習法のフォニックスの基礎を身につける。授業のほか、iPadを使ったレコーディングの宿題や、2ヶ国語の校内放送、英語キャンプなど、アウトプットの場面を数多く設定し、読む・聞く・話す・書くの４技能を定着させる。

Point 4　宗教情操教育

週1時間の宗教の授業や、宗教行事を通して、豊かな人間性を育んでいる。「報恩」「感謝」の気持ちを大切にして、一人ひとりが「いのち」の尊さにめざめ、互いに認めあい支えあう、心豊かな人へ成長できるよう指導を行っている。

校長メッセージ　未来を創る子どもたちのために

現代社会は予測不可能なモデルのない時代とも言われています。グローバル化がますます進み、幾多の課題は更に深刻さを増し、未来を創っていく子どもたちの教育のあり方が各方面から問いかけられています。

敬愛小学校では開校以来、「未来を生きる子どもたちのために」をテーマに教育改革に取り組んできました。本校では「聞く」ことに終始する授業ではなく、ICT機器を積極的に活用しながら、自分で「考え」、クラスメートと「ディスカッション」し、プレゼン等を通して「表現」する学習者主体の学習環境づくりに励んでいます。このような教育を通して日本、世界の人々と世界を創り上げていく人に成長して欲しいと念願しています。

また、未来を創る子どもたちにとって欠くことができないチカラは、相手を敬い、人のために行動できるチカラだと考えています。それゆえに、宗教情操教育を通して時代を超えても決して変わらない「価値あるチカラ」を身につけてほしいと念願しています。親鸞聖人のみ教えを学ぶ学校生活の中で、一人ひとりが、いのちの尊さにめざめ、お互いに認めあい、支えあい、そして、いのちが輝きあえる社会に資する子どもたちに成長できるよう全力を尽くしてまいります。

敬愛小学校 校長
龍（りゅう） 達也（たつや）

58

建学の精神

「敬せよ、愛せよ、そして強く育てよ」
私たちは一人ひとりの子どもの胸の中に尊い光りが点ぜられ、
生きることの喜びと感謝の自覚を持った人間に成長することをひたすらの願いとしています。

教育の理念、目標

1.【感謝･敬愛の心を育てる】

「まことの保育」により、人間の一番大切な報恩感謝、敬いと思いやりの心を育てます。

2.【姿勢の芽生えを育てる】

個性・創造性豊かな感性を育てます。

3.【健康な身体を育てる】

のびのびと健やかな活動を通じて諸能力の芽を育てます。

4.【基本的な日常生活習慣を育てる】

仲良く助け合う楽しい生活態度を育てます。

年間行事

4月……始園式・入園式・花まつり
5月……親子遠足
6月……プール開き
7月……夏まつり
10月……運動会
11月……作品展
12月……成道会発表会
1月……親子凧作り
2月……卒園遠足
3月……卒園式・終園式

敬愛幼稚園

KEIAI KINDERGARTEN

https://www.keiai.net/you/index.php

設立／1978(昭和53)年
園児数／130名 （※2024年6月7日現在）
教員数／18名（※2024年6月7日現在）
〒800-0035　福岡県北九州市門司区別院6-1
TEL 093-371-2267
FAX 093-391-9385
〔資料請求・問合せ先
TEL 093-371-2267〕

本園の特徴

Point 1 【いのちを大切にする心の育成】

手を合わせる心の保育を通して、「相手を思いやる心」「感謝の心」「他者との関わりの中で成長する力」を育みます。毎朝、仏様に手を合わせ、仏様のお話を聞きながら、自分を振り返る時間を設けます。いのちの尊さや素直に「ありがとう」と言える報恩感謝の心を育んでいます。

Point 2 【非認知能力を育む教育プログラム】

歴史と伝統を活かしながら、最新の教育プログラムも取り入れ、保育や遊び、製作、運動等を通して、「自分で考えるチカラ」「他者との関わりの中で成長するチカラ」を育み、非認知能力を育成していきます。

Point 3 【専門教室による指導】

専門の先生をお招きしての英語、体操、絵画・製作教室を保育時間内にて行っています。幼児教育の経験豊富な先生方が「できた」という喜びを子どもたちに体感させ、次の成長へつながるよう一人一人を見つめながら細かな指導を行っています。

園長メッセージ　未来を創る子どもたちのために

私たちが置かれている現代は、AI技術が急速に発展し、様々な分野に変革をもたらす時代です。この変革に対応し、未来を生き抜く子どもたちに必要な資質と能力を育むことが、これからの教育界に求められています。

特に就学前の教育においては、様々な体験を通して、「非認知能力」を育んでいくことが大切です。欧米の研究では、将来に渡って大きな影響を与えるこの能力は、未就学児～小学校低学年の時期に一番伸びると言われています。新しいことに挑戦する力や多くのことを吸収する力が特に高いこの時期に、「非認知能力」を育む教育プログラムをたくさん設けることは、将来の大きなチカラに繋がっていきます。

本園では、保育や遊び、製作、運動等の教育活動を通して、「自分で考えるチカラ」「他者との関わりの中で成長するチカラ」を育み、「非認知能力」の育成に努めて参ります。ワクワクする幼稚園での活動の中で、「未知のものや世界に挑戦する好奇心」「周りの方への感謝の心」「新たな価値を見つけ創造する感性」を育んでまいります。

敬愛幼稚園 園長
龍（りゅう） 達也（たつや）

建学の精神

筑紫女学園は、「親鸞聖人が明らかにされた仏陀（釈尊）の教え、すなわち浄土真宗の教えにもとづく人間教育」を建学の精神としています。校訓である「自律」「和平」「感恩」は、その精神をあらわしたものです。
「自律」とは、自分を深く見つめることに始まり、さまざまな恵みによって生かされているという自覚にたどりつきます。この自覚を基礎に自らの人生を生きることです。「和平」とは、他者のすべての存在を認め、互いに尊重しあう中に生まれるおだやかな世界です。そして「感恩」とは、自分を支えている大いなる恵みを知ること。生命のはたらきに感謝の念を抱き、恩に報いたいと願いながら生きることです。

教育の理念、目標

本学は、「限りない〈いのち〉への目覚めをうながし、社会の中で自己を実現する人の育成を通して、新しい時代を創造する」ことを基本理念とし、学生が本学での学生生活を通じて、人生を深く豊かに生き抜く力を身に付け、自立した女性を育成することを教育目標としています。

また、この実現のために次の項目を掲げ、教育に取り組んでいます。

1. 自己と向き合う場所を提供し、人間形成の基礎を確立する。
2. 幅広い教養と多様な専門教育によって、一人ひとりの学生の自己実現を支援する。
3. 社会の諸問題を考え、解決に取り組む姿勢を育てる。

近年の取り組み、実績

「大学の学び」と「社会との繋がり」を意識した正課内外の取り組みを多数実施。

1. 筑女「めざめ」プロジェクト

ロート製薬、JR九州エージェンシー、西日本鉄道、西日本シティ銀行、マイナビのほか、太宰府市、近隣のアミューズメントパークなど、多様な業界の連携協定締結先とのPBL（Project Based Learning）型経験学習を通して、社会人として必要な資質や能力を認識するとともに、学生生活において何をすべきかに「めざめる機会」を提供しています。

2. ネパールプロジェクト

ネパール大地震の被災地を訪問し、現地の小学校復旧（建設）に寄与するなど、復興に向け「子どもたちの教育」にかかる中･長期的な支援活動を行っています。

3. 子ども食堂

少子化や核家族化、雇用環境の変化等が急速に進む中、「子どもの貧困問題」に多くの人々の関心が集まっており、このような貧困の負の連鎖を断ち切るために、児童養護施設などの子どもたちをお迎えし、「I have a dream! 子ども食堂」を開催しています。

4. CJサマーキャンプ

高校生が、本学学生とともに「大学での学び」を体験し、自らの進路や夢の実現に向けた「気づきの場」を創出・提供することを目的として、本学の学科・コースに関連した複数のプログラムを実施しています。

筑紫女学園大学

CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY

https://www.chikushi-u.ac.jp/

設立年／1988（昭和63）年
設置学部／文学部、人間科学部、現代社会学部
設置大学院／人間科学研究科
学生数／2,382名（2023年度実績）
職員数／教員90名、職員47名（2023年度実績）
太宰府キャンパス
〒818-0192　福岡県太宰府市石坂２丁目12-１
TEL 092-925-3511
FAX 092-925-3573
〔資料請求・問合せ先
連携推進部　入試・広報班　TEL 092-925-3591〕

本学の特徴

筑紫女学園大学がみなさまに伝えたいメッセージ

“私の好き” をたくさん見つけてください。もっと “私らしく” を楽しんでください。
教職員が、地域の人たちが、先輩が、そしてあなたの新しい仲間達が応援し見守ります。

筑紫女学園大学

わたしの好きを探せる大学

筑紫女学園大学は、好きなことから自分らしさを探す学生を応援します。
なぜ好きを見つけるのか、どうして自分らしさを探すのか。
夢や将来やりたいことは簡単には見つからないかもしれませんが、
行動し続けることで徐々に見つけることができます。
だからこそ大学の４年間で好きなことに伸び伸びと取り組んでほしい。
”好き” は行動の原動力となります。
”好き” の先にある ”自分らしさ”、”学ぶ意欲”、”新しい人間関係”、”没頭できるもの” を
見つけることは、自分自身の人生と向き合うことと同じです。
大学での４年間を”自分らしさ”を見つける時間にしてもらうよう、教職員一同でサポートします。

学長メッセージ　変わりながらも変わらないものー〈わたし〉を見つける学びの場

社会が大きく変わろうとしている現在、大学も変わることが求められています。誰にも答えが見えない未知のゾーンに、人類と地球はもうすでに入っているようです。しかし変化の時代にあっても、変わらないもの、変わってはいけないものがあります。〈いのち〉の大切さという価値。かけがえのない〈わたし〉という存在。それが分かるからこそ、他者の〈いのち〉に対して、その人の〈わたし〉に対して、限りない尊厳を認めること。

筑紫女学園大学は、1988年に開学して以来、限りない〈いのち〉への目覚めを促すことを教育の柱にしてきました。人は一人では生きていけません。この世界に生まれるという奇跡は、家族と地域の共同体があってはじめて実現します。

この数年、そのような暮らしの場が破壊される姿を何度、目撃してきたことでしょうか。なぜ、このようなことが起きるのか。どうすれば、そこで苦しむ人々の助けになれるか。正解の分からない問題に対して、いっしょに悩み、考え、自分にできる　ことから始めていく。その〈わたし〉を見つける場所であり続けたいと筑紫女学園大学は願っています。

筑紫女学園大学 学長
南（みなみ） 博文（ひろふみ）

建学の精神

筑紫女学園は、「親鸞聖人が明らかにされた仏陀（釈尊）の教え、すなわち浄土真宗の教えにもとづく人間教育」を建学の精神としています。校訓である「自律」「和平」「感恩」は、その精神をあらわしたものです。
「自律」とは、自分を深く見つめることに始まり、さまざまな恵みによって生かされているという自覚にたどりつきます。この自覚を基礎に自らの人生を生きることです。「和平」とは、他者のすべての存在を認め、互いに尊重しあう中に生まれるおだやかな世界です。そして「感恩」とは、自分を支えている大いなる恵みを知ること。生命のはたらきに感謝の念を抱き、恩に報いたいと願いながら生きることです。

教育の理念、目標

高い志をもち、社会を変革するパイオニアを育てる

1900年（明治33年）、本校の創設者水月哲英は、浄土真宗本願寺派北米開教使として渡ったアメリカで、知識や技能、教養といった点で、日本とアメリカの女性の間にある大きな差を目の当たりにし、女子教育の重要性を痛感。女性の教養・地位の向上を目指して、女性の教育環境を整えることに使命を感じました。そして、帰国後の1907年（明治40年）、福岡の地に筑紫高等女学校を創立したのです。「自己に誇りをもち、たくましくそしてしなやかに、未来を切り拓くことのできる女性を育てる」ことは、創設以来の本校の教育理念です。その伝統に裏打ちされた女子教育と最先端の教育環境を融合させ、「教え込む教育から自ら学び考える授業へ」"Teach Less, Learn More."を掲げ、これから迎える未来社会において必要なグローバルマインドセット、デジタルリテラシー、創造性を身につけた、「社会を変革できる女性」を育成します。

近年の取り組み、実績

1. グローバルマインドセットの育成

世界中の多様な人々と協働する行動や思考パターンであるグローバルマインドセットを身に付けることが、これからの社会では不可欠になります。予測困難な「VUCAの時代」と呼ばれる時代を生き抜き、世界で羽ばたくための力を身に付けるための様々な教育プログラムを実施しています。

2. ベトナムハノイ市のトップ校2校と姉妹校協定締結

2023年11月に、ベトナムハノイ市のViet Duc高校、Phan Dinh Phung高校と姉妹校協定を締結しました。中3の海外研修で両校を訪問し、生徒同士で英語を使って文化交流を行いました。今後も、お互いの学校を訪問し合うなど、継続的に交流を深めていくことを予定しています。

3. 多様な分野の学びを融合させたSTEAM教育×探究

本校では、生徒自らが設定したテーマを深く学んでいく探究活動を行っています。探究活動にSTEAM教育の要素を取り入れた、一人一人の「ワクワク」を醸成し、高めていく「探究のSTEAM化」で、課題を見つける力、物事を様々な面からとらえて解決する力、新しい価値を創造する力を育みます。

4. IPadを中心に、ICTを活用した教育

ICT、学習アプリの有効活用は、一人一人の生徒をサポートし、世界とつながる学びの機会を広げています。情報共有によるグループ学習、個々の理解度に合わせた自宅学習を推進。探究活動では、ICTを駆使した資料作成やプレゼンテーションなどを行い、思考力や表現力の育成に効果を発揮しています。また、生徒・保護者・教師間をオンラインでつなぎ、コミュニケーションツールを活用してこまやかなサポートをしています。

筑紫女学園高等学校

CHIKUSHI JOGAKUEN SENIOR HIGH SCHOOL

https://chikujo.ed.jp/

設立年／1907(明治40)年
設置コース／医進・サイエンスコース、Ⅰ類、Ⅱ類
生徒数／1,142名(2023年度実績)
教員数／教員93名、職員10名(2023年度実績)
〒810-0023　福岡県福岡市中央区警固２丁目８番１号
TEL 092-771-3066
FAX 092-781-7021
〔資料請求・問合せ先
TEL 092-771-3066〕

本校の特徴

変化の時代を生き抜き、世界で活躍する人になるために、未来を見据えた新しい教育に取り組んでいます。

Point 1 探究力×STEAM

「コミュニケーション能力」「グローバルマインドセット」「創造性」「デジタルリテラシー」「こころの豊かさ」という、未来社会を生き抜くバランスの取れた人間力を育成するために、本校では「CJ-STEAM」を推進しています。「もっと知りたい」から「学び出す」、教科と探究を行き来する「生徒が自走する学びのサイクル」を実現することを目指しています。

Point 2 医進・サイエンスコース

医学と科学の分野を深く学び、志を高めたい生徒のための「医進・サイエンスコース」では、さまざまな大学と連携し、大学教授による研究内容へのアドバイス、医学生との実習体験、研究室訪問など、大学での学びを体験し、「医進・サイエンス探究」では、自ら設定したテーマについて1年かけて探究します。

校長メッセージ　伝統と革新の女子教育へ

筑紫女学園の創設者であり、初代校長であった水月哲英先生は、日本の女性の教養・地位向上のため、生涯を女子教育のために捧げられました。筑紫女学園は創立以来１１７年の間、「仏教のみ教えを通して生徒の人間的成長を促すとともに、自らの人生は自らの力で切り拓くことができる自立した女性」を世に送り出してきました。この建学の精神のもと、本校の卒業生が時代に先駆けて自分らしく人生を切り拓くロールモデルとなり、各界で大いに活躍されている姿に触れるたびに、私たちは元気を与えていただき、誇らしく感じています。本校は建学の精神をしっかりと継承しながら、変化の激しい時代を生徒が生き抜くために、今なすべき教育とは何かを常に考え、果敢に改革・改善に取り組む「古くて新しい学校」でありたいと考えています。

そのために、教え込む授業から自ら学び考える授業 “Teach Less, Learn More.” を掲げ、一斉・一律の授業に偏りすぎることなく、探究的な学びなどを通して自分の興味・関心をもったことを追究できる環境を整えています。自分の好きを追究することは学び続ける原動力ですから、生徒の好奇心を刺激する志の種を蒔き、自ら学ぶ力を引き出すことを大切にしています。

また、進路実績も大切ですが、学校は変化の激しい時代を生き抜き、人生を切り拓いていくための力を身に付ける場だと考えます。多様な人々と出会い、互いを認め合いながら人間関係を築くことを学ぶ場でもあります。生涯の友と出会ったり、刺激を受ける仲間がいたり、時には悩み苦しみ、傷つくこともあるでしょう。このような経験を重ねながら人間的に成長して社会に飛び立ってほしいと願い、不安定な時期にある生徒をサポートして成長を促すよう取り組んでいます。

新しいモノを創造する、あるいは世の中を変えていくためには、女性の視点や発想力が欠かせません。本校から誰もが生きやすい社会をつくったり、人々を幸せにするモノづくりができる力と創造力を兼ね備えた生徒たちを社会に送り出すことが本校の目指す教育です。何かに挑戦したいと思っているあなたの背中を私たちは押し続けます。 伝統と革新が融合した筑紫女学園高校で皆さんも頑張ってみませんか。

筑紫女学園高等学校 校長
松尾（まつお） 圭子（けいこ）

建学の精神

筑紫女学園は、「親鸞聖人が明らかにされた仏陀（釈尊）の教え、すなわち浄土真宗の教えにもとづく人間教育」を建学の精神としています。校訓である「自律」「和平」「感恩」は、その精神をあらわしたものです。
「自律」とは、自分を深く見つめることに始まり、さまざまな恵みによって生かされているという自覚にたどりつきます。この自覚を基礎に自らの人生を生きることです。「和平」とは、他者のすべての存在を認め、互いに尊重しあう中に生まれるおだやかな世界です。そして「感恩」とは、自分を支えている大いなる恵みを知ること。生命のはたらきに感謝の念を抱き、恩に報いたいと願いながら生きることです。

教育の理念、目標

高い志をもち、社会を変革するパイオニアを育てる

1900年（明治33年）、本校の創設者水月哲英は、浄土真宗本願寺派北米開教使として渡ったアメリカで、知識や技能、教養といった点で、日本とアメリカの女性の間にある大きな差を目の当たりにし、女子教育の重要性を痛感。女性の教養・地位の向上を目指して、女性の教育環境を整えることに使命を感じました。そして、帰国後の1907年（明治40年）、福岡の地に筑紫高等女学校を創立したのです。「自己に誇りをもち、たくましくそしてしなやかに、未来を切り拓くことのできる女性を育てる」ことは、創設以来の本校の教育理念です。その伝統に裏打ちされた女子教育と最先端の教育環境を融合させ、「教え込む教育から自ら学び考える授業へ」"Teach Less, Learn More."を掲げ、これから迎える未来社会において必要なグローバルマインドセット、デジタルリテラシー、創造性を身につけた、「社会を変革できる女性」を育成します。

近年の取り組み、実績

1. グローバルマインドセットの育成

世界中の多様な人々と協働する行動や思考パターンであるグローバルマインドセットを身に付けることが、これからの社会では不可欠になります。予測困難な「VUCAの時代」と呼ばれる時代を生き抜き、世界で羽ばたくための力を身に付けるための様々な教育プログラムを実施しています。

2. ベトナムハノイ市のトップ校2校と姉妹校協定締結

2023年11月に、ベトナムハノイ市のViet Duc高校、Phan Dinh Phung高校と姉妹校協定を締結しました。中3の海外研修で両校を訪問し、生徒同士で英語を使って文化交流を行いました。今後も、お互いの学校を訪問し合うなど、継続的に交流を深めていくことを予定しています。

3. 多様な分野の学びを融合させたSTEAM教育×探究

本校では、生徒自らが設定したテーマを深く学んでいく探究活動を行っています。探究活動にSTEAM教育の要素を取り入れた、一人一人の「ワクワク」を醸成し、高めていく「探究のSTEAM化」で、課題を見つける力、物事を様々な面からとらえて解決する力、新しい価値を創造する力を育みます。

4. IPadを中心に、ICTを活用した教育

ICT、学習アプリの有効活用は、一人一人の生徒をサポートし、世界とつながる学びの機会を広げています。情報共有によるグループ学習、個々の理解度に合わせた自宅学習を推進。探究活動では、ICTを駆使した資料作成やプレゼンテーションなどを行い、思考力や表現力の育成に効果を発揮しています。また、生徒・保護者・教師間をオンラインでつなぎ、コミュニケーションツールを活用してこまやかなサポートをしています。

筑紫女学園中学校

CHIKUSHI JOGAKUEN JUNIOR HIGH SCHOOL

https://chikujo.ed.jp/

設立年／1907(明治40)年
設置コース／Ⅰ類、Ⅱ類、医進・サイエンスコース(中3から)
生徒数／459名(2023年度実績)
教員数／教員33名、職員1名(2023年度実績)
〒810-0023　福岡県福岡市中央区警固２丁目８番１号
TEL 092-771-3066
FAX 092-781-7021
〔資料請求・問合せ先
TEL 092-771-3066〕

本校の特徴

変化の時代を生き抜き、世界で活躍する人になるために、未来を見据えた新しい教育に取り組んでいます。

Point 1　探究力×STEAM

「コミュニケーション能力」「グローバルマインドセット」「創造性」「デジタルリテラシー」「こころの豊かさ」という、未来社会を生き抜くバランスの取れた人間力を育成するために、本校では「CJ-STEAM」を推進しています。「もっと知りたい」から「学び出す」、教科と探究を行き来する「生徒が自走する学びのサイクル」を実現することを目指しています。

Point 2　医進・サイエンスコース(中3から)

医学と科学の分野を深く学び、志を高めたい生徒のための「医進・サイエンスコース」では、さまざまな大学と連携し、大学教授による研究内容へのアドバイス、医学生との実習体験、研究室訪問など、大学での学びを体験し、「医進・サイエンス探究」では、自ら設定したテーマについて1年かけて探究します。

校長メッセージ　伝統と革新の女子教育へ

筑紫女学園の創設者であり、初代校長であった水月哲英先生は、日本の女性の教養・地位向上のため、生涯を女子教育のために捧げられました。筑紫女学園は創立以来１１７年の間、「仏教のみ教えを通して生徒の人間的成長を促すとともに、自らの人生は自らの力で切り拓くことができる自立した女性」を世に送り出してきました。この建学の精神のもと、本校の卒業生が時代に先駆けて自分らしく人生を切り拓くロールモデルとなり、各界で大いに活躍されている姿に触れるたびに、私たちは元気を与えていただき、誇らしく感じています。本校は建学の精神をしっかりと継承しながら、変化の激しい時代を生徒が生き抜くために、今なすべき教育とは何かを常に考え、果敢に改革・改善に取り組む「古くて新しい学校」でありたいと考えています。

そのために、教え込む授業から自ら学び考える授業 “Teach Less, Learn More.” を掲げ、一斉・一律の授業に偏りすぎることなく、探究的な学びなどを通して自分の興味・関心をもったことを追究できる環境を整えています。自分の好きを追究することは学び続ける原動力ですから、生徒の好奇心を刺激する志の種を蒔き、自ら学ぶ力を引き出すことを大切にしています。

また、進路実績も大切ですが、学校は変化の激しい時代を生き抜き、人生を切り拓いていくための力を身に付ける場だと考えます。多様な人々と出会い、互いを認め合いながら人間関係を築くことを学ぶ場でもあります。生涯の友と出会ったり、刺激を受ける仲間がいたり、時には悩み苦しみ、傷つくこともあるでしょう。このような経験を重ねながら人間的に成長して社会に飛び立ってほしいと願い、不安定な時期にある生徒をサポートして成長を促すよう取り組んでいます。

新しいモノを創造する、あるいは世の中を変えていくためには、女性の視点や発想力が欠かせません。本校から誰もが生きやすい社会をつくったり、人々を幸せにするモノづくりができる力と創造力を兼ね備えた生徒たちを社会に送り出すことが本校の目指す教育です。何かに挑戦したいと思っているあなたの背中を私たちは押し続けます。 伝統と革新が融合した筑紫女学園中学校で皆さんも頑張ってみませんか。

筑紫女学園中学校 校長
松尾（まつお） 圭子（けいこ）

建学の精神

筑紫女学園は、「親鸞聖人が明らかにされた仏陀（釈尊）の教え、すなわち浄土真宗の教えにもとづく人間教育」を建学の精神としています。校訓である「自律」「和平」「感恩」は、その精神をあらわしたものです。
「自律」とは、自分を深く見つめることに始まり、さまざまな恵みによって生かされているという自覚にたどりつきます。この自覚を基礎に自らの人生を生きることです。「和平」とは、他者のすべての存在を認め、互いに尊重しあう中に生まれるおだやかな世界です。そして「感恩」とは、自分を支えている大いなる恵みを知ること。生命のはたらきに感謝の念を抱き、恩に報いたいと願いながら生きることです。

教育の理念、目標

恵まれた自然環境を生かして、「子どもが一番、子どもが真ん中、子どもに真っ直ぐ」を共通の合言葉に、教育目標『自然を愛し、生き生きと活動する子どもの育成』を設定し、日々の教育活動を推進しています。

これは、子どもたちが、自然や社会と対峙し、自然事象や社会事象に対して、驚きや興味・関心を高め、自然の不思議さに疑問を持ち、自ら考え、調べ、表現することです。

そして、恵まれた自然環境を生かして、旺盛な活動を仕組むことで、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育てることができると考えます。

生き生きと活動するとは、自ら進んで遊びを作り出す子どものことでもあり、別の言葉に置き換えると、主体的な子どもの遊びや活動ということと同じです。

それは、意欲的であり、自主的であり、価値追求的な活動のことです。

従って、子どもを放任し、子どもに好き勝手な遊びをさせるという意味ではありません。

教師は常に、子ども一人ひとりを見つめ、子どもの持つよさや可能性を伸ばさなくてはなりません。

そのためには、子どもにとっての幼稚園は、明るくて挨拶に満ち、いつも整美され「明日も行きたくなるような幼稚園」であり、子どもを保育する教師にとっては、自らの指導力量を高め、「子どもや保護者から信頼される教師」でなければならないと考えます。

年間行事

先ず、御仏様や親鸞聖人に尊敬と感謝の気持ちを持つ宗教的な行事です。これは、大学の宗教教育担当の先生に指導を仰ぎながら計画的に実施します。

特に、花まつり、宗祖降誕会、成道会、報恩講、涅槃会と月1回の合同礼拝には、大学の先生を導師に招き、実施しています。

また、生命尊重や生命誕生に対する感謝の気持ちを持たせる誕生会を実施しています。

次に、恵まれた自然環境を生かした食育に関する行事です。発達特性に応じて、野菜や芋、稲を育て、収穫を喜ぶ行事、自生する筍やヨモギなどを収穫して、試食する行事などを実施しています。

そして、幼児期の終わりまでに育てたい10の姿と関連させた運動会や竹馬披露会、避難訓練や毎月の身体測定等の健康安全・体育的な行事、劇の発表会やミニコンサート（年長）などの文化的な行事、そして、近隣の公園への遠足やお泊り保育などの遠足・集団宿泊的な行事を計画的に実施しています。

筑紫女学園大学附属幼稚園

KINDERGARTEN ATTACHED TO CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY

https://www.chikushi.ac.jp/knd/

設立年／1972(昭和47)年
園児数／198名(2023年度実績)
教員数／14名(2023年度実績)
〒810-0023　福岡県福岡市中央区警固３丁目13番34号
TEL 092-731-0787
FAX 092-725-3782
〔資料請求・問合せ先
TEL 092-731-0787〕

本園の特徴

Point 1　都心の緑豊かな幼稚園

ソフト面では、園児の自発的な活動や遊びを重視していますから、時間割がないのが特徴です。園児は、時間に制約されることなく、興味・関心を持った活動に没頭できます。本園は、大都市福岡市の中心部に立地していますが、敷地内にある通称「百年の森」を始め緑豊かな幼稚園です。

この敷地内で、春の筍やヨモギの収穫、夏の虫探し、秋のどんぐり拾い、冬の霜柱や氷探しなど四季を通じて自然に触れる活動ができることが特徴です。また、毎年、数人の外国人の子どもが、入園してきます。在園児は、気持ちよく受け入れ、直ぐに仲良くなり、多様性を尊重しているところも特徴の一つです。

Point 2　新園舎による新たな取り組み

ハード面では46年間、園児を見守ってきた旧園舎の老朽化に伴い、平成31年に、旧園舎の跡地に新園舎が完成したことです。新園舎は、２階建てで、旧園舎よりも延床面積が広く、新しい時代に対応した施設設備が整っています。

遊戯室と年長教室に設置されたパソコンと連動した大型プロジェクターは、全教室に設置しました。また、これまで、２歳児保育も別棟で実施していましたが、同一園舎内で保育できることも特徴の一つです。

園長メッセージ　「遊び」は心身の成長の原動力

「遊ぶ」ことは「学ぶ」こと。真剣に遊べば遊ぶほどに新たな発見や気づきが生まれます。幼児期の子どもたちは、五感をフルに活用して遊ぶ中でさまざまな力を身に付けていきます。“おもしろそう”“やってみたい”“試してみたい”と自分から興味・関心を持ち、周りの環境（ひと・もの・こと）に対して働きかけていく中で“どうなっているのかな”“ふしぎだな”など子どもたちは好奇心や探求心を高めていきます。遊びはまさに心身の成長の原動力と言えます。

また、一人では興味・関心が持てなかったことに対しても、教師や友だちと関わる中で、興味・関心を高めることもあります。やがて、一人遊びから「友だちと一緒に遊ぶことが楽しい」と感じるようになりますが、遊びの中で自他の思いを伝え合い、共感することも増えてくるとともに、思い通りにならないことも出てきます。その時は、お互いに折り合いをつけることも学んでいきます。社会性の芽生えです。

私たちの園では、子どもの遊びを中核にした教育活動を展開しています。子どもの主体性を大切にし、日々子どもたちの笑顔と歓声がこだまする幼稚園づくりに努めていきたいと考えています。

筑紫女学園大学附属
幼稚園 園長
井口（いぐち） 司（つかさ）

建学の精神

本学の建学の精神は、大乗仏教の精神、特に親鸞聖人が顕かにされた「浄土真宗の精神」を基本としています。これは、単に知識教育に留まることなく、宗教的情操教育に根ざした豊かな人格形成に主眼をおくものです。生命の尊さを深く理解し、「一人ひとりを大切にする」という慈しみの精神を根幹に、常に我が身を省みる内省の心をもち、生かされて生きる喜び（感謝の心）に目覚める豊かな人間を育みます。

教育の理念、目標

教育の目的

人間形成において最も基礎的かつ重要な意味を持つ幼児期の全人的成長を支える保育者、教育者の養成

教育の目標

1. 幼児期の心的並びに身体的発達過程に精通した子育てのスペシャリストを養成する
2. 福祉と教育両面での援助・指導助言ができる子育ての専門家を育成する
3. おやの子育てを支援し、その保育に貢献できる人間を育成する
4. 社会情勢に即応できる保育者としての能力を涵養する

近年の取り組み、実績

1. 単科短期大学としての強み

2020年度より、幼児教育単科の短期大学として、新たな歩みを始めています。幼児教育の重要性を認識し、幼児教育専門の短期大学として、子育て世代のニーズに応えて行きます。

2. 地域連携子ども教育研究センターの取組

地域連携子ども教育研究センターは、地域の子育て支援の中核として、自治体と連携しキャリアアップ研修、公開講座、子育て相談等、様々な教育事業を開催しています。

3. 附属幼稚園との連携

本学舎と附属幼稚園が接続しており、附属幼稚園の教員や園児たちの様子を間近に感じながら学習しています。

4. 高い専門的就職

幼児教育の専門的知識と社会性を備えた保育士、幼稚園教諭のニーズは高く、地域の幼稚園・保育所・福祉施設等からの求人も多く、きめ細やかな就職指導により卒業生の就職率は100%です。

東九州短期大学

HIGASHIKYUSHU JUNIOR COLLEGE

http://www.higashikyusyu.ac.jp/

設立／1967(昭和42)年
設置学部／幼児教育学科
学生数／71名(※2023年5月1日現在)
教員数／24名(※2023年5月1日現在)
職員数／9名(※2023年5月1日現在)
〒871-0014　大分県中津市大字一ッ松211番地
TEL 0979-22-2425
FAX 0979-25-3935
〔資料請求・問合せ先
学生支援センター入試係
TEL 0979-22-2425〕

本学の特徴

「みらいをつくる　ひとをそだてる」

Point 1

地域密着型の教育と卒業後のサポート

長い歴史の中で培われた地域とのつながりを活かし、授業・実習・ボランティア活動などを通して、地域とともにつくる学びを実践します。また、園とのネットワークにより就職のバックアップや卒業後のサポートにもつながっています。

Point 2

「まことの保育」の実践

「まことの保育」は、浄土真宗のみ教えを基盤とした「心を育む保育」です。物質的な豊かさに捉われがちな現代だからこそ、本学では心の大切さを学び、それを保育の現場に活かすことができる保育者の養成を目指します。

Point 3

附属幼稚園での充実した実習

附属幼稚園は本学の学舎と連結されており、物理的にも教育内容的にも「つながり」があります。実習では通常の保育だけでなく、運動会や発表会など一年を通して園のさまざまな行事に参加し、子どもたちとともに学びを重ねていきます。

学長メッセージ　子ども達と共に成長していく保育士の育成

幼児教育学科のみの単科短期大学である本学は、その強みを最大限に発揮するため、短期大学の学舎と実習園である附属幼稚園の園舎を通路で連結させ、園児や幼稚園の活動を身近に感じられるようにしました。常に子ども達の生の声を感じながら、子ども達の心に寄り添い、共に成長していく保育士の養成に努めていきます。

東九州短期大学
理事長／学長
梅高（うめたか）　賢正（けんしょう）

64

建学の精神

**親鸞聖人の「真実を求め、真実に生きん」を建学の精神として、
教育基本法、学校教育法に則り、高等普通教育及び専門教育を施し、
報恩感謝の念に富む温和で知性と教養ある情操豊かな人間の育成に努める。**

教育の理念、目標

Ⅰ
1. み仏の願いを聞く生活を通して、この私がはかり知れない「縁起」のなかで生かされていることを学び、報恩感謝の心を育成する。
2. み仏の光に照らされた生活を通して、この私の自己中心性に気づかされていくことで、自己のありのままのすがたを省みる心を育成する。
3. み仏の恵みを慶ぶ生活を通して、この私を含め全ての存在が、生かされて生きている尊い存在であることに気づかされていくことで、互いを敬い、助け合う心を育成する。

Ⅱ
国際化、情報化、少子高齢化、科学技術の発展や環境問題などの社会状況の変化に柔軟に対応できる個性的・創造的な人材の育成を図るとともに、思いやりや社会性、倫理観、正義感等の豊かな人間性の育成を重視した教育の充実をめざす。

次の４点を重点的な目標としている。
1. 豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
2. 自ら学び、自ら考える力を育成する。
3. 基礎･基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する。
4. 創意工夫を生かし特色ある教育、特色ある学校づくりを進める。

近年の取り組み、実績

1. 普通科総合選択コース設置

普通科に総合選択コース（文理進学系・子ども保育系・キャリア系）を設置し、在学中に生徒それぞれの希望に合った進路選択が可能なカリキュラムを整えている。

2. 部活動への取組み

女子バレーボール部は全国優勝を収める強豪チームであり、また相撲部員が2023世界ジュニア相撲選手権大会（女子団体・個人中量級）で優勝し世界制覇を成し遂げる等、運動部・文化部ともに部活動が盛んである。

3. ICT教育への取組み

インターネット環境の整備を行い、全生徒に一人一台のiPad導入を進めるなど、ICT教育を推進している。

東九州龍谷高等学校

HIGASHI KYUSHU RYUKOKU SENIOR HIGH SCHOOL

http://hk-ryukoku.ed.jp/

設立／1899(明治32)年
設置コース／普通科(特別進学コース・総合選択コース)、食物科、衛生看護科
生徒数／607名(※2023年5月1日現在)
教員数／55名(※2023年5月1日現在)
〒871-0031　大分県中津市大字中殿527番地
TEL 0979-22-0416
FAX 0979-22-3122
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 0979-22-0416〕

本学の特徴

Point 1 全てのいのちを大切にする思いやりの心を育む

明治32（1899）年の創立以来、親鸞聖人のみ教えとその精神を教育の基本理念として、「全てのいのちを大切にする思いやりの心を育み、報恩感謝の念に富み、教養あふれる情操豊かな人間の育成」に努めている。

Point 2 生徒のニーズに沿った特色ある学科

一人ひとりの個性を伸ばす3つの学科〔普通科（特別進学コース･総合選択コース）、食物科、衛生看護科〕を開設し、それぞれの夢を実現するための力を育てる独自のカリキュラムを整えている。

Point 3 文武両道の校風

「文武両道」が創立以来の校風であり、日々の授業以外に、部活動やボランティア活動、生徒会活動等、一人ひとりの生徒がそれぞれの夢を叶えようと、活き活きと有意義な高校生活を過ごしている。

校長メッセージ　学びの意欲と強い意志をもって夢を叶えよう

本校は、「真実を求め、真実に生きん」とした親鸞聖人のみ教えを建学の精神とし、「心の教育」と「確かな学力の向上」に力を注いでいます。社会全体が急速に変化している中、これからの時代を生き抜く人に求められる力は、基礎・基本をしっかりと修得した上で、それらを活用する力と、自分の可能性を追及しながら、夢を語ることができる力です。本校では、それらの力が生徒一人ひとりに身につくよう、生きる力（資質･能力）だけではなく、生かされている背景（敬愛・感謝）に目を向ける教育の推進に、全教職員が本気で取り組んでいます。

一人ひとり、未来への道は可能性に満ち溢れています。それぞれの夢の実現に向け、学びの意欲と強い意志を持って突き進んでほしいと願っています。

東九州龍谷高等学校 校長
井上（いのうえ） 倫明（みちあき）

建学の精神

仏教、特に浄土真宗の教えに基づき、のの様（阿弥陀如来）のお慈悲に育まれ、
多くのいのちに支えられ、生かされて生きているということを実感できる教育・保育を施す。

教育の理念、目標

1. 建学の精神に基づき、心豊かな人格を形成する
2. 短期大学の附属幼稚園として教育・研究を実践する
3. 明るく豊かな心を持つ子どもを育てる
4. 基本的な生活習慣を身につけ、仲良く遊ぶ子どもを育てる
5. 遊びをみつけ、創りだす子どもを育てる

年間行事

4・5・6月

●入園式 ●花まつり ●保育参観
●ファミリーフェスタ ●春の遠足
●宗祖降誕会 ●交通安全教室
●避難訓練

7・8・9月

●七夕 ●夏期保育
●Specialday（年長組夏祭り）

10・11・12月

●運動会 ●避難訓練
●バス遠足 ●いもほり
●ふぞくまつり ●成道会発表会

1・2・3月

●御正忌報恩講参詣 ●作品展
●節分 ●お茶会 ●ひなまつり
●お別れ遠足 ●保育参観
●卒園式

東九州短期大学附属幼稚園

HIGASHI KYUSHU JUNIOR COLLEGE ATTACHED KINDERGARTEN

http://www.higashikyusyu.ac.jp/youchien/

設立／1980(昭和55)年
園児数／134名(※2023年5月1日現在)
教員数／23名(※2023年5月1日現在)
〒871-0014　大分県中津市一ツ松211番地
TEL 0979-25-0803
FAX 0979-25-0820
〔資料請求・問合せ先
TEL 0979-25-0803　FAX0979－25－0820〕

本園の特徴

1.まことの保育 …… 浄土真宗のみ教えに基づいた保育、主に親鸞聖人の生き方を基本とした保育を「まことの保育」とよび、その実践を行っている

2.茶道教室 …… 情操教育の一環として日本の伝統や文化を感じると共に礼節や作法を学ぶ

3.体操教室・ダンス教室 …… 体を動かすことで体操やダンスに興味を持ち、健康な心と体を育む

4.英会話教室・かるた教室 …… 数や文字への興味関心、感覚を遊びの中で培い、考える力を伸ばす

5.かがく遊び …… 楽しい科学実験を通して、好奇心やクリエイティブな発想を育む力を身につける

園長メッセージ　ののの様に見守られ

園児の1日は仏壇の阿弥陀様(ののの様)への朝のご挨拶に始まります。そして、常にののの様に見守られているという安心感の中で保育者やお友達とのびのびと生活しています。本園は現在、幼稚園型認定こども園ですが、中核の幼稚園教育においては、集団活動を通して遊びの中から好奇心や探求心が育まれるような教育を目指しています。また、保育部分では基本的な生活習慣が身につくように愛情をもって指導しています。そして何より自分の思いを言葉や態度で表現でき、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子どもに育ってほしいと願っています。

東九州短期大学附属幼稚園
理事長／園長
梅高(うめたか)　賢正(けんしょう)

建学の精神

仏教、特に浄土真宗の教えに基づき、のの様（阿弥陀如来）のお慈悲に育まれ、
多くのいのちに支えられ、生かされて生きているということを実感できる保育・教育を施す。

教育の理念、目標

1.児童福祉法に基づき、保育が必要なすべての子どもに最もふさわしい生活の場を確保し、育つ力と育て合う力を大切に、養護と教育が一体となった保育を目指す。
2.入所園児の家庭と地域の子育て家庭に対して、さまざまな人的・物的環境と整え、専門機関との連携や保育の専門性を生かして、地域に開かれた子育て支援の場として役割を果たしていく。

年間行事

4月
●入園式

5月
●花まつり

6月
●交通安全教室

7月
●夏祭り

8月
●年長組おとまり保育

10月
●運動会
●親子バス遠足（年長組）
●バス遠足（年中組）

11月
●遠足

12月
●発表会

2月
●バザー

3月
●お別れ遠足・
お別れ給食パーティー
●卒園式

新吉富保育所

SHINYOSHITOMI NURSERY

設立／2014(平成26)年
園児数／69名(※2023年5月1日現在)
教員数／23名(※2023年5月1日現在)
〒871-0904　福岡県築上郡上毛町大字安雲172-1
TEL 0979-72-2366
FAX 0979-72-2884
〔資料請求・問合せ先
TEL 0979-72-2366〕

本園の特徴

Point 1 質の高い保育に向けて

保育に関わる者同士が、それぞれの専門性を発揮しながら連携しあい、より質の高い保育を目指して研鑽を重ねている。

Point 2 保護者との連携

子どもの24時間の生活を視野に入れ、家庭との連携を密にし、保護者の思いに共感しながら養育力の向上を支援する。

Point 3 小学校との接続

子どもの発達過程や後伸びする力を見据えた長期的な保育展望を持ちながら、小学校との接続が円滑に行われるよう、情報提供の充実や教育内容の連携、交流を積極的に進める。

Point 4 発達に考慮した保育環境

子どもの主体的な発達要求に応答する環境を豊かに整え、自ら興味関心を持って環境に関わり、チャレンジしたことへの充実感や満足感を味わわせ、発達段階なりの心情、意欲、態度を養う。

所長メッセージ　子育ての最高の応援団

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要な時期です。規則正しい生活や遊びを通して情緒的、知的な発達、社会性などを獲得します。保育所では、「あそび」を大切にした生活や体験を通して「たくましく生きる力」を育んでいます。また、感謝の気持ちを大切にして「心を育てる保育」を目指します。

新吉富保育所 所長
梅高（うめたか） 浄祐（じょうゆう）

67

建学の精神

本学は、親鸞聖人のみ教え、つまり、与えていただいたいのちのありがたさに気づき、自らを律しきれない自分であるという未熟さを常に省みながら、お互いを尊重し敬い合うことを実践する人間力を身につけるために、次の実践目標を掲げ建学の精神としています。
知恩…いのちの不思議を思い、感謝の心を育みます。
自律…自らを律し、自身の責任と役割を果たします。
内省…常に謙虚に自らの未熟さ、至らなさを省みます。
平和…共に生きる一人ひとりのいのちを重んじ、平和な社会を築きます。

教育の理念、目標

○ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学では、建学の精神を深く理解し、建学の精神から導かれた4つの実践目標「知恩・自律・内省・平和」を実現できる力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマ・ポリシーを満たした学生に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学では、建学の精神を理解し、4つの実践目標「知恩・自律・内省・平和」を達成し、各学科の専門とする分野の知識・技能の向上を図るために、各学科に「教養科目」と「専門科目」を置きます。教養科目は、建学の精神について理解を深める科目に加え、語学や法律、一般教養等に関する社会人としての基礎知識についての科目や、インターンシップやソーシャルマナー、生涯スポーツ等の実技や体験をとおして学修する科目で構成しています。専門科目は各学科及び各コースの専門分野に関する科目で構成しており、知識・技能を高めることにより卒業後各分野で就職した際に実践力を発揮できるよう系統的に科目を配置しています。

近年の取り組み、実績

・2022 年　一般財団法人短期大学基準協会による第三者評価が適格と認定される。
・2023 年　学校法人　伊万里学園　敬徳高等学校との「教育活動推進に関する単位互換協定」の締結。
・2023 年　学校法人　佐賀龍谷学園　龍谷高等学校との「教育活動推進に関する単位互換協定」の締結。
その他、毎年近隣の親子を招いて「こどもフェスタ」を開催しています。

九州龍谷短期大学

KYUSHU RYUKOKU JUNIOR COLLEGE

https://www.k-ryukoku.ac.jp/

設立年／1952(昭和27)年
設置学部／人間コミュニティ学科(仏教コース・データサイエンスコース・メディアコース)
　　保育学科
学生数／133名(※2023年5月1日現在)
教員数／16名(※2023年5月1日現在)
職員数／13名(※2023年5月1日現在)
鳥栖キャンパス
〒841-0072　佐賀県鳥栖市村田町岩井手1350
TEL 0942-85-1121
FAX 0942-82-8411
〔資料請求・問合せ先
事務室　TEL 0942-85-1121〕

本学の特徴

人間コミュニティ学科 仏教コース

少人数での落ち着いた教育環境の中で、一人ひとりを尊重し、学生と教員がともに学び合うよろこびを大切にしています。そして、仏教・真宗について理論・実践・応用・実用の各分野をバランスよく学ぶことを通して、現代社会の諸問題と向き合い、意欲的に聞法・伝道できる人材を育成します。

人間コミュニティ学科 データサイエンスコース

これからの社会に必要とされるデータを使いこなす力を基礎に、人間や社会を深く理解する力を磨き、幅広い分野で活躍できる人材を育成します。具体的には興味を持ち取得したい資格につながるフィールドを中心として、情報処理、教育、心理など隣接する領域をしっかり学ぶことができます。

司書フィールドでは、司書・学校司書資格取得科目に加えて、出版メディア、文学や読書、AI・データサイエンス基礎を中心に学びます。

心理フィールドでは、心理学の基礎を学び、認定心理士、さらには臨床心理士や公認心理師といった専門職資格取得のための四年制大学編入能力も身につけます。

ビジネスITフィールドでは、一般企業などのオフィスワークの基礎となるビジネス実務や簿記会計、情報処理、統計等、多くの資格を取得できます。

人間コミュニティ学科 メディアコース

メディアの現場で即戦力となる人材を育成するため、テレビ、ラジオなどの放送関連会社や制作プロダクションの協力を得て直接現場指導を受ける実習システムを作っています。

学内での制作実習はもちろん、現場での実習を積むことで、仕事に対する理解を求め、早くからプロ意識を育てることにより意欲的に仕事に取り組むことができます。

映像部門では、映像の企画、構成理論から撮影・編集技術、Web配信技術を一貫して学びます。

放送部門では、アナウンス技術の基礎から応用、原稿の書き方など放送の現場で必要とされる様々な要素を学びます。さらに、アナウンサーに求められる知性と教養を身につけるとともに、時代の流れに敏感に反応する感性を養います。

保育学科

保育学科では、心豊かな保育者の育成を目標に「幼稚園教諭二種免許状」「保育士資格」の取得を目指します。基礎的な保育の知識・技能の習得はもちろん、段階的な実習を繰り返しながら保育の現場を学ぶことで自らの課題を発見し、保育者としての自覚を促し責任感を養います。

また、建学の精神である仏教の教えを取り入れた保育者を育成するため、仏教保育を体系的に学ぶことができます。保育者としての力量の幅をもたせるとともに寺院が設置する幼稚園・保育園・認定こども園への就職にも対応しています。

さらに2019年度から、スキルアップ・プログラムを開始。学生自身が興味・関心に応じてユニットを選択し、学びを深めることで保育者としての自信と魅力を高めます。

学長メッセージ　豊かな人間性を養う

九州龍谷短期大学は佐賀県鳥栖市にある緑に囲まれた静かな環境のもと、少人数で学ぶ短期大学です。現在は人間コミュニティ学科と保育学科の2学科でそれぞれ専門の知識、技術の修得のみならず、建学の精神にもとづき豊かな人間性を養うことを大切にしながら学びを深めています。

本学は1952(昭和27)年に仏教科単科として佐賀市水ヶ江の地にて発足し、国文科、保育科を増設しながら、1985(昭和60)年に現在の鳥栖市に移転し、時代の要請に応えながら地域に根ざした教育を展開してきました。この間、建学の精神である仏教、特に親鸞聖人の浄土真宗の教えを根幹に据えてきたことはいうまでもありません。

本学は残念ながら2025(令和7)年度からの学生募集を停止することになりました。これまでの多くのみなさまのご支援に深く感謝申しあげます。

九州龍谷短期大学 学長
後藤(ごとう) 明信(みょうしん)

68

建学の精神

浄土真宗本願寺派(本山：京都・西本願寺)が創設した宗派立の学校で、
仏教精神、特に浄土真宗の宗祖 親鸞聖人の「み教え」を建学の精神として、今日まで140年余の間、
変わることなく「こころの教育」を行っています。
すべての人が平等に生かされている生命(いのち)の尊さに目覚め、感謝のうちにお互いが敬愛し合う、
心豊かな人格を備え、社会の進展に貢献する強く明るい人間の育成に努めています。
「合掌」「感謝」「自律」「明朗」の校訓のもと、「凛として朗らかに爽やかに」社会を生き抜く人財を育てます。

教育の理念、目標

建学の精神に基づき、「凛として朗らかに爽やかに」生き抜く人間の育成を目標としています。変化の激しい現代社会をしっかりと生き抜くために、21世紀型スキルを養う「キャリア教育」「ライフスキル教育」「学力向上」「グローバル人財育成」「ICT教育」に建学の精神を土台とした「こころの教育」を加えた「5プラス1」のプログラムを実施。変わらない「こころ」と変わり続ける社会に対応した教育の実践を行います。人として最も大事な感謝、共生のこころを土台に、何があっても立ち上がり、困難を克服して、また笑顔で歩き出す強くしなやかな人間の育成に努めています。

近年の取り組み、実績

1. 特別進学コース

特別進学コースではグローバルリーダーシップを養うG-Projectを実施。佐賀大学の学生や留学生との交流を通して、思考力、表現力を身につける取り組みを行っています。

2. 文理進学コース

文理進学コースでは、九州国立博物館訪問やハウステンボスでの英語研修など、校外活動を通じて好奇心を刺激、自分の可能性を大きく広げます。

3. 総合コース

総合コースでは、進路探求の一環としてD-Projectを実施。様々な活動を通して自分の「できる」「やりたい」心を育てます。

4. 保育コース

保育コースでは隣接するこども園での実習を通し、より実践的な学びを実現しています。

5. 主体的な学び(ICT 教育・SDGs)

全体では、ICTを推進し、2020年度入学生より一人1台のiPadを無償貸与。主体的かつ協働的な学びを実現。また、近年ではSDGsにも取り組み、様々な講演会やキャリア教育エナジードの教材を通じて、「自分たちが未来を変える」という意識を高めています。

龍谷高等学校

RYUKOKU HIGH SCHOOL

https://www.sagaryukoku.ed.jp/hsc/

設立／1878(明治11)年
設置コース／普通科・特別進学コース・文理進学コース・総合コース・保育コース
生徒数／735名(※2023年5月1日現在)
教員数／84名(※2023年5月1日現在、非常勤講師含む)
〒840-0054　佐賀県佐賀市水ケ江3丁目1-25
TEL 0952-24-2244
FAX 0952-24-3828
(資料請求・問合せ先
入試部　TEL 0952-24-2244)

本校の特徴

適性や進路希望、興味関心に応じた1学科4コースを展開。目標や夢の実現にいろんな角度から取り組めることが特徴です。

●特別進学コース …… 特別進学コースは少人数クラスで一人一人の進度に応じたきめ細やかな指導を行い、難関大突破を目指します。

●文理進学コース …… 文理進学コースでは、ハイレベルの文武両道を実践。多くの生徒が部活動や生徒会活動と学業の両立に努力しています。

●総合・保育コース …… 総合・保育コースでは義務教育レベルからの学び直しをすることで基礎学力を徹底。社会の一員としてふさわしい能力を身につけます。

全体的に明るく元気がいい雰囲気で、部活動が盛んです。強化9年目の中で3回の全国高校サッカー選手権大会に出場し、初出場でベスト16まで進んだサッカー部をはじめ、これまで3回の全国優勝を誇る伝統ある剣道部、古豪復活を目指す柔道部、新進気鋭のバスケットボール部、4年連続九州大会出場をしている吹奏楽部など、生徒一人一人が目標と夢を持って、または目標や夢を探して頑張っています。またサガン鳥栖U18、佐賀バルーナーズU18、大塚製薬などと提携をし、教育活動の活性化をはかっています。

校長メッセージ　「チーム龍谷」

学校は、勉強と部活動の両輪が上手く回って「魅力」あるものとなっています。本校では、コロナ禍でも新しい取り組みとして、今年も生徒の学びを止めない学習の保障対策を行っています。ICT活用はほとんどの生徒が小中高と一人1台端末の整備の第一期が終わり、これからはいかに学習に活用して成果を出すかです。授業研究にも教師の方々は一生懸命に全員で取り組んでいただき、面白い、楽しい、興味の湧く授業を展開していただいています。龍谷の教育の5プラス1の大きな「魅力」の一つになっています。さて、2022年4月から140年続いた成年年齢は20歳から18歳に引き下げられ、「18歳成年」になりました。

18歳を大人に育てる高校教育が求められます。「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を社会と共有する」「未来の社会を創る子供達が社会や世界と向き合い、自らの人生を切り開くための資質や能力を教育で育む」「地域の人的・物理資源の活用、社会教育との連携など、学校教育を閉じずに社会と共有し・連携しながら実現させる」などが必要ではないかと思っています。

人口減少、少子高齢化、グローバル化、多様性、デジタル化、不確実の時代、人生100年。避けることのできない社会的な背景があります。そういう中でも「チーム龍谷」で教職員一丸となって強い学校づくり・魅力ある学校、素晴らしい学校へと成長させて行きたいと考えています。

龍谷高等学校 校長
吉松（よしまつ） 幸宏（ゆきひろ）

69

建学の精神

本学園は、明治11年(1878年)創立以来、一貫して浄土真宗の
宗祖親鸞聖人のみ教えを建学の精神として、今日まで変わることなく
「心の教育」を目指しています。
すべての人が平等に生かされているいのちの尊さに目覚め、感謝のうちに
お互いが敬愛し合う心豊かな人格を備え、社会の進展に貢献する
強く明るい人間の育成に努めます。

教育の理念、目標

【学校ビジョン】

Society5.0（超スマート社会）での力強い私学としての中高一貫校をデザインする。

【教育目標】

21世紀型スキルを身に付け、「本物の学力」と「豊かな心」をもつ人を育成する。

【6 KEYS TO THE FUTURE】

～理数グローバル　6つの資質・能力～
「自立した学習者」となるために、生徒・教師が「6つのカギ」を意識した学習活動に取り組みます。

1. 挑戦する力
2. 未来を描く力
3. 論理的に考える力
4. 他者を理解する力
5. コミュニケーション力
6. プレゼンテーション力

近年の取り組み、実績

1. 各種団体と連携

県内の企業・団体と連携協定を結び、生徒の学び・活躍の場が広がっています。多くの専門家や大人たちと交流することにより、学校内では体験できないような刺激や発見があり、社会の一員としての自覚も芽生えます。

2. 龍中学会

「龍中学会」は、生徒が、SDGs・職業・将来への展望などについて、時間をかけて調べ、考え、自分なりに答えを導き出したことを、学年ごとに個人やグループで発表する、一年間で最も大切な取り組みです。

龍谷中学校

RYUKOKU JUNIOR HIGH SCHOOL（SENIOR HIGH SCHOOL）

https://www.sagaryukoku.ed.jp/jhsc/

設立／1994(平成6)年
設置コース／中高一貫
生徒数／62名(※2023年5月1日現在)
教員数／84名(2023年5月1日現在、非常勤講師含む)
〒840-0054　佐賀県佐賀市水ヶ江三丁目1番25号
TEL 0952-24-2244
FAX 0952-24-3828
〔資料請求・問合せ先
入試部　TEL 0952-24-2244〕

本校の特徴

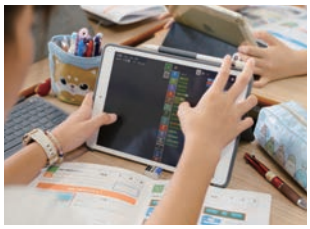
理数グローバルで、自ら学びに向かうことのできる「自立した学習者」へ！

「理数グローバル」とは、中高6年間を2年ごとのステップに分けた「3ステージ制」とし、生徒の心と学力の成長に合わせた取り組みを行っています。生徒と教師、生徒同士のコミュニケーションを大切にし、社会で求められる資質・能力を育み、心豊かな人格を備えた人間形成をめざしています。

「生徒一人ひとりが、あらゆる分野に興味関心を抱き、自ら課題を発見し、自ら課題解決に挑戦するワクワク・ドキドキの世界」です。

※「理数」……物事を論理的に考える力、伝える力。　「グローバル」……互いを認め合い、理解する世界。

① 個々に寄り添い、力を伸ばす
② あらゆる場面で生徒が活躍
③ 社会とつながる充実した体験
④ Global mind ～多様性・協同・共感～を育む
⑤ ICT ～様々な教育テクノロジーの導入～



校長メッセージ　「ワクワク・ドキドキ」する学校

中高一貫理数グローバルは、「自立した学習者」の育成を目指しスタートして今年で5年目となります。生徒のみなさんは、学習活動、体育・文化活動、SDGs活動などさまざまな面において、ますます意欲的に取り組んでおり、これからの成長が楽しみでなりません。特に、iPadを学びの相棒として、楽しく、そして積極的に使いこなそうとする若者ならではの勢いにみなぎっています。

大切なのは、入学して「何を学ぶか、どう学ぶか、そして卒業する時に何ができるようになったか。」です。本校で学び得たものを次はどう社会で活かすかです。

令和という新しい時代になり6年目を迎えた今、学校現場では、学習環境も大きく変わりました。新学習指導要領が施行され、学びも変化をしています。時代に取り残されることなく高くアンテナを張って前へ進んでいかなければなりません。

高い「志」と理想をもって新しい社会を牽引していく人材、新たな社会へ対応できる「生きる力」を育み、主体的に学びに向かう事ができる人財の育成が大切だと考えています。

本校では「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のいわゆる「知・徳・体」の三つのバランスをよく育むとともに、今後、自己の持つ個性と能力を最大限に発揮し、国際的な視野に立ち、社会経済の発展に創意を持って取り組むことのできる力を養います。また、文化の創造や産業の振興など社会や地域の発展にも貢献できる、心身ともにたくましい人財の育成を目指し、「チーム龍谷」を合い言葉に精進しています。

龍谷中高一貫理数グローバルに、新たな歴史の1ページを刻むべく、生徒・教職員が一丸となって「ワクワク・ドキドキ」する素晴らしい学校へと成長させたいと考えています。

龍谷中学校 校長
吉松（よしまつ） 幸宏（ゆきひろ）

建学の精神

本園は浄土真宗本願寺派（西本願寺）に属し、親鸞聖人のみ教えを建学の精神としている。
私たちが、み仏様の知恵と慈悲に育てられ、
すべての悩みや苦しみを乗り越える幸せを喜びつつ、力強く生き抜かせていただく教えである。
幼保連携型認定こども園教育・保育要領にのっとり、
保育の中に親鸞聖人のみ教え(まことの保育)を十分に取り入れながら、心身の調和のとれた発達を図り、
一人ひとりの子どもが幸せな生活のできる、生きる力の礎を培います。

教育の理念、目標

1. 浄土真宗本願寺派の保育連盟が推進する「まことの保育」を根幹に
   宗教的情操の育成と心身のバランスの取れた発達を促す教育・保育を行う。
2. すべての子どもが健やかに成長するために適切な環境を確保し、
   温かい家庭的な教育・保育を行う。
3. 家庭や地域との連携を密にし、園と家庭や地域との相互理解と協調を目指す。

年間行事

4・5・6月

●始業式(1学期) ●入園式・お迎え式 ●参観・役員選出
●誕生会 ●父母の会総会 ●花まつり・降誕会 ●歯科検診
●内科検診 ●食育指導 ●合同礼拝 ●プール開き
●親子参観・講演会 ●バザー ●避難訓練

7・8・9月

●サマーフェスタ ●誕生会 ●終業式 ●お泊り会
●個人面談 ●始業式(2学期) ●遠足 ●避難訓練

10・11・12月

●合同礼拝 ●運動会 ●社会体験学習 ●歯科検診
●内科検診 ●バルーンフェスタキッズデー ●生活発表会
●ウインターフェスタ ●避難訓練 ●終業式

1・2・3月

●始業式（3学期） ●食育指導 ●誕生会 ●合同礼拝
●生活発表会（0・1・2歳児） ●お別れ会 ●卒園式
●修了式

九州龍谷短期大学付属龍谷こども園

RYUKOKU KODOMOEN

https://www.sagaryukoku.ed.jp/kodomoen/

設立／2015（平成27）年
園児数／224名（※22023年5月1日現在）
教員数／56名（※2023年5月1日現在）栄養士等給食スタッフ、事務職含む
〒840-0054　佐賀県佐賀市水ヶ江3丁目5-20
TEL 0952-29-8411
FAX 0952-29-8411
〔資料請求・問合せ先
TEL 0952-29-8411〕

本園の特徴

1.「まことの保育」の実践

ほとけさまへのお参りを通して、いのちの大切さや感謝する気持ちを持つことのできる子どもの育成を行います。

2.「兄弟ごっこ」で人と関わりを培う

シブリング（疑似の兄弟姉妹ごっこ）・ペアリング（同年代のペア）の活動を通して、人との関わりの基礎を培います。

3. 短大・高校の教員が指導

九州龍谷短期大学の付属こども園として、短大と連携しながら教育・保育にあたります。（リトミック・幼児体育・英語教室・絵画教室・サッカー教室）

園長メッセージ　幼児期は大切な時期

幼児期は、遊びの中でものと関わり、人と出会い、自分を表現しながら、感性を発達させ自己を形成していく大切な時期です。心身のバランスのとれた人間として成長するため、この時期のこどもたちは多くの豊かな刺激を受ける必要があります。本園では、親鸞聖人の御教えを頂き、手を合わせて感謝する心やいのちを大切に思う心など、人としての基礎となる部分をしっかりと育ててまいります。また、九州龍谷短期大学の付属として、短大の教員による直接の指導や活動も定期的に行い、短大保育学科の学生や龍谷高校生との交流活動も多く取り入れています。さまざまな面から子どもたちと関わり見守っていくことによって、幼児一人ひとりが伸び伸びと自分の力を発揮し、主体性のある行動のできる子どもに育ってくれることを願っています。ご家庭の皆様の協力を頂きつつ、さらには短期大学との連携をとりながら、お子様の成長を見守っていきたいと存じます。

九州龍谷短期大学付属
龍谷こども園 園長
藤田（ふじた） 裕之（ひろゆき）

建学の精神

本校は浄土真宗本願寺派の開祖、親鸞聖人のみ教えを基本としており、校名である「敬徳」は、仏徳（阿弥陀如来の恩徳）を尊ぶという意味です。誠実にして明朗な、心の優しい人間を育てるという建学の精神をふまえ、本校の教育は実践されています。

教育の理念、目標

1. 宗教的情操の涵養

授業及び特別活動などを通して宗教的情操・教養の涵養を図り、人間性の育成に努めます。また、奉仕的精神の涵養に努め、福祉教育の推進を図ります。

2. 倫理指数日本一を目指して

知･徳･体のバランスがとれた人間づくりに努めるため、レベル（学力）アップ･マナー（礼節）アップ・パワー（活力）アップのスリーアップを推奨します。

3. 学力･技術･体位の向上

授業時間の確保、分かる授業の展開、予習復習など自主学習の啓発、生徒会活動の強化と並行し学習意欲の向上を図るとともに安全健康教育を重視し、強靱なる体力と確固たる意志の錬磨を図ります。

4. 生活態度の確立

深く思考し、自己を反省することをもって生活の基盤とします。すべての生活を通じて校訓「和顔愛語」をモットーとした挨拶運動を展開し、服装を正して節度ある生活の確立に努めます。

5. 人権･同和教育の推進

人権尊重の精神に徹し、差別の実態を正確に把握して、不合理な差別をなくすための科学的知識と実践力を身につけた、民主的な人間の育成を図ります。

近年の取り組み、実績

1. プレタイムの活用

適切な教育相談や進路指導につなげるため、朝のホームルームを20分とって、全体指導や個別指導に活用しています。担任を中心に生徒の現状や将来に寄り添った指導を心がけています。

2. 資格取得の推奨

自動車整備科は「３級自動車整備士」、生活福祉コースは「介護職員初任者研修」、キャリアコースはコンピュータ関連の各種検定、保育コースは保育技術検定などの取得を中心に据え、進路実現に向けて実践的な力の向上に努めています。

3. 通信制課程の設置

学びたいときに、学ぶ意欲のある人へ学習の機会を与えるため、開かれた学校作りを目指し、平成29年度に開設しました。

敬徳高等学校

GAKKOUHOUJINIMARIGAKUEN KEITOKU SENIOR HIGH SCHOOL

https://keitoku.ed.jp

設立／1964(昭和39)年
設置コース／全日制　自動車整備科
普通科(総合進学コース・普通コース)
※普通コースは、2年次にキャリアコース・生活福祉コース・保育コースから選択
通信制　普通科
生徒数／〈全日制〉463名 〈通信制〉94名
教員数／52名(ほか 事務・技術職員 11名)
〒848-0027　佐賀県伊万里市立花町86番地
TEL 0955-22-6191
FAX 0955-22-6195
〔資料請求・問合せ先
広報部　TEL 0955-22-6191〕

本校の特徴

Point 1 「倫理指数日本一」を目指します

社会に必要とされる人材となるため、「和願愛語」の校訓のもと、思いやりを持って人と接するための資質、礼節を重んじ、社会でたくましく生き抜くための資質を磨きます。

Point 2 「自立できる18歳」を目指します

自分は「今」「どこで」「何をすべきか」を意識させ、それぞれの「立ち位置」を確認させます。やるべきことが一つとは限りません。その都度「優先順位」つけ、段取りをつけることを習慣化することで、力強く自立する力を身につけます。

Point 3 「進路実現100%」を目指します

進路実現のために、基礎学力の向上に取り組むことはもちろん、各種資格取得、検定合格に挑戦します。また、「あいさつ、身だしなみ、言葉遣い」に気を配り、「休まない、遅れない、忘れない、間違わない」ことを心掛けることができる人材に育てます。

理事長メッセージ　新しい時代「令和」に一新しい風を

学校法人伊万里学園敬徳高等学校は地域の皆さまの「願い」によって誕生した学校です。60年前、「地域の子どもたちに高等教育の学びの場をつくりたい」という浄土真宗本願寺派佐賀教区松浦組の皆さまの思いが、敬徳高等学校を誕生させました。

創立以来、昭和から平成、そして令和へと新しい時代を迎えてきました。

地域の皆さまとともに育ってきた敬徳高校は、皆さまの大きな希望を叶えます。「和願愛語」を校訓として、日々充実している敬徳高校の3年間は私たちに大きなプレゼントをしてくれます。ここでともに学び、過ごす3年間には無限の可能性があります。皆さんが、大きな希望を持ってここに集われることを期待いたしています。

敬徳高校の温かい校風が、あなたの大きな夢を叶えるためにチャレンジへの力強い風になります。多くの先輩がこの敬徳高校で学んでこられたように命の尊さを学び、友人との絆を深め、そして、社会で成長していくための学びの場が、敬徳高校です。皆さまは令和の新時代に大きく羽ばたくことができます。敬徳高校で学び、新しい風を吹かせてみませんか。

学校法人伊万里学園
敬徳高等学校 理事長
谷口（たにぐち） 太一郎（たいちろう）

建学の精神

大学進学のための高度な学習指導
仏教の学びを通じて日常生活を豊かに
平和への歩みを担うことの出来る若者の育成

教育の理念、目標

パシフィック・ブディスト・アカデミー（PBA）の大学進学準備プログラムでは、学生が、英語、社会科・歴史、科学、数学、世界の言語（特に日本語）、平和教育という6つの基礎科目で深い理解力を習得することを目的としています。中でも、PBAの平和教育は、ハワイ州の教育システムの中でも、極めて特徴的な内容となっています。私たちの高校は、平和教育が基礎科目に組み込まれているハワイ唯一の高校です。平和に基づいた学習を提供するというPBAのアプローチは仏教を通じた学びであり、内なる平和の実践に注力します。PBAのカリキュラムは、地域社会や世界に生じている課題に対する学生の意識に気づきが得られるように進めていきます。課題の原因を論理的に理解することで、他者とのつながりに敬意を払い、個人レベル・地域社会レベルの両方で他者のために行動することができるようになります。これらの取り組みは、基礎科目と選択科目の学習プログラムを通じて実現されます。

PBA選択科目のクラスは下記の内容となります。

舞台芸術とコミュニケーション：ロックバンド、演劇、学生ジャーナリズム
ビジュアルファインアート　：デッサン画と絵画
日本文化を重視した文化芸術　：太鼓と茶道
世界の言語　：ハワイ語、韓国語、フランス語、ドイツ語
体育　：フィットネスとヨガ

近年の取り組み、実績

PBAはアメリカに2つある仏教系高等学校のうちの1つです。2003年の開校以来、250人を超える学生がPBAを卒業しました。全ての卒業生が、ハワイや米国本土ならびに龍谷大学を含む日本の大学に進学しています。PBAのパフォーマンス太鼓グループ「百千帰海（ひゃくせんきかい）」は、米国で最も素晴らしい高校太鼓プログラムです。龍谷総合学園の生徒には留学プログラムを通じてPBAで学ぶ機会を提供しており、PBAの生徒は平安高校などのRSG加盟校への交換留学を行なっています。

パシフィック・ブディスト・アカデミー高等学校

PACIFIC BUDDHIST ACADEMY

https://www.pacificbuddhistacademy.org

設立年／2003（平成15）年
生徒数／73名（※2023年5月1日現在）
教員数／12名（※2023年5月1日現在）
常勤講師／８名
非常勤講師／６名
事務職員／７名
1754 Lusitana Street, Honolulu, Hawaii 96813 U.S.A
TEL 808-532-2649
〔資料請求・問合せ先
office@pbahi.org〕

本校の特徴

Point 1

大学進学準備

・大学入学後の学習環境への適応力を高校のうちから養う
・充実したサマースクールプログラム

Point 2

留学の機会

Point 3

充実した教育施設（施設には次のものが含まれます）

・写真スタジオ
・ファインアートスタジオ（視覚芸術に焦点を当てたもの）
・陶芸スタジオ
・体づくりができるフィットネスルーム
・ヨガ、レスリング、グラップリング、柔術、相撲に使用できるホール
・ロックバンドクラブ用の部屋
・校舎内に茶道室があり、全生徒が茶道を学ぶカリキュラム

校長メッセージ　平和の実践へ

パシフィック・ブディスト・アカデミー（PBA）は龍谷総合学園の加盟校であり、毎年、日本の夏休み期間中にPBA留学プログラムの一環として、龍谷総合学園加盟校から多くの学生を受け入れています。日本からの学生はハワイのホストファミリーと暮らし、PBAの授業に参加します。アメリカの学生生活を体験することで、英語力が著しく向上し、PBAの学生との親密な友情関係を築くことができます。

PBAでは、仏教的価値観に基づき、平和の実践、そして地域社会と世界に貢献できるよう、学習をもとに自ら考え行動できる生徒の育成に重点をおき、人々とのつながりを大切にしています。このように、PBAではコミュニティーが何を必要としているかを認識し、そのコミュニティーに貢献する道を模索し、何より、「世界中の人々とつながる」ということに意欲溢れる学生の育成に取り組んでいます。

パシフィック・ブディスト・アカデミー高等学校 校長
ジョッシュ　ヘルナンデス　モース
Josh Hernandez Mores

「私たちのちかい」についての親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四ヵ条にまとめました。

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

2018（平成30）年11月23日

浄土真宗本願寺派門主　大谷光淳

龍谷総合学園
Data Book 2024

更新日　2024年4月3日

発　行　龍谷総合学園事務局
〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派伝道本部（宗務所）
社会部<宗教教育担当>内
TEL. 075-371-5181（代）
FAX. 075-351-1211
https://www.rsg1995.jp

編集・制作
株式会社アースワーク

龍谷総合学園加盟校一覧

※2024.4.1現在

大学(7)

04 武蔵野大学
24 岐阜聖徳学園大学
30 龍谷大学
34 京都女子大学
39 相愛大学
44 兵庫大学
59 筑紫女学園大学

短期大学部(5)

25 岐阜聖徳学園大学短期大学部
31 龍谷大学短期大学部
45 兵庫大学短期大学部
63 東九州短期大学
67 九州龍谷短期大学

高等学校(25)

01 旭川龍谷高等学校
02 札幌龍谷学園高等学校
03 小樽双葉高等学校
05 武蔵野大学高等学校
09 武蔵野大学附属千代田高等学院
11 国府台女子学院高等部
14 龍谷富山高等学校
17 高岡龍谷高等学校
19 金沢龍谷高等学校
22 北陸高等学校
26 岐阜聖徳学園高等学校
32 龍谷大学付属平安高等学校
35 京都女子高等学校
40 相愛高等学校
42 神戸龍谷高等学校
46 兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
47 神戸国際高等学校
51 岡山龍谷高等学校
53 崇徳高等学校
55 敬愛高等学校
60 筑紫女学園高等学校
64 東九州龍谷高等学校
68 龍谷高等学校
71 敬徳高等学校
72 パシフィック・ブディスト・アカデミー高等学校

中学校(16)

06 武蔵野大学中学校
10 千代田国際中学校
12 国府台女子学院中学部
20 金沢龍谷高等学校中等部
23 北陸中学校
27 岐阜聖徳学園大学附属中学校
33 龍谷大学付属平安中学校
36 京都女子中学校
41 相愛中学校
43 神戸龍谷中学校
48 神戸国際中学校
52 蒼明学院中等部
54 崇徳中学校
56 敬愛中学校
61 筑紫女学園中学校
69 龍谷中学校

小学校(4)

13 国府台女子学院小学部
28 岐阜聖徳学園大学附属小学校
37 京都女子大学附属小学校
57 敬愛小学校

幼稚園・保育園・こども園(15)

07 武蔵野大学附属幼稚園
08 武蔵野大学附属有明こども園
15 藤園幼稚園
16 藤園南幼稚園
18 認定こども園 ひかり幼稚園
21 藤花幼稚園
29 岐阜聖徳学園大学附属幼稚園
38 京都幼稚園
49 兵庫大学附属須磨幼稚園
50 兵庫大学附属加古川幼稚園
58 敬愛幼稚園
62 筑紫女学園大学附属幼稚園
65 東九州短期大学附属幼稚園
66 新吉富保育所
70 九州龍谷短期大学付属龍谷こども園